

## W. 泌尿・生殖器

<i>P.1.....</i>	<i>2005 年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.12.....</i>	<i>2004 年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.19.....</i>	<i>2003 年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.29.....</i>	<i>2005 年</i>	<i>概説試験</i>
<i>P.39.....</i>	<i>2004 年</i>	<i>概説試験</i>
<i>P.46.....</i>	<i>2003 年</i>	<i>概説試験</i>

## 2005年度卒業試験（獲得）

平成17年12月1日実施

## &lt;泌尿器科&gt;

【1】肉眼的血尿に関する記述のうち正しいものの組み合わせを選べ。

(1)初期血尿：後部尿道～膀胱頸部からの出血 (2)終末時血尿：前部尿道からの出血

(3)全血尿：頸部以外の膀胱～上部尿路(腎・尿管)からの出血

(4)無症候性血尿：尿路悪性腫瘍 (5)排尿痛を伴う血尿：急性膀胱炎

A(1)(2)(3) B(2)(3)(4) C(1)(3)(5) D(1)(4)(5) E(3)(4)(5)

(解答) E

(1)×；初期血尿：前部尿道（前立腺炎、前立腺肥大）(2)×；終末時血尿：後部尿道、膀胱頸部からの出血

(3)○ (4)○ (5)○；他に前立腺炎、腎盂腎炎などでも排尿痛を伴う血尿が見られる

【2】以下の文章で適切なものはどれか。

(1)尿流量検査で最大尿流率が低下していれば、膀胱の排尿機能は低下しているといつてよい。

(2)腎機能障害症例に対し排泄性腎盂造影検査を行う場合、描出をよくするために造影剤の量を多くする。

(3)チェーン膀胱造影は、腹圧性尿失禁の診断方法として用いられる。

(4)骨シンチグラフィーで異常集積が認められれば、骨転移と診断してよい。

(5)副腎シンチグラフィーで<sup>131</sup>I-アドステロールは副腎皮質に、<sup>131</sup>I-MIBGは副腎髄質に集積する。

(6)膀胱癌の存在診断は膀胱鏡が最もすぐれている。

A(1)(2)(3) B(2)(3)(4) C(1)(3)(5) D(3)(4)(5) E(3)(5)(6)

F(4)(5)(6) G 以上のいずれの組み合わせでもない

(解答) E

(1)×；膀胱の機能は正常でも尿路閉塞（前立腺肥大など）があれば最大尿流率は低下する

(2)×；腎機能障害例では、IVPは相対禁忌 (3)○ (4)×；炎症性病変、骨折などでも集積が認められる

(5)×；○ (6)○；膀胱癌の確定診断は膀胱鏡による

【3】左右の腎機能を区別して検査できるのはどれか。

(1)静脈性腎盂造影 (2)レノグラム (3)PSP排泄試験

(4)尿濃縮試験 (5)インジゴカルミン排泄試験

A(1)(2)(3) B(1)(2)(5) C(1)(4)(5) D(2)(3)(4) E(3)(4)(5)

(解答) B

総腎機能検査；GFR, PSP試験, Fishberg濃縮試験

分腎機能検査；インジゴカルミン排泄試験, IVP, シンチグラム, レノグラム, 尿管カテーテルなど

【4】次のうち正しいものはどれか。

(1)結石などによって急激に尿管閉塞を来した場合、腎盂内圧が急激に上昇し、尿の腎外溢流を起こすことがある。

(2)慢性の尿管閉塞では尿管は径の増大のみならず長さも延長することが多い。

(3)膀胱の肉柱形成や仮性憩室は神経因性膀胱や前立腺肥大症患者によく見られる。

(4)尿管部分閉塞の場合腎のNa吸収低下、その結果排泄の増加をみることも少なくない。

答え A1,3,4 B1,2 C2,3 D4のみ Eすべて正しい

(解答) A

(1)○；腎杯が破裂して漏れ出す(2)×；長さは延長しない(3)○；高圧膀胱が誘因となる

(4)○；初期では問題文のような像を呈し、最終的には腎不全に至り、排泄量は低下する

【5】正しい答えの組み合わせはどれか？

- (1)射精は副交感神経の興奮によって起こる。(2)RPLND では射精障害は起こらない。  
 (3)TUR-P 後に逆行性射精が起こることはまれである。(4)精索静脈瘤は左側に多い。  
 (5)脊髄損傷患者でも電気刺激などにより射精機能は可能である。

答え A:12 B:23 C:34 D:45 E:51 F:すべて正しい

G:すべて間違い H:上記のいずれの組み合わせでもない

(解答) D

- (1)×；交感神経によって起こる(2)×；RPLND (retroperitoneal lymph node dissection)により 90%の症例において射精障害が見られる(3)×；TUR-P (経尿道的前立腺切除術)では逆行性射精は必発  
 (4)○；左精索静脈が左腎静脈に灌流することに起因する(5)○；電気刺激射精法は治療法の1つ

【6】神経因性膀胱に関する記載のうち正しいものを選択せよ。

- (1)下位の排尿中枢は、S2～4である。  
 (2)脳血管障害による神経因性膀胱では無抑制収縮がみられ、頻尿、切迫性失禁などの症状を呈する。  
 (3)頸・胸椎損傷では排尿筋・外尿道括約筋協調不全(DSD)が出現することが多く、高圧膀胱のため膀胱変形や膀胱尿管逆流症などを合併しやすい。  
 (4)骨盤内手術後には知覚障害と膀胱の収縮機能障害を生じるが、膀胱のコンプライアンス低下は認めない。  
 (5)間欠的自己導尿は膿尿が必発であり、尿路結石症の要因となる。

A(1)(2)(3) B(2)(3)(4) C(1)(2)(4) D(1)(2)(5) E(2)(3)(5)

(解答) C

- (1)○(2)○(3)×；頸・胸椎損傷では反射性尿失禁を呈し、高圧膀胱とはならない  
 (4)○；溢流性尿失禁では膀胱容量は大きくなる(コンプライアンスは大きくなる)  
 (5)×；間欠的自己導尿は厳密な無菌操作を行わなくても感染の心配がないことがメリットであり、留置カテーテルで膿尿は必発する

【7】尿路結石症について正しい答えの組み合わせはどれか？

- (1)カルシウム結石は下部尿路に多く、また性別では男性に多い。  
 (2)結石成分で最も頻度が高いのは尿酸結石である。  
 (3)感染結石は尿の Ph がアルカリ性、尿酸結石は酸性でしやすい。  
 (4)レントゲン陰性結石で最も頻度が高いものは尿酸結石である。  
 (5)現在、尿路結石症に対して最も多く行われている手術は ESWL である。

答え A.1,5 B.2,3,5 C.1,3,5 D.3,4,5 E.1,2,5 F.すべて正しい

(解答) D

- (1)×；尿路結石の大部分は上部尿路であり、結石の 80%はカルシウム結石(2)×(3)○(4)○(5)○  
 ※結石の頻度→1.カルシウム結石(80%) 2.感染結石(7.5%) 3.尿酸結石(5%) 4.シスチン結石(1%)

【8】以下の記述のうち正しいものの組み合わせを選べ。

- (1)腎外傷において血尿は必発であり、血尿を認めない場合腎外傷は否定できる。  
 (2)非開放性腎外傷の多くは腎挫傷であり、保存的治療が可能である。  
 (3)膀胱損傷において腹膜刺激症状の有無にて、腹膜内損傷か腹膜外損傷かを区別できることが多い。  
 (4)後部尿道の損傷は骨盤骨折に伴うことが多い。  
 (5)尿道損傷の部位診断には尿道造影、膀胱鏡検査は必須である。

A(1)(2)(3) B(2)(3)(4) C(1)(2)(4) D(1)(2)(5) E(2)(3)(5)

(解答) C

- (1)○；腎外傷の 90%に血尿が見られる(2)○(3)×；腹膜内でも初期には腹膜刺激症状が見られないことがある(4)○(5)尿道造影は必須だが、膀胱鏡検査は必須ではない(というか入れるのは不可能)

【9】尿路感染症に関する記載のうち正しいものを選択せよ。

- (1) 尿路感染症は多くの場合、腎からの順行性感染で起こる。
- (2) 単純性膀胱炎における起炎菌は、ブドウ球菌が最も多い。
- (3) 複雑性尿路感染症においては基礎疾患の治療が大切である。
- (4) 腎盂内にカテーテルが留置された患者に細菌尿がみられた場合、症状がなくても注射薬による治療を14日間程度行うべきである。
- (5) 急性腎盂腎炎を繰り返す患者に対しては排尿時膀胱造影を行うべきである。

A(1)(2)    B(1)(3)    C(2)(4)    D(3)(5)    E(4)(5)

(解答) D

(1)×; 多くの場合で逆行性感染 (2)×; 大腸菌が最も多い (3)○ (4)×; 留置カテーテル(基礎疾患)をもつ複雑性膀胱炎の場合、抗生剤の投与は慎重に行う (5)○; 繰り返す APN には VUR などの基礎疾患を疑う

【10】膀胱尿管逆流(VUR)について正しいのはどれか。

- (1) 両側性発生はまれである。 (2) 女性に多くみられる。 (3) 神経因性膀胱にも合併する。
- (4) 排尿時膀胱造影は診断上有用である。 (5) 保存療法で治癒は望めない。

A(1)(2)(3)    B(1)(2)(5)    C(1)(4)(5)    D(2)(3)(4)    E(3)(4)(5)

(解答) D

(1)×; 両側性が多い (2)○; ただし1歳以下では男児に多い (3)○; 続発性 VUR として神経因性膀胱として合併する (4)○; 実際に逆流を観察することができる (5)×; 小児では自然治癒率が高い

【11】正しい組み合わせを選べ。

- (1) 腹圧性尿失禁とは排尿反射に対する上位中枢からの抑制路が何らかの原因で遮断されて生じる失禁で、トイレまで我慢できずに尿が漏出してしまうものである。
- (2) 腎後性無尿は骨盤内臓器腫瘍による浸潤や圧迫、後腹膜リンパ節転移による圧迫などが原因となっていることが多く、治療として経尿道的尿管ステントの留置や経皮的腎瘻造設術が行われる。
- (3) 尿量が1日100ml以下の場合を無尿と呼ぶが、尿閉との鑑別には膀胱部の超音波検査が有用である。
- (4) 排尿障害の原因とねる薬剤の代表的なものには三環系抗うつ薬、抗ヒスタミン薬などがある。
- (5) 腎の大きな結石ではしばしば病痛発作をきたすことがある。

A(1)(2)(3)    B(1)(2)(4)    C(2)(3)(4)    D(2)(3)(5)    E(3)(4)(5)

(解答) C

(1)×; 腹圧性→溢流性 (2)○ (3)○ (4)○; 抗コリン作用が排尿障害を引き起こす (5)×; 疼痛と結石の大きさは相関しない(むしろ小さい結石のほうが痛い)

【12】腎不全、腎移植について正しいものの組み合わせはどれか。

- (1) 血液透析療法は、メリットとして簡便で、循環動態や血圧に対する影響が少ない。
- (2) 我が国の腎移植成績は種々の免疫抑制剤の登場で年々向上しており、近年の生体腎移植における1年生着率は約70%前後である。
- (3) 我が国の腎移植において、脳死体腎移植数は減少している。
- (4) 腎移植後のウイルス感染症として代表的なものはサイトメガロウイルス感染症で ganciclovir が治療に用いられる。
- (5) 腎移植手術においては、一般的には腎動脈は内腸骨動脈、腎静脈は内腸骨静脈に吻合する。
- (6) 近年、配偶者をドナーとする非血縁者間生体腎移植が増加している。

A(1)(2)    B(3)(4)    C(5)(6)    D(4)(6)    E(2)(6)    F すべて正しい

G すべて間違い    H 上記のいずれの組み合わせでもない

(解答) B

(1)×; 血液→腹膜 (2)×; 90%前後 (3)○ (4)○ (5)×; 内腸骨静脈→外腸骨静脈 (6)×; 全体の1%

※脳死体腎移植数(人); '99-8, '00-7, '01-16, '02-10, '03-4, '04-6

【13】褐色細胞腫について誤っているものを選び。

- (1) 主要な症状はカテコールアミンの放出による。  
 (2) メトピロンテストが診断の目的に行われる。 (3) 循環血液量が増加する。  
 (4) 術前から交感神経遮断薬を使用する。 (5) クロム親和性細胞由来である。

答え A1,3,4 B1,2 C2,3 D4のみ Eすべて正しい

(解答) C

- (1)○ (2)×; メトピロンテストは Cushing syndrome の診断のために行われる (3)×; 一般的に低下している  
 (4)○; 術前・術後管理は非常に重要 (5)○

【14】腎細胞癌につき正しいのはどれか。

- (1) 近位尿細管由来であり、画像上 hypovascular な像を呈することが多い。  
 (2) 血行性転移よりもリンパ行性転移をきたしやすい。  
 (3) 原因不明の発熱、貧血、高カルシウム血症などの徴候が見られることがある。  
 (4) 根治的腎摘除術ではまず腎動静脈の結紮を行うが、副腎は副腎不全予防のため摘出してはならない。  
 (5) 肺転移に対し、インターフェロンやインターロイキン 2 などの免疫療法が行われることがある。

A(1)(2)(3) B(2)(3)(4) C(1)(3)(5) D(1)(4)(5) E(2)(3)(5)

(解答) C

- (1)○; hypervascular なら正解 (2)×; 血行性転移をきたしやすい (3)○ (4)×; Gerota 筋膜ごと一塊として摘出する (5)○

【15】正しい文章の組み合わせを選び。

- (1) 原発性腎盂尿管癌において自排尿の尿細胞診の陽性率は非常に高い。  
 (2) 原発性膀胱癌の組織型としては大部分が移行上皮癌である。  
 (3) 膀胱癌の発生と芳香族アミン化合物(ベンチジン、2-ナフチラミンなど)の相関は、疫学的には認められない。  
 (4) 上皮内癌(carcinoma in situ)は BCG 膀胱内注入療法の適応である。  
 (5) 尿路変向術には失禁型の尿管皮膚瘻や回腸導管、自然排尿型の Hautman や Studer 法などがある。

A(1)(2)(4) B(2)(3)(4) C(1)(2)(5) D(1)(4)(5) E(2)(4)(5)

(解答) E

- (1)×; 自排尿の陽性率は低いため、擦過細胞診・分腎尿細胞診を利用 (2)○; 90%が移行上皮癌  
 (3)× (4)○; first choice であり、7割が治る (5)○

【16】前立腺肥大症に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 前立腺肥大症は前立腺癌と同様、前立腺辺縁領域(peripheral zone)から発生することが多い。  
 (2) 前立腺肥大症は肥大結節の大きさと自覚症状が比例する。  
 (3) 前立腺肥大症の治療は薬物療法と手術療法に大別され、症状の程度や全身状態により治療方法が選択される。  
 (4) 前立腺肥大症患者に前立腺癌が合併することもある。  
 (5) 前立腺肥大症の代表的な症状は排尿困難と夜間頻尿である。

A(1)(2)(3) B(2)(3)(5) C(1)(2)(5) D(1)(4)(5) E(3)(4)(5)

(解答) E

- (1)×; transition zone から発生する (2)×; 必ずしも相関しない (3)○ (4)○ (5)○

【17】以下の記述で正しいものの組み合わせを選べ

- (1)高齢者ほど前立腺癌の潜在癌の頻度は高い。
- (2)前立腺内に限局する前立腺癌では経尿道的前立腺切除術が根治的治療となる。
- (3)前立腺癌の約 50%は内分泌療法が無効である。
- (4)低分化の前立腺癌は高分化のものに比べ内分泌療法に良く反応する。
- (5)内分泌療法に抵抗性となった前立腺癌では cisplatin を中心とする抗癌化学療法が有効であることが多い。

A.1    B.2    C.3    D.4    E.5    F.12    G.23    H.34    I.45

(解答) A

- (1)○ (2)× ; TUR-P は前立腺肥大症の治療であり、前立腺癌には前立腺全摘除術を行う
- (3)× ; 15~20%の症例で最初から無効 (治療開始数年で 50%近くの症例で耐性を生じる)
- (4)× ; 高分化のものに良く反応する (5)× ; 行うものの効果が得られるのは 10%以下といわれている

【18】前立腺癌に関する記述のうち正しいものはどれか

- (1)前立腺癌は放射線に対する感受性は非常に低いため、放射線治療が選択されることは少ない。
- (2)限局性前立腺癌に対し、前立腺全摘術を行った場合、約 30%の症例に生化学的再発(PSA 再発)が起るとされている。
- (3)前立腺全摘術における合併症としては、術後の尿失禁および性機能障害(勃起機能障害)があげられる。
- (4)血中 PSA は前立腺癌だけではなく、前立腺肥大症や前立腺炎で上昇する場合もある。
- (5)前立腺癌の転移部位としては、肺と肝が最も多い。

A(1)(2)(4)    B(2)(3)(4)    C(1)(2)(5)    D(1)(4)(5)    E(2)(4)(5)

(解答) B

- (1)× ; 小線源を用いた brachy therapy が多くの施設で行われ始めている (2)○ ; 内藤教授のグループが発表した研究結果のようです (3)○ (4)○ (5)× ; 骨への転移が最多

【19】精巣腫瘍について、正しい組み合わせはどれか。

- (1)有痛性陰嚢腫大を主訴とすることが多く、精巣上体炎、精巣炎との鑑別が重要である。
- (2)通常、充実性であり、陰嚢水腫との鑑別は透光性の有無で比較的容易であるが、はっきりしない場合には経皮的超音波ガイド下の針生検が有用である。
- (3)胚細胞性精巣腫瘍は組織学的にセミノーマと非セミノーマに大別され、進行した症例では前者は放射線療法、後者はシスプラチンを中心とした化学療法が有効である。
- (4)非セミノーマには胎児性癌、絨毛癌、卵黄嚢腫瘍、奇形種などがあり、このなかでは奇形種の予後が極めて不良である。
- (5)基本術式は高位除睾術であり、経陰嚢的に患側精巣を摘出する。

A(1)(2)    B(2)(3)    C(2)のみ    D(3)(4)    E(3)(5)    F(3)のみ

(解答) F

- (1)× ; 有痛性→無痛性, 精巣上体炎、精巣炎→陰嚢水腫 (2)× ; 精巣腫瘍を疑ったときは針生検は禁忌
- (3)○ ; 治療の基本 (4)× ; 絨毛癌の予後が極めて不良 (5)× ; 経陰嚢→鼠径管レベルで結紮・切断し精索摘出

【20】40歳の女性。2年前から、徐々に体重増加と満月様顔貌とを認めるようになった。6ヵ月前から無月経となった。同じころに高血圧を指摘され、降圧薬を投与された。血中コルチゾール 26.6μg/dl(正常 5-15)、dehydroepiandrosterone sulfate:22μg/dl(正常 130-160)。この患者でみられる所見はどれか。

- (1)血中 ACTH は低下する。    (2)血中コルチゾールの日内変動は消失する。
- (3)デキサメサゾン 8mg を 2 日間投与すると、尿中 17-OHCS/日は減少する。
- (4)メチラポン(メトピロン)試験で尿中 17-OHCS/日は著増する。
- (5)131I アドステロール副腎シンチグラフィーにより一側に強い放射能集積をみる。

A(1)(2)(3)    B(2)(3)(5)    C(1)(2)(5)    D(1)(4)(5)    E(2)(4)(5)

(解答) C

(1)○；下垂体がコルチゾールによる **negative feedback** をうける (2)○ (3)×；Cushing 病では下垂体が **negative feedback** を受けることで減少する (4)×；正常では著増する (5)○

<婦人科>

【1】女性生殖器の発生・解剖に関して正しいものを1つ選べ。

- a.子宮動脈は総腸骨動脈より分枝する外腸骨動脈から分かれている。
- b.ダグラス窩は膀胱子宮窩のことである。
- c.子宮内膜は月経周期に伴い月経期、増殖期、分泌期の順に周期的変化をする。
- d.子宮頸管上皮は移行上皮に被覆されている。
- e.卵胞は原始卵胞、発育卵胞、グラーフ卵胞、白体、黄体と発育変化していく。

(解答) c

- a)×；外腸骨→内腸骨 b)×；膀胱子宮窩→直腸子宮窩 c)○ d)移行上皮→円柱上皮細胞
- e)×；白体、黄体→黄体、白体

【2】正しいものを1つ選べ。

- a.排卵は LH サージのピークの約 12 時間前に起こる。
- b.インヒビンは **negative feedback** で FSH 産生を抑制する。
- c.GnRH は、黄体期では 30-60 分周期でパルス状分泌される。
- d.LH は卵巣の内來膜細胞に結合してアンドロゲンの産生を刺激する。
- e.視床下部で産生された GnRH は神経分泌により下垂体後葉へ運ばれる。

(解答) d

- a)×；排卵は LH surge 後に起こる b)□；FSH 産生→FSH 分泌 c)×
- d)○；さらに FSH が顆粒膜細胞に結合し、アンドロゲンからエストロゲンを合成する
- e)×；下垂体後葉→下垂体前葉

【3】正しいものを1つ選べ。

- a.顆粒膜細胞から黄体細胞が形成されプロゲステロンが合成される。
- b.原始卵胞は排卵が近づくにつれて分裂を繰り返し二次卵胞となる。
- c.多嚢胞卵巣症候群の卵巣では、白膜下に多数の黄体が観察される。
- d.エストラジオールは芳香化酵素によってエストロンから合成される。
- e.エストロゲンの増加は **negative feedback** により LH サージを誘発する。

(解答) a

- a)○；顆粒膜細胞と莢膜細胞から黄体が形成され、プロゲステロンが合成される
- b)×；卵胞上皮は分裂するが、卵胞自体は分裂しない c)×；黄体→嚢胞状変化 d)×；エストロン→テストステロン e)×；**negative feedback**→**positive feedback**

【4】婦人科検査法について誤っているものを1つ選べ。

- a.扁平円柱上皮境界(SCJ)の内側に扁平上皮癌はしやすい。
- b.頸部スメアの Papanicolaou 分類クラス IV は上皮内癌に相当する。
- c.陰拡大鏡診(コルポスコピー)で白色上皮は酢酸加工前に診断する。
- d.腹腔鏡は外性子宮内膜症の診断に有用である。
- e.CTはリンパ節転移の検索に有用である。

(解答) c

- a)○ b)○ c)×；酢酸加工後に白色病変として認められる d)○ e)○

【5】正しいものを1つ選べ。

- a.基礎体温は就寝前の一定時刻に測定する。      b.性交後試験は精子の運動率を調べるために行う。
- c.子宮卵管造影検査は子宮内腔の観察のため黄体期に行う。
- d.経膈超音波検査で排卵の有無をモニターすることができる。
- e.アッシャーマン症候群では子宮鏡検査で子宮内腔の拡張を認める。

(解答) d

- a)×; 起床直後    b)×; 運動率→数と運動性    c)×; 黄体期→低温相(排卵前)
- d)○; 不妊症での排卵の評価の方法    e)×; 子宮内腔の拡張→子宮内腔の癒着

【6】Tuner 症候群について正しいものを1つ選べ。

- a.LH-RH テストの反応性は不良である。      b.低身長,外反肘,翼状頸が特徴的である。
- c.血中エストロゲンとゴナドトロピンは低値を示す。
- d.カウフマン療法により月経を起こすことはできない。
- e.頻度は新生女児の10000~15000 出産に一例である。

(解答) b

- a)×; LH-RH テストに対して過大反応を示す    b)○    c)エストロゲンは低値を示すが、ゴナドトロピンは高値を示す    d)×; 卵巣の機能不全であり子宮機能は正常であるため、カウフマン療法により正常のホルモン分泌を再現してやることで月経は起こります    e)×; 2000~5000 例に1例の割合

【7】子宮内膜症について正しいものを1つ選べ。

- a.経口避妊薬の投与が治療に有用である。      b.子宮内膜に炎症性病変を認めることが多い。
- c.卵巣機能不全や黄体機能不全の原因となる。      d.プロゲステロンが病変形成を促進させる。
- e.月経時に凝血塊を認め貧血を合併することが多い。

(解答) a

- a)○; ピルにより偽妊娠状態を作り出すことで症状の緩和をもたらす    b)×; 子宮内膜の脱落の結果炎症が起こることはあるが、子宮内膜自体に炎症は認めない    c)×    d)×; プロゲステロン→エストロゲン
- e)×; 貧血は子宮筋腫で高頻度に認めるが、子宮内膜症ではあまり認めない

【8】次のうち、正しくないものを1つ選べ。

- a.膣欠損症では尿路奇形を伴うことが多い。      b.膣縦中隔症では膣留血症を伴うことが多い。
- c.処女膜閉鎖症では膣留血症を伴うことが多い。
- d.子宮脱では腹圧性尿失禁や排尿障害を伴うことが多い。
- e.子宮脱では膀胱脱・直腸脱を伴うことが多い。

(解答) a

- a)×    b)○    c)○    d)○    e)○

【9】正しいものを1つ選べ。

- a.プロゲステロンの増加は頸管粘液を増加させる。
- b.黄体期の頸管粘液は粘稠度が増加して牽糸性に富む。
- c.頸管粘液の分泌は排卵後7日頃の黄体期がもっとも多い。
- d.頸管粘液の性状から着床期を推測することができる。
- e.精子・頸管粘液不適合は人工授精の適応となる。

(解答) e

- a)×; プロゲステロンは頸管粘液を減少させる    b) 排卵期のエストロゲン上昇により頸管粘液の粘稠度が増加して牽糸性に富むようになる    c)×; 黄体期はプロゲステロンにより頸管粘液の分泌は減少する
- d)×; 着床期→排卵期    e)○



【10】婦人科良性腫瘍について誤っているものを1つ選べ。

- a.漿膜下筋腫に頻尿を認めた。      b.筋腫分娩の患者をレゼクトスコップで治療した。  
c.高度の子宮内膜症を骨盤に認め、凍結骨盤の状態であった。  
d.卵巣内膜症性嚢胞が妊娠して悪化した。      e.機能性卵巣嚢腫の診断にピルを投与した。

(解答) d

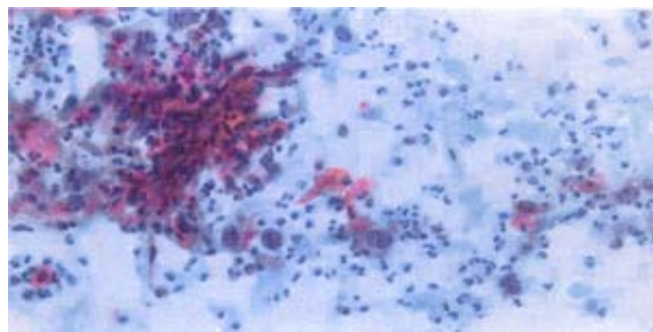
- a)○; 漿膜下筋腫により膀胱を圧迫することによる      b)○; 粘膜下筋腫の治療法  
c)○; 子宮周囲に波及した子宮内膜症により骨盤内の可動性が失われた状態を凍結骨盤という  
d)×; 卵巣内膜症性嚢胞は妊娠により軽快する      e)○; 機能性卵巣嚢腫ではピルを飲むことで下垂体ホルモンを抑制し、腫瘍が縮小するといった診断かつ治療的意義がある

【11】54歳女性。血性帯下を訴えて受診した。

1)と2)の問いに答えよ。

1)図1(別紙)は子宮腔部より採取した擦過細胞診像である。次のうち、正しくないものを1つ選べ。

- a.炎症細胞浸潤がみられる。  
b.壊死像がみられる。  
c.コイロサイトーシスがみられる。  
d.核クロマチンの増量がみられる。  
e.核の大小不同がみられる。



(解答) c

細胞異型の程度からパパニコロウ分類 classIV (上皮内癌) が最も疑われます(浸潤癌にしては核小体がはっきりしない気がします)

- a)○; 全体に炎症細胞浸潤が認められます      b)○; 赤く染まっている部分が壊死組織(壊死物質)と考えられる      c)×; コイロサイトーシスは核周辺の空胞形成を意味するが、明らかなコイロサイトーシスは認められない      d)e)○; 上皮内癌の典型的所見 (→<http://www.yamagiku.co.jp/byouri/index.htm>参照)

2)この症例のコルポスコピー像として予想される特徴的な所見を1つ選べ。

- a.白色上皮      b.モザイク      c.赤点斑      d.異常隆起      e.コンジローマ

(解答) a

a)~c)のすべて認められる可能性はありますが、白色上皮が最も見られる特徴的な所見

(b) c)は新生血管像の病理所見であるため、進行していない上皮内癌などでは見られないこともある)

【12】外陰・膣の疾患について誤っているものを1つ選べ。

- a.大陰唇に毛包を認める。      b.外陰ヘルペスでは細胞診で核内封入体を認める。  
c.バルトリン腺炎の治療に抗生剤を用いる。  
d.外陰 Paget 病は外陰の表在性扁平上皮癌である。      e.外陰癌は高齢者に多い。

(解答) d

- a)○      b)○      c)○      d)×; Paget 病は異型腺細胞によって構成される      e)○

【13】次の症例を読み、1)と2)の問いに答えよ。

【症例】65才の既婚婦人が下腹部の膨満感を主訴として来院した。内診で骨盤内に小児頭大の腫瘍を触知した。腫瘍マーカーはCA125: 50U/ml(正常35以下)、CA19-9: 700U/ml(正常32以下)で、経腹超音波検査の所見は図2の様であった。手術時、腹水を500ml認めた。卵巣の原発腫瘍に加え、大網に転移性腫瘍を認め、腹腔内に多くの播種像を認めた(図3)。摘出腫瘍のH-E染色組織像(図4)では高円柱様の腫瘍細胞を認めた。肺、

図2 卵巣腫瘍超音波検査所見



肝および消化管内に病巣は無かった。

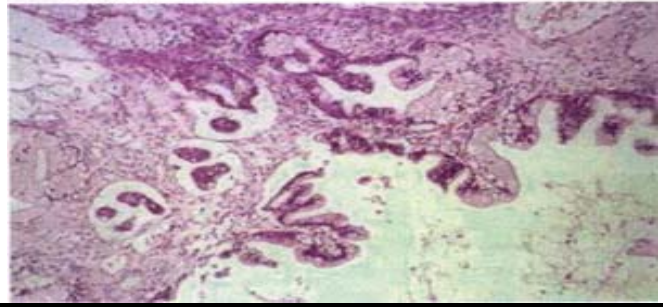
1)この卵巣癌患者の進行期はどれか。

- a.IIa      b.IIc      c.IIIb      d.IIIc      e.IV

図3 手術時開腹所見



図4 卵巣腫瘍組織所見



(解答) d

T1→stage I, T2→stageII, T3→stageIII, M1→stageIV (ただし N1 の場合 T に関係なく stageIIIc)

問題文から M0 が示唆されます。

T3b: 直径 2cm 以下の腹膜内播種 T3c→直径 2cm 以上の腹膜内播種

おそらく 2cm 以上であると思われますし、N についての記載もないことから、stageIIIc ではないかと考えました (T3c だと N に関係なく stage IIIc と定まる)

2)この腫瘍の組織診断はどれか。

- a.クルッケンベルグ腫瘍(印環細胞癌)      b.漿液性嚢胞腺癌  
c.粘液性嚢胞腺癌      d.明細胞癌(類中腎癌)      e.類内膜腺癌

(解答) b

a)×; 本症例の卵巣腫瘍は原発腫瘍

b)~e)エコーではcysticな像ですし、病理像はどれかといわれればbな気がしますが、次のサイトで判断してください→<http://www.yamagiku.co.jp/byouri/index.htm>

【14】 次のうち、正しくないものを1つ選べ。

- a.細胞遺伝学的に全胎状奇胎の染色体はすべて母親由来である。  
b.胎状奇胎娩出後の一次管理中に尿中または血中のhCGが判別線以下を推移する場合を経過順調型という。  
c.全胎状奇胎は部分胎状奇胎に比べて悪性化の頻度が高い。  
d.組織学的に証明されていなくとも基準を満たせば臨床的絨毛癌として取り扱ってもよい。  
e.絨毛癌は組織学的に絨毛構造を示さない。

(解答) a

a)×; 母親→父親    b)○    c)○    e)○    e)○

【15】 症例は 37 歳、G0P0、元来月経不順で不妊症の治療を受けている。しばしば不正性器出血があり、経膈超音波検査で子宮内膜の肥厚を指摘された。精査するにあたり最も念頭に置かなければならない疾患はどれか 1 つ選べ。

- a.子宮体癌      b.子宮腺筋症      c.子宮内膜増殖症      d.子宮肉腫      e.子宮筋腫

(解答) c

※不妊症の治療 (エストロゲン剤投与) により子宮内膜増殖症が発症したと考えられる

【16】 婦人科炎症性疾患について誤っているものを1つ選べ。

- a.ビフィズス菌が膈内を酸性に保つ。      b.小児期膈炎の起炎菌には大腸菌が多い。  
c.カンジダ膈炎の治療に抗真菌剤を用いる。  
d.トリコモナス膈炎では泡沫状黄色帯下を認める。      e.クラミジア頸膈炎は STD である。

(解答) a

a)×; ビフィズス菌→デーテルライン桿菌 b)○ c)○ d)○ e)○

&lt;病理&gt;

【1】腎細胞癌についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)腎糸球体基底膜由来である。 2)肉眼像ではしばしば出血・壊死をみる。  
 3)腎静脈や下大静脈に腫瘍塞栓をつくることはまれでない。  
 4)長期透析後に腎細胞癌が発生することは極めてまれである。

a)1,3,4のみ b)1,2のみ c)2,3のみ d)4のみ e)1~4すべて

(解答) c

1)×; 腎糸球体基底膜→腎尿細管細胞由来 2)○ 3)○ 4)×; 長期透析後の腎細胞癌はしばしば見られる

【2】腎細胞癌の組織像についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)淡明細胞癌、顆粒細胞癌、嫌色素細胞癌などに分類される。  
 2)腎淡明細胞癌の間質は、線維成分に富むことが多い。  
 3)腎淡明細胞癌の淡明な細胞質には、グリコーゲンが豊富に含まれている。  
 4)集合管癌(Bellini 管癌)は腎髄質に発生する。

a)1,3,4のみ b)1,2のみ c)2,3のみ d)4のみ e)1~4すべて

(解答) a

1)○; 淡明細胞癌、顆粒細胞癌、嫌色素細胞癌、紡錘細胞癌、嚢胞随伴性癌、乳頭状腎細胞癌の6つに分類される 2)×; 線維成分に富む特徴は見られない 3)○ 4)○

【3】腎芽腫(Wilms' tumor)についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)10~15才に好発する。 2)後腎組織より発生し、多彩な組織像を呈す。  
 3)ときに両側性に発生する。 4)発生にはRb遺伝子の異常が深く関与している。

a)1,3,4のみ b)1,2のみ c)2,3のみ d)4のみ e)1~4すべて

(解答) c

1)×; 1~5歳に好発する 2)○ 3)○; 5%の症例で両側性に見られる 4)×; WT-1遺伝子が関与している

【4】膀胱の疾患についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)増殖性膀胱炎では von Brunn 細胞巣がみられることがある。  
 2)移行上皮癌は、乳頭状増殖を示すものが最も多い。  
 3)膀胱移行上皮癌乳頭状型の上皮成分は、通常移行上皮より高層化(7層以上)したことが多い。  
 4)膀胱に発生する肉腫では、横紋筋肉腫が多くこれは小児に好発する。

a)1,3,4のみ b)1,2のみ c)2,3のみ d)4のみ e)1~4すべて

(解答) e

1)○; 嚢胞性膀胱炎とも呼ばれる病変で、移行上皮の小嚢胞状化生が病変の本体で、Brunn's nest と呼ばれる移行上皮に充実製小胞巣状の結節を形成して増殖する前癌性病変が見られることが特徴  
 2)○; 移行上皮癌の多くが乳頭状である 3)○ 4)○

【5】前立腺肥大症、前立腺癌についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)前立腺肥大症は、組織学的に前立腺被膜下の外腺領域の過形成である。  
 2)前立腺肥大症は、組織学的に前立腺腺組織の過形成であり間質成分は乏しくなる。  
 3)前立腺癌は組織学的に異型が強く、高分化型でも組織診断は容易である。  
 4)前立腺癌の組織学的 grading として Gleason 分類が多用されている。

a)1, 3,4のみ b)1,2のみ c)2,3のみ d)4のみ e)1~4すべて

(解答) d

1)× ; 外腺→内腺 2)× ; 間質成分の増生も認められる 3)× 4)○

**【6】** 子宮頸部異形成についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)子宮頸部異形成は、扁平上皮と円柱上皮の移行部に好発する。
  - 2)子宮頸部異形成は、自然治癒することがある。
  - 3)近年、子宮頸部異形成と同様の概念として CIN(cervical intraepithelial neoplasia)が用いられ、異型度に従い I~III に分類される。
  - 4)子宮頸部の異形成の発生と human papilloma virus(HPV)感染の関連が重要視されている。
- a)1,3,4 のみ    b)1,2 のみ    c)2,3 のみ    d)4 のみ    e)1~4 すべて

(解答) e

**【7】** 子宮体部病変についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)子宮外妊娠では、子宮内膜に Arias-Stella 反応がみられることがある。
  - 2)子宮内膜症が子宮筋層に起こった場合を子宮腺筋症と呼ぶ。
  - 3)子宮平滑筋腫で出血、壊死をみることは少なく、平滑筋肉腫との鑑別に有用である。
  - 4)病理学的に、子宮平滑筋腫と平滑筋肉腫との鑑別は核異型度で決められる。
- a)1,3,4 のみ    b)1,2 のみ    c)2,3 のみ    d)4 のみ    e)1~4 すべて

(解答)

3)× ; 平滑筋腫でも出血、壊死は見られ、臨床的に平滑筋腫と平滑筋肉腫を鑑別することは極めて困難

**【8】** 子宮癌についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)子宮頸部扁平上皮癌の組織型として、角化型と非角化型がある。
  - 2)子宮頸部腺癌は極めてまれである。
  - 3)子宮内膜異型塔殖症は子宮内膜癌の前癌病変と考えられる。
  - 4)子宮内膜癌の多くは腺癌であり、その中でも正常の内膜に類似する類内膜腺癌が多い。
- a)1,3,4 のみ    b)1,2 のみ    c)2,3 のみ    d)4 のみ    e)1~4 すべて

(解答) a

1)○ 2)△ ; 子宮頸癌の 10%は頸部腺癌 3)○ 4)○

**【9】** 卵巣腫瘍・腫瘍様病変についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)卵巣子宮内膜症はチョコレート嚢胞をきたす。
  - 2)卵巣漿液性腫瘍には境界悪性病変が存在するが、卵巣粘液性腫瘍には境界悪性病変は存在しない。
  - 3)卵巣漿液性腫瘍の腫瘍上皮は、卵管上皮や卵巣表層上皮に似る。
  - 4)卵巣粘液性腫瘍は、腫瘍上皮の性状から内頸部型、腸上皮型と混合型に分けられる。
- a)1,3,4 のみ    b)1,2 のみ    c)2,3 のみ    d)4 のみ    e)1~4 すべて

(解答) e

1)○ 2)○ 3)○ 4)○

**【10】** 卵巣腫瘍についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1)卵巣にもしばしば子宮内膜に類似する類内膜腺癌が発生する。
  - 2)卵巣顆粒膜細胞腫では、成人にみられるものと若年者にみられるもので組織学的特徴が異なる。
  - 3)卵巣未熟奇形腫は臨床的には良性と考えられる。
  - 4)卵黄嚢腫瘍の組織像で、しばしば Call-Exner body が認められる。
- a)1,3,4 のみ    b)1,2 のみ    c)2,3 のみ    d)4 のみ    e)1~4 すべて

(解答) b

3)× ; 未熟奇形腫は別名悪性奇形腫ともいわれる 4)× ; Call-Exner body は卵巣顆粒膜細胞腫で見られる

## 2004年度卒業試験（獲得）

## &lt;泌尿器科&gt;

1. 以下の記述のうち正しいものの組み合わせを選べ。
- (1)左腎静脈は大動脈の背側を横断し下大静脈に注ぐ。 (2)右副腎中心静脈は右腎静脈に注ぐ。  
 (3)副腎動脈は下横隔膜動脈、大動脈、腎動脈からの分枝により栄養される。  
 (4)左精巣（ 牽丸 ） 静脈は左腎静脈に注ぐ。  
 (5)左腎静脈が腹部大動脈と上腸間膜動脈との間で圧迫されることがある。
- A(1)(2)(4) B(1)(2)(5) C(1)(3)(5) D(1)(4)(5) E(3)(4)(5)

2003 年度概説試験 1 と同じ。答え E。

2. 以下の記述のうち正しいものの組み合わせを選べ（ 血尿：肉眼的血尿 ）。
- (1)初期血尿：膀胱からの出血 (2)無症候性血尿：尿路悪性腫瘍 (3)終末時排尿痛：急性膀胱炎  
 (4)全血尿：頸部以外の膀胱上部尿路（ 腎・尿管 ）からの出血 (5)終末時血尿：前部尿道からの出血
- A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(3)(5) D (1)(4)(5) E (3)(4)(5)

2003年度卒試2と同じ。答えB。

3. 37 歳の男性疼痛なく、一側の陰嚢が腫大してきた。考えられる疾患はどれか。
- 1)急性精巣上体(副睾丸)炎 2)陰嚢水腫 3)精巣(睾丸)腫瘍 4)流行性耳下腺炎性精巣(睾丸)炎 5)精液瘤
- A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(3)(5) D (1)(4)(5) E (3)(4)(5)

2003 年度卒試 3 と同じ。(1)と(4)は疼痛があるため、答えは(2)(3)(5)となる。

- 4.正しい組給わせを選べ。
- (1)機能性尿失禁とは排尿反射に対する上位中枢からの抑制路が何らかの原因で遮断されて生じる失禁で、トイレまで我慢できずに尿が漏出してしまうものである。  
 (2)腎後性無尿は骨盤内臓器腫瘍による浸潤や圧迫、後腹膜リンパ節転移による圧迫などが原因となることが多く、治療として経尿道的尿管ステントの留置や経皮的腎造設術が行われる。  
 (3)尿量が 1 日 100 ml 以下の場合を無尿と呼ぶが、尿閉との鑑別には膀胱部の超音波検査が有用である。  
 (4)排尿障害の原因となる薬剤の代表的なものには三環系抗うつ薬、抗ヒスタミン薬などがある。  
 (5)腎の大きな結石でしばしば疝痛発作をきたすことがある。
- A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(3)(5) D (1)(4)(5) E (3)(4)(5)

2003 年度卒試 4 と同じ。答え B。

5. 以下の文章で適切なものはどれか。
- (1) 副腎シンチグラフィーで  $^{131}\text{I}$ - アドステロールは副腎皮質に、  $^{131}\text{I}$ -MIBG は副腎髄質 に集積する。  
 (2) 膀胱癌の存在診断は膀胱鏡が最もすぐれている。  
 (3) チェーン膀胱造影は、腹圧性尿失禁の診断方法として用いられる。  
 (4) 骨シンチグラフィーで異常集積が認められれば、骨転移と診断してよい。  
 (5) 尿流量検査で最大尿流率が低下していれば、膀胱の排尿機能は低下しているといつてよい。  
 (6) 腎機能障害症例に対し排泄性腎盂造影検査を行う場合、描出をよくするために造影剤の量を多くする
- A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(3)(5) D (1)(4)(5) E (3)(5)(6) F(4)(5)(6)  
 G 以上のいずれの組み合わせでもない

2003年度卒試5と同じ。答えA。

6. 以下の項目の中で正しいものを選べ。
- (1) 嚢胞腎 (polycystic kidney) は常染色体劣性遺伝の小児型と、常染色体優性遺伝の成人型があり、血尿、高血圧、腎不全の原因となる。  
 (2) 腎盂・尿管移行部や尿管膀胱接合部狭窄による水腎( 水尿管 ) 症では、尿流障害による腎盂内圧の上昇が腎実質を圧迫して腎障害をもたらすことは稀である。  
 (3) 尿道下裂では排尿障害、索状物(chordee) による勃起不全、尿失禁等の症状がみられる。  
 (4) 融合腎 (fused kidney) の中で最も多いのは馬蹄腎 (horse shoe kidney) である。  
 (5) 乳少児の腎盂腎炎 (pyelonephritis) は、膀胱尿管逆流 (vesicoureteral reflux) の関与が多い。
- A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(2)(5) D (1)(4)(5) E (2)(4)(5)

2002年度卒試4と一部同じ。(3)尿道下裂では尿失禁は見られないため×。答えはD。

7. 正しい組み合わせばどれか。

- (1)骨盤腎——尿管の延長 (2)下大静脈後尿管——左水腎症 (3)完全重複腎盂尿管——Weigert-Meyer 法則  
(4)馬蹄鉄腎——腎長軸延長線の下方交差 (5)海綿腎——腎石灰症(nephrocalcinosis)

A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(3)(5) D (1)(4)(5) E (3)(4)(5)

2003年度卒試7と同じ。答えE。

8. 以下の記述のうち正しいものの組み合わせを選べ。

- (1)膀胱損傷において腹膜刺激症状の有無にて、腹膜内損傷か腹膜外損傷かを区別できることが多い。  
(2)非開放性的の多くは腎挫傷であり、保存的治療が可能である。  
(3)腎外傷において血尿は必発であり、血尿を認めない場合管外傷は否定できる。  
(4)後部尿道の損傷は骨盤骨折に伴うことが多い。  
(5)尿道損傷の部位診断には尿道造影、膀胱鏡検査は必須である。

A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(2)(4) D (2)(3)(5) E (2)(4)(5)

2002年度卒試1と一部同じ。(2)○85%は保存的治療を行っている。(5)×腹部の触診、エコー、直腸診及び逆行性尿道造影が有用です。答えはCとなる。

9. 尿路結石について正しい答えの組み合わせばどれか？

- (1)感染結石として重要な成分はリン酸マグネシウムアンモニウムである。  
(2)アルカリ性尿は感染結石、酸性尿は尿酸結石、シスチン結石、高カルシウム尿はシュウ酸カルシウム結石がしやすい。  
(3)シスチン尿症は常染色体優位遺伝であり、その結石はレントゲン陽性結石である。  
(4)アロプリノールは尿中へ尿酸の排泄を促し、尿酸結石の成因となる。  
(5)尿酸結石に対し最も多く行われている手術はESWL である。

A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(2)(5) D (1)(4)(5) E (2)(3)(5)

2003年度卒試9と同じ。答えC。

10. 尿路感染症に関する記載のうち誤っている組み合わせを選択せよ。

- (1)複雑性尿路感染症においては基礎疾患の治療が大切である。  
(2)単純性膀胱炎における起炎菌は、ブドウ球菌が最も多い。  
(3)尿路感染症は多くの場合、腎からの順行性感染で起こる。  
(4)急性腎盂腎炎を繰り返す患者に対しては排尿時膀胱造影を行うべきである。  
(5)尿道炎において鏡検で淋菌が証明されたら、クラミジア尿道炎の混合感染を考えなくて良い。

A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(2)(5) D (1)(4)(5) E (3)(4)(5)

2003年度卒試10と同じ。正しいのは(1)と(4)である。誤っているのは(2)(3)(5)。

11. 尿路感染症に関する記載のうち正しいものを選択せよ。

- (1)尿路感染症の症候として、混濁尿、排尿痛、発熱、頻尿、などがある。  
(2)膿腎症は尿路の閉塞に伴う腎感染であり、化学療法のための保存的加療で十分である。  
(3)急性前立腺炎では前立腺部の圧痛を認め、前立腺マッサージは禁忌である。○  
(4)精巣上体(副睾丸)炎は、尿道・前立腺からの逆行性感染で起こる。  
(5)精巣炎の原因とに流行性耳下腺炎がある。

A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(3)(5) D (1)(4)(5) E (3)(4)(5)

(1)○(2)×腎摘除術の適応である。(3)×腫大、緊張し、圧痛が強い時期は前立腺マッサージは禁忌だが、炎症が落ち着き、緊張が低下してきたら前立腺マッサージで排膿する。(4)○(5)○ 答えはD。

12. 神経因性膀胱に関する記載のうち正しいものを選択せよ。

- (1)骨盤内手術後には知覚障害と膀胱の収縮機能障害を生じるが、膀胱のコンプライアンス低下は認めない。  
(2)脳血管障害による神経因性膀胱では無抑制収縮がみられ、頻尿、切迫性失禁などの症状を呈する。  
(3)頸・胸椎損傷では排尿筋・外尿道括約筋協調不全が(DSD)が出現することが多く、高圧膀胱のため膀胱変形や膀胱尿管逆流症などを合併しやすい。  
(4)下位の排尿中枢は、S2~4 である。(5)間欠的自己導尿は膿尿が必発であり、尿路結石症の要因となる。

A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(2)(4) D (1)(2)(5) E (2)(3)(5)



2003年度卒試 1 2 と同じ。答えB。

13. 誤っている組み合わせはどれか？

- (1)射精は交感神経の興奮によって起こる。 (2)LND( 後腹膜リンパ節郭清 ) では射精障害は起こらない。  
 (3)TUR-P 後の合併症として、逆行性射精を比較的高頻度に認める。  
 (4)精索静脈瘤は右側に多く、男性不妊症の原因となることがある。  
 (5)脊髄損傷患者でも正常な射精機能は保たれている。  
 A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(2)(5) D (1)(4)(5) E (2)(4)(5)

2003年度卒試 1 3 と同じ。答えE。

14. 腎移植について正しいものの組み合わせばどれか。

- (1) 腎移植後のウイルス感染症として代表的なものはサイトメガロウイルス感染症でganciclovirが治療に用いられる。  
 (2) 我が国の腎移植において、脳死体腎移植数は減少している。  
 (3) 我が国の腎移植成績は種々の免疫抑制剤の登場で年々向上しており、近年の生体腎移植における1年生着率は約 70%前後である。  
 (4) 腎移植手術においては、一般的には腎動脈は内腸骨動脈、腎静脈は外腕静脈に吻合する。  
 (5) 近年、配偶者をドナーとする非血縁者間生体腎移植が増加している。  
 A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (2)(3)(5) D (1)(4)(5) E (3)(4)(5)

2003年度卒試14と同じ(1)○(2)×増加している。(3)×90%くらいである。(4)×腎静脈は外腸骨静脈に吻合する。(5)○ 答えは？。

15. 腎細胞癌につき正しいのはどれか。

- (1) 近位尿管由来であり、画像上hypervascularな像を呈することが多い。  
 (2) 血行性転移よりもリンパ行性転移をきたしやすい。  
 (3) 原因不明の発熱、貧血、高カルシウム血症などの徴候が見られることがある。  
 (4) 根治的腎摘除術ではまず腎動静脈の結紮を行うが、副腎は副腎不全予防のため摘出してはならない。  
 (5) 肺転移に対し、インターフェロンやインターロイキン2 等の免疫療法が行われる。  
 A (1)(2)(4) B (2)(3)(4) C (1)(2)(5) D (1)(4)(5) E (2)(4)(5)

2003 年度卒試 15 と同じ。正しいのは(1)(3)(5)。

16. 正しい文章の組み合わせを選べ。

- (1) 尿路変向術には失禁型の尿管皮膚瘻や回腸導管、自然排尿型の Hautman や Studer法などがある。  
 (2) 原発性膀胱癌の組織型としては大部分が移行上皮癌である。  
 (3) 膀胱癌の発生と芳香族アミン化合物 ( ベンチジン、 2-ナフチラミンなど ) の相関は、疫学的には認められない。  
 (4) 上皮内癌 ( carcinoma in situ ) はBCG膀胱内注入療法の適応である。  
 (5) 原発性腎盂尿管癌において自排尿の尿細胞診の陽性率は非常に高い。  
 A (1)(2)(4) B (2)(3)(4) C (1)(2)(5) D (1)(4)(5) E (2)(4)(5)

(答)A 2003 年度概説 16 番と同じ。

17. 精巣腫瘍について、正しい組み合わせはどれか。

- (1) 有痛性陰嚢腫大を主訴とすることが多く、精巣上体炎、精巣捻転との鑑別が重要であり、経皮的超音波ガイド下の針生検が有用である。  
 (2) 精巣腫瘍の腫瘍マーカーとしてAFP、HCG-β、LDH が有用である。  
 (3) 転移巣があっても高位除睾術を行い、患側精巣を摘出し病理診断を行う。  
 (4) 胚細胞性精巣腫瘍は組織学的にセミノーマと非セミノーマに大別され、前者は放一射線療法 (+ 化学療法)、後者はシスプラチンを中心とした化学療法が有効である。  
 (5) 非セミノーマには胎児倒、絨毛癌、卵黄嚢腫瘍、奇形種などがあり、このなかでは奇形種の予後が極めて不良である。  
 A (1)(2)(3) B (2)(3)(4) C (1)(2)(4) D (2)(3)(5) E (3)(4)(5)

(答)B 2003 年度概説 17 番と同じ。

18.40 歳の女性。2 年前から、徐々に体重増加と満月様顔貌とを認めるようになった。6 カ月前から無月経となった。同じころに高血圧を指摘され、降圧薬を投与された。この患者でみられる所見はどれか。血中コルチゾール 26.6 $\mu$ g/dl(正常 5-15)、dehydroepiandrosterone sulfate 22 $\mu$ g/dl(正常 130~160)。

- (1) 血中 ACTH は低下する。 (2) 血中コルチゾールの日内変動は消失する。  
 (3) アドステロール副腎シンチグラフィにより一側に強い放射能集積をみる。  
 (4) メチラポン (メトピロン) 試験で尿中 17-OHCS/日は著増する。  
 (5) デキサメタゾン 8mg を 2 日間投与すると、尿中 17-OHCS/日は減少する。

A (1)(2)(3) B (2)(3)(5) C (1)(2)(5) D (1)(4)(5) E (2)(4)(5)

(答)A 2003 年度概説 18 番と同じ。

19.( ) 内に適当な語句をいれよ。

( 1 ) で前立腺癌は石様に硬く触れ、圧痛がない。前立腺癌の腫瘍マーカーに ( 2 ) があり、前立腺癌の診断や治療効果の判定に用いられる。治療法としては、比較的年齢が若く限局性前立腺癌の場合には、観血的治療として ( 3 ) がおこなわれる。そして、外科的去勢、内科的去勢 (LH-RH アゴニスト)、エストロゲン剤、抗アンドロゲン剤などの ( 4 ) 療法や放射線療法、また、未分化癌や再燃癌には化学療法もおこなわれる。

(答)1.直腸内指診 2.PSA 3.神経温存法による前立腺精嚢全摘術(?) 4.ホルモン

#### <婦人科>

1. 女性生殖器の発生・解剖に関して正しいものをひとつ選べ。

- a. ミューラー管の発育は testosterone によって抑制される。 b. 卵管はヴォルフ氏管より発生する。  
 c. 膣前庭は外尿道口、膣腔、Bartholin 腺、Skene 腺が開口している。  
 d. 卵管は間質部、峡部、中間部、膨大部、卵管采に区別される。  
 e. 成人婦人の通常の子宮の大きさは鵝卵大である。

(答)c. b. ヴォルフ氏管→ミューラー管 e. 鵝卵→鶏卵大

2. 正しいものをひとつ選べ。

- a. 排卵は LH サージのピークの 1 日前に起こる。  
 b. インヒビンは negative feedback で FSH 産生を抑制する。  
 c. GnRH は、黄体期では 20~30 分周期でパルス状分泌される。  
 d. LH は卵巣の内荳膜細胞に結合して androgen の産生を刺激する。  
 e. 視床下部で産生された GnRH は神経分泌により下垂体後葉へ運ばれる。

(答)d. a. LH サージのあと排卵 b. negative feedback→×

3. 正しいものをひとつ選べ。

- a. 顆粒膜細胞から黄体細胞が形成されプロゲステロンが合成される。  
 b. 原始卵胞は排卵が近づくにつれて分裂を繰り返し二次卵胞となる。  
 c. 多嚢胞卵巣症候群の卵巣では、白膜下に多数の黄体が観察される。  
 d. エストラジオールは芳香化酵素によってエストロンから合成される。  
 e. エストロゲンの増加は negative feedback により LH サージを誘発する。

(答)a d. 芳香化酵素 ; エストロゲン合成酵素 e. negative→positive

4. 正しいものをひとつ選べ。

- a. 基礎体温は就寝前の一定時刻に測定する。 b. 性交後試験は精子の数を調べるために行う。  
 c. 子宮卵管造影検査は子宮内腔の観察のため黄体期に行う。  
 d. 経膣超音波検査で排卵の有無をモニターすることができる。  
 e. アッシャーマン症候群では子宮鏡検査で子宮内腔の拡張を認める。

(答)d. a. 就寝前→起床時 b. 性交渉後に子宮頸管粘液と精子との適合(相性)をみる c. 月経直後



5. 次の症例を呼んで、以下の説明に答えよ。

＜症例＞ 29 歳の女性。結婚後 5 年になるが、挙児を希望して来院した。避妊したことはなく、一度も妊娠したことはない。結婚後より次第に月経時の経血量が増加し、最近下腹部の膨満感があるという。

1) まず勧めるべき検査として適当でないものはどれかひとつ選べ。

- a. 超音波断層法    b. 夫の精液検査    c. 性交後試験（フーナーテスト）  
d. 基礎体温測定    e. コルポスコピー

2) 内診の結果、骨盤内に新生児頭大の腫瘍を認め、骨盤部 MRI 検査（T2 強調画像、別紙図 1）および子宮卵管造影を行った（別紙図 2）。

この患者の診断としてもっとも考えられるものを一つ選べ。

- a. 子宮頸癌    b. 子宮体癌    c. 卵巣腫瘍    d. 子宮筋腫    e. 中隔子宮

3) この患者に手術を行う場合、選択すべき術式を一つ選べ。

- a. 単純子宮全摘出術および両側付属器切除術    b. 広汎子宮全摘出術  
c. 子宮筋腫核出術    d. 片側付属器切除術    e. 子宮中隔切除術

(答) 1.e 2.d 3.c    2003 年概説 6 番と同じ。

6. 22 歳の女性で、初経がない。外性器として陰の形成は認める。身長は 145cm で、外反肘がある。次の疾患のなかで最も疑われる疾患を一つ選べ。

- a. クライネフェルター症候群    b. ロキタンスキー・キュスター・ハウザー症候群  
c. ターナー症候群    d. 精巢性女性化症    e. 副腎性器症候群

(答) c

7. 子宮内膜症について正しいものを一つ選べ。

- a. 子宮内膜炎や子宮内膜過形成を合併することが多い。  
b. 保存的治療として GnRH アナログのパルス療法が行われる。  
c. GnRH アナログ療法では骨量減少に注意する必要がある。  
d. エストロゲン依存性であるためタモキシフェン療法が有効である。  
e. 過多月経のために貧血を合併することが多い。

(答) c.    2003 年概説 7 番と同じ。

8. 次のうち、正しくないものを一つ選べ。

- a. 膣欠損症では子宮の欠損を伴うことが多い。    b. 膣縦中隔症では腫留血症を伴うことが多い。  
c. ミュラー管由来臓器の奇形は尿路奇形を伴うことが多い。  
d. 全子宮脱とは子宮全体が膣外に出た状態をさす。  
e. 子宮脱は腹圧性尿失禁や排尿障害を伴うことが多い。

(答) b    他のは正しい。

9. 症例は 59 歳、G0P0、閉経 52 歳の既婚婦人で、不妊症の治療歴があった。10 日前よりの少量の性器出血があり、前医の内服細胞診で陽性と診断され、紹介され来院した。最も念頭に置かなければならない疾患について正しいものを一つ選べ。

- a. 高危険因子として喫煙歴がある。    b. 平均年齢は子宮頸癌患者に比べて若年である。  
c. 子宮頸部、膣部細胞診での検出率はわずか 50% である。  
d. 臨床進行期 II 期の症例が半数以上を占める。  
e. 手術療法として子宮全摘出術のみで両側付属器切除はかならずしも必要ではない。

(答) c    子宮体癌；原則として子宮全摘＋両側付属器切除。

10. 次の文を読み、問いに答えよ。

45 歳女性。接触出血を訴えて受診した。

1) 別紙図 3 は子宮腔部より採取した擦過細胞診像である。次のうち、正しくないものを一つ選べ。

- a. 核クロマチンの増量がみられる    b. 核の大小不同がみられる  
c. 角化傾向がみられる    d. 腺腔形成がみられる    e. 炎症細胞浸潤がみられる

2) この症例のコルポスコピー像として予想される特徴的な所見を一つ選べ。

- a. モザイク    b. 白色上皮    c. 表面隆起    d. 赤点斑    e. コンジローマ

(答) 1)d 2)b    2003 年度卒試婦人科 8 と同じ。

11. 次のうち、正しくないものを一つ選べ。

- a. 肉眼的に全ての絨毛が嚢胞化していれば全胎状奇胎と診断する。
- b. 細胞遺伝学的に全胎状奇胎の染色体はすべて母親由来である。
- c. 胎状奇胎娩出後の一次管理中に尿中または血中の hCG が判別線以下を推移する場合を経過順調型という。
- d. 胎状奇胎妊娠の 1~2% に絨毛癌を続発する。
- e. 組織学的に証明されていなくとも基準を満たせば臨床的絨毛癌として取り扱ってもよい。

(答) b 2003 年度卒試婦人科 9 とほぼ同じ。

12. 婦人科検査法について誤っているものを一つ選べ。

- a. 子宮頸部を酢酸加工して腔拡大鏡診（コルポスコピー）を行った。
- b. 頸部スメアがパパンニコロウ（Papminkoloau）分類 IIIa のため軽度異形成を疑った。
- c. 子宮内膜症が疑われたため、子宮内膜組織診を行った。
- d. 子宮鏡（ヒステロスコピー）で子宮内膜ポリープと診断した。
- e. 子宮内膜が MRI の T2 強調画像で高信号に（白く）描出された。

a.b.○ 2002 年度概説産婦人科 4 参照

c.× 腹腔鏡、超音波などで子宮外の内膜組織を確認する必要がある。

d.○ e.○ 2001 年度卒試産婦人科 4 参照

(答) c

13. 外陰・膣の疾患について誤っているものを一つ選べ。

- a. 大陰唇は皮下脂肪が豊富である。
- b. 外陰癌は骨盤リンパ節にも転移する。
- c. 外陰癌に有効な抗癌剤としてブレオマイシンが使用される。
- d. 尖圭コンジローマの病変からヘルペスウイルスの感染が同定される。
- e. 膣癌は後陸円蓋部に生じやすい。

d.× 尖圭コンジローマはヒトパピローマウイルス

a.○ b.○ 2002 卒試婦人科 11 参照 c.○ 2002 概説婦人科 12 参照 e.○

14. 婦人科炎症性疾患について誤っているものを一つ選べ。

- a. カンジダ腫炎で白色ヨーグルト状の帯下を認める。
- b. 単純ヘルペスウイルスの初感染を副腎皮質ステロイドで治療する。
- c. トリコモナス膣炎の治療にメトロニダゾールを用いる。
- d. 鼠径リンパ肉芽腫症は STD である。
- e. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）は RNA ウイルスである。

(答) b

a.c.e.○ 2002 概説婦人科 16 参照 d.○ b.× アシクロビルを用いると思う。ステロイドは免疫抑制のためよくないと思う。

15. 婦人科良性腫瘍について誤っているものを一つ選べ。

- a. 粘膜下筋腫に過多月経、月経困難症を認めた。
- b. 子宮筋腫が閉経後に軽快した。
- c. 不妊症の子宮筋腫患者に筋腫核出術を行った。
- d. 卵巣内膜症性嚢胞の治療にエストロゲンを投与した。
- e. 卵巣線維腫に胸水が合併した。

(答) d a.b.○ 2002 卒試婦人科 9 参照 d.× 2002 概説婦人科 10 参照

c.○ e.○ メイグス症候群

16. 次の症例を読んで、以下の設問に答えよ。

〔症例〕 60 才の既婚婦人。腹部の膨満感を主訴として来院し卵巣癌疑いにて開腹術を行った。検査所見 :CA1251,150U/ml ( 正常 35 以下 )、CEA0.5ng/dl( 正常 2.5 以下 )、CA19-9 200U/ml( 正常 32 以下 )。手術所見 ( 別紙図 4): 子宮は正常大なるも左卵巣は径 15cm、右卵巣は径 6cm に腫大し、共に嚢胞性一部充実性の腫瘍を形成していた。腹水を 1500ml 認め、骨盤腹膜、大網、横隔膜下面に転移巣を認めた。腹水細胞診は陽性で、摘出した骨盤リンパ節にも転移を認めた。摘出腫瘍の HE 染色標本 : 淡明な胞体でグリコーゲンに富む細胞が腺管状に発育する部分 ( 別紙図 5 左 ) と核が細胞の遊離面に近く突出する犬釘細胞 (hobnail cell) 型の細胞が乳頭状に増殖する部分 ( 別紙図 5 右 ) を認めた。

1) この卵巣癌患者の進行期はどれか

- a. Ic      b. IIa      c. IIc      d. IIIa      e. IIIc

2) この腫瘍の病理診断はどれか

- a. 漿液性嚢胞腺癌      b. 粘液性嚢胞腺癌      c. 明細胞癌 ( 類中腎癌 )  
d. 類内膜腺癌      e. クルッケンベルグ腫瘍 ( 印環細胞癌 )

( 答 ) 1)e ? 2)c

1) 腹腔内転移が認められ、腹腔外転移はないので III 期であることは間違いない。IIIa では顕微鏡的腹腔内播種であるから、手術所見で横隔膜などに転移を認める本例は IIIc であろう。

2) hobnail cell は明細胞癌の特徴。

#### < 病理 >

- 1) 急性尿細管壊死の病理組織像では、近位尿細管上皮の変性壊死、剥離が見られる。
- 2) 腎淡明細胞癌の間質は、血管成分に乏しいことが多い。
- 3) 腎淡明細胞癌の淡明な細胞質には、粘液が豊富に含まれている。
- 4) 副腎皮質腺腫は、アルドステロン、コルチゾールなどの副腎皮質ホルモンを過剰分泌することが多い。
- 5) 腎芽腫 (Wilms' tumor) は、後腎組織より発生し、多彩な組織像を呈す。
- 6) 膀胱移行上皮癌乳頭状型の上皮成分は、通常移行上皮より低層化配列 (6 層以下) を示すものが多い。
- 7) 前立腺肥大症は、病理組織学的には外腺 (周辺帯) の過形成であり、外腺の構成成分、すなわち腺性成分が著明に増生している。
- 8) 前立腺癌高分化型の腺管をおおう腫瘍細胞は、2 層性の構造異型をとる。
- 9) 精巣のセミノーマの (seminoma) の確定診断は、経皮的針生検にて合胞体性巨細胞が認められることである。
- 10) 尖圭コンジローマは、扁平細胞上皮乳頭腫でありその発生に human papilloma virus (HPV) が関連しているが、陰茎のみならず子宮頸部にも発生する。
- 11) 子宮筋腫の続発性の組織変化として、石灰化や硝子様変性などが見られる。
- 12) 子宮内膜癌は腺腫が多く、子宮腺筋症の異所的な内膜から発生するものが多い。
- 13) 子宮頸部上皮内癌は、子宮頸部の扁平円柱上皮境界に接する移行帯に好発する。
- 14) 子宮頸癌は、扁平上皮癌と腺癌との混合型も見られる。
- 15) 卵巣腫瘍は嚢胞性腫瘍が多く、そのなかの漿液性嚢胞腺種は多房性のものが多い。
- 16) 卵巣成熟嚢胞性奇形腫は、外胚葉由来である皮膚とその付属器組織からなる。
- 17) 全胎状奇胎の絨毛間質は、血管と栄養芽細胞が著明に増成する。
- 18) 子宮外妊娠では、子宮内膜に Arias-Stella 反応が見られることがある。
- 19) 子宮腔部びらんは、大部分は組織学的に仮性びらんである。
- 20) 卵巣莢膜細胞腫は、粘液性腫瘍で嚢胞状の肉眼所見を呈する。

1) ○    2) ○ : 血管豊富    3) × : 2003 概説病理 1.1) 参照。    4) ?    5) ○    6) × : 7 層以上の移行上皮らしい。組織病理アトラス 188p 参照。    7) × : 前立腺肥大症は内腺に好発。癌は外腺に好発。    8) × : 2 層性失い 1 層のみの配列となる。アトラス 284p 参照。    9) × ? : セミノーマでは合胞体性巨細胞がみられることはあるが、必ずあるわけではないようです。    10) ○ : 2003 卒試病理 12 と同じ。    11) ○ : アトラス 235p 参照。    12) × : 子宮内膜癌 (子宮体がん) の前癌病変は、異型子宮内膜増殖症。    13) ○    14) ○    15) × : 漿液性嚢胞腺腫は単房性が多く、粘液性のものは多房性が多い。    16) × ? : 三胚葉の成分を含む。    17) × : 血管は増生しない。アトラス 240p 参照。    18) ○    19) ○    20) × : 卵巣莢膜細胞腫は充実性腫瘍。

## 2003年度卒業試験（復元）

## &lt;泌尿器科&gt;

2. 次のうち正しいものを選び

1. 初期血尿－後部尿道～膀胱頸部の出血
2. 終末期血尿－前部尿道からの出血
3. 全血尿－膀胱頸部以外の膀胱と上部尿路の炎症
4. 無症候性血尿－尿路系腫瘍
5. 終末期排尿痛－急性膀胱炎

A (1, 2, 3) B (2, 3, 4) C (1, 3, 5) D (1, 4, 5,) E (3, 4, 5)

(解答) E

(解説) STEP 泌尿器科より (1) ×初期血尿は前部尿道からの出血 (2) ×終末期血尿は後部尿道～膀胱頸部の出血 (3) ○ (4) ○ (5) ○

3. 37歳 男性 最近、陰嚢が腫大してきた。疼痛なし。鑑別は？

- (1) 陰嚢水腫
- (2) 急性精巣上体炎
- (3) 精巣腫瘍
- (4) 流行性耳下腺炎
- (5) 精液瘤

A (1, 2, 3) B (2, 3, 5) C (1, 3, 5) D (1, 4, 5) E (3, 4, 5)

(解答) C

(解説) STEP 泌尿器科より

(1) ○ (2) ×陰嚢部頭痛が特徴 (3) ○精巣腫瘍の初期症状は無痛性陰嚢腫大 (4) ×流行性耳下腺炎（ムンプスウイルス感染症）では陰嚢部の腫脹・疼痛を特徴とする精巣炎を続発する。 (5) ○

4. 正しい組み合わせを選び

- 1 機能的尿失禁とは排尿反射に対する上位中枢からの抑制路が何らかの原因で遮断されて生じる尿失禁で、トイレまで我慢できずに尿が漏出してしまうものである。
- 2 腎後性無尿は骨髄内臓器腫瘍による浸潤や圧迫、後腹膜リンパ節転移による圧迫などが原因になっていることが多く、治療としてステントの留置や経皮的腎ろう造設術が行われる。
- 3 尿量が一日100ml以下の場合を無尿とよぶが、尿閉との鑑別には超音波検査が有効である。
- 4 排尿障害を起こす薬物として。三環系抗うつ薬や抗ヒスタミン薬がある。
- 5 腎の大きな結石でしばしば仙痛発作を来すことがある

1) 1 2 3    2) 2 3 4    3) 3 4 5    4) 1 2 4    5) 2 3 5

(解答) 3

(解説) 2002年度卒試7、STEP 泌尿器科より

(1) ×切迫尿失禁の誤り (2) ○ (3) ○ (4) ○ (5) ×小さい方が痛みが強い

5. 正しいものを三つ選び

- 1 尿流量検査で最大尿流量が低下していれば、膀胱の排泄機能は低下していると言ってよい
- 2 腎障害例に対し排泄性尿路造影検査を行なう場合、描出をよくするために造影剤の濃度を上げる
- 3 chain cystography (チェーン膀胱造影) は、腹圧性尿失禁の診断方法として重要
- 4 骨シンチで集積像が見られたら骨転移と診断してよい
- 5 膀胱癌の存在診断は膀胱鏡が最も優れている
- 6 正しかったが忘れた

(解答) 3, 5, 6

(解説) 2002年度卒試3

(1) ×年齢、性別、排尿量によっても変化する。 (2) × (3) ○ (4) ×骨の炎症性変化や、外傷、骨折、変形性関節性疾患等の骨新生が盛んな時期にも取り込まれる (5) ○ (6) ○

7. 正しい組み合わせはどれか。

- 1 骨盤腎・・尿管の延長    2 下大静脈後尿管・・左水腎症    3 完全重複腎盂尿管・・Weigert-Meyer法則  
 4 馬蹄鉄腎・・腎長軸延長線の下方交叉    5 海綿腎・・腎石灰症 (nephrocalcinosis)  
 A 123    B 234    C 124    D 245    E 345

(解答) E

(解説) 標準泌尿器科より

(1) ×骨盤腎とは、胎生期の腎の上昇が骨盤腔内で止まったもの。よって尿管延長ない。

(2) ×下大静脈後尿管とは、右尿管の一部が下大静脈の背側から前面へと迂回するもの。血管との交叉部で血流が障害されると水腎症になりうるだろうがもちろん右側である。

(3) ○重複腎盂尿管とは、腎盂が腎の上極・下極の2ヶ所にあってそれぞれの腎盂から尿管が走行するものであり、膀胱への開口がそれぞれ別個であるものを完全型という。上半腎の尿管口は下半腎のそれよりも遠位に位置することをWeigert-Meyer法則という。

(4) ○馬蹄鉄腎とは、左右の腎の下極のみが融合して馬蹄鉄のような形をとるものであり、腎長軸延長線は腎より尾側において交叉する。

(5) ○腎石灰症は、上皮小体機能亢進証、海綿腎、腎尿細管性アシドーシスによるものが多い。

9. 尿路結石について正しいものを選びなさい

- (1)感染結石として重要な成分はリン酸マグネシウムアンモニウムである  
 (2)尿の pH がアルカリ性では感染結石、酸性では尿酸結石とシスチン結石、高カルシウム尿症ではシュウ酸カルシウム結石がしやすい  
 (3)シスチン尿症は常染色体優性遺伝であり、シスチン結石はレントゲンで X 線陽性結石である  
 (4)アロプリノールは尿中への尿酸の排泄を促し尿路結石の成因となる  
 (5)尿路結石に対し最も多く行われているのは ESWL である  
 (1)123    (2)234    (3)124    (4)125    (5)235

(解答) 4

(解説) STEP 泌尿器科より

(1)○尿素分解菌は尿素を分解し、アンモニアと炭酸ガスを生じ炭酸アンモニウムを形成、さらにリン酸マグネシウムアンモニウムの沈殿を生じる為、結石の合併が多い。 (2)○ (3)×シスチン尿症は常染色体劣性遺伝でシスチン結石 X 線透過結石の一つ (4)×アロプリノールは尿酸合成阻害薬であり、痛風の治療に用いられる。尿酸排泄を促進するのは、プロベネシドである。 (5)○ESWL (体外衝撃波結石破碎術

10. 尿路感染症に関する記載のうち誤っているものの組み合わせを選べ

- 1) 尿道炎において鏡検で淋菌を証明できればクラミジア尿道炎の混合感染を考えなくてよい  
 2) 単純性膀胱炎における起炎菌はブドウ球菌が最も多い  
 3) 尿路感染症は多くの場合は腎からの順行感染で起こる  
 4) 急性腎盂腎炎を繰り返す患者に対して排尿時膀胱造影を行うべきである  
 5) 複雑性尿路感染症においては基礎疾患の治療が大切である

A (1 2 3)    B (2 3 4)    C (1 2 5)    D (1 4 5)    E (2 3 5)

(解答) A

(解説) STEP 泌尿器科より

(1) ×淋菌性尿道炎の 20～30%にクラミジアの混合感染を伴う (2) ×ブドウ球菌→E.coli (大腸菌)

(3) ×腎からの順行性感染→膀胱からの逆行性感染 (4) ○原因として VUR、尿流停滞、代謝性疾患などがあげられ、排尿時膀胱造影は VUR の鑑別に必要。 (5) ○尿路に基礎疾患があるために起こるのが複雑性尿路感染症。

1 2. 神経因性膀胱に関して正しい記述はどれか

- 1) 下位の排尿中枢はS2～S4である
  - 2) 脳血管障害による神経因性膀胱は無抑制収縮がみられ、頻尿、切迫性失禁などの症状を呈する
  - 3) 頸・胸椎損傷では排尿筋・外尿道括約筋協調不全が出現することが多く、高圧膀胱やVURを合併しやすい
  - 4) 骨盤内手術後に知覚障害と収縮機能障害を生じるがコンプライアンス低下は無い
  - 5) 間欠的自己導尿は膿尿が必発であり結石症の要因となる
- A) 1, 2, 3 B) 2, 3, 4 C) 1, 2, 4 D) 1, 2, 5 E) 2, 3, 5

(解答) A

(解説) STEP 泌尿器科より (1) ○下位の排尿中枢はT6～S4 (主にS2～S4) (2) ○反射性神経因性膀胱 (3) ○蓄尿と排尿が円滑におこなわれず、尿路感染症や肉柱などを形成する (4) ×骨盤内手術で下位の排尿中枢以下を損傷した場合は自律性神経因性膀胱という。反射弓が入出力ともに破壊されているのが特徴である。膀胱内圧曲線は膀胱の低コンプライアンスを呈する。 (5) ×間欠的自己導尿は幹線の危険性がないと考えられている。

1 3. 誤ったものの組み合わせを選べ。

- (1) 射精は交感神経の興奮によって起こる
- (2) TUR-P後の合併症として逆行性射精を比較的高頻度に認める
- (3) RPLND(後腹膜リンパ節郭清)では射精障害は起こらない
- (4) 精索静脈瘤は右側に多く、不妊の原因となる
- (5) 脊髄損傷患者でも正常な射精機能は保たれている。

A)123 B)125 C)145 D)234 E)345

(解答)

(解説) STEP 泌尿器科、2002年卒試5より (1) ○ (2) ? 射精障害は合併するが、高頻度かは不明 (3) ×RPLNDでは交感神経系を損傷して逆行性射精を起こしやすい (4) ×右側→左側 (5) ? T11～L2の交感神経中枢からでる下腹神経が射精に関与。脊髄損傷患者の80%は射精障害を伴う

1 4. 腎移植について正しい組み合わせを選べ。

- (1) わが国の腎移植の成績は種々の免疫抑制剤により1年生着率はおおよそ70%である。
- (2) 最近脳死体提供腎移植は増加している。
- (3) 免疫抑制剤による感染にはサイトメガロウイルスによるものがあり治療にはガンシクロビルを用いる。
- (4) 移植手術では腎動脈は外腸骨動脈に腎静脈は内腸骨静脈に吻合する。
- (5) 最近、配偶者による非血縁者間の移植が増えている。

A)1、2、3 B)2、3、4 C)2、3、5 D)1、4、5 E)3、4、5

(解答) C

(解説) 2002年卒試9、ワシントンマニュアル (1) ×90%前後である。 (2) ○ (3) ○ (4) ×腎動脈は内腸骨動脈、腎静脈は外腸骨静脈に吻合する (5) ○

1 5. 腎細胞癌について正しいものを選べ。

- (1) 近位尿細管由来であり、画像上 hypervascular な像を呈することが多い。
- (2) 血行性転移よりリンパ行性転移をきたしやすい。
- (3) 原因不明の発熱、貧血、高カルシウム血症などの徴候が見られることがある。
- (4) 根治的腎摘除術ではまず腎動静脈の結紮を行うが、副腎は副腎不全予防のため摘出してはならない。
- (5) 肺転移に対してインターフェロンやインターロイキン2等による免疫療法が有用である。

a)123 b)234 c)135 d)145 e)235

(解答) C

(解説) STEP 泌尿器科より (1)○ (2)×血行性転移が多い (3)○ (4)×根治的腎摘除術は周囲脂肪組織、Gerota 筋膜、副腎も含めて摘出する (5)○転移のあるものには免疫療法が20%ほどに有効

16. 正しいものを選び。

- 1 原発性腎盂尿管癌で自排尿細胞診の陽性率はとても高い。
  - 2 原発性膀胱癌は大部分が移行上皮癌である。
  - 3 膀胱癌の発生と芳香族アミン化合物との相関は疫学的にはない。
  - 4 上皮内癌はBCG膀胱内注入療法の適応である。
  - 5 尿路変向術には失禁型の尿管皮膚瘻や回腸導管自然排尿型のHaustmanやStuder法などがある。
- A)124 B)234 C)125 D)145 E)245

(解答) E

(解説) 2002年卒試12,STEP 泌尿器科より

(1)×自排尿では陽性率が低い。分腎尿細胞診や擦過細胞診を利用 (2)○大部分(80%以上)が移行上皮癌 (3)×芳香族アミンは膀胱腫瘍の発生要因と考えられている (4)○ (5)○

17. 精巣腫瘍について正しい組み合わせを選び

- (1) 有痛性陰嚢腫大を主訴とすることが多く、精巣上体炎、精巣炎との鑑別が重要である
  - (2) 精巣腫瘍のマーカーとしてβ-hCG LDH AFPがある
  - (3) 胚細胞性精巣腫瘍は組織学的にセミノーマと非セミノーマに大別され、進行した症例では前者は放射線療法、後者はシスプラチンを中心とした化学療法が有効である。
  - (4) 非セミノーマには胎児性癌、絨毛癌、卵黄のう腫瘍、奇形腫等があり、この中では奇形腫の予後が極めて不良である。
  - (5) 転移があったとしても患側精巣を高位結紮し切除する。
- A (1, 2, 3) B (1, 2, 5) C (2, 3, 4) D (2, 3, 5) E (3, 4, 5)

(解答) ?当てはまるものがない

(解説) 2002年卒試8,STEP 泌尿器科より (1)×無痛性の陰のう腫大である。 (2)○ (3)?確かにセミノーマは放射線感受性は高いが、進行した症例ではセミノーマ、非セミノーマに関わらず、化学療法が治療の中心となる。 (4)×絨毛癌と胎児性癌の予後が悪い。 (5)○精巣腫瘍は臨床病期に関わらず、全例高位除辜術を施行し、これによって組織型を決定する

18. 40歳女性。2年前から徐々に体重が増加し、満月様顔貌を認めるようになった。

6ヶ月前より無月経になり、同じ頃高血圧を指摘されて降圧薬を投与されている。  
血中コルチゾール 26.6μg/dl (正常 5-15)、DHEA (これだったか少し自信がない  
ですが) 221 (正常 130-160) この患者で見られる所見はどれか。

- 1 血中 ACTH 低下
  - 2 血中コルチゾールの日内変動の消失
  - 3 デキサメタゾン 8mg2日間投与により、尿中 17-OHCS 低下
  - 4 メチラポン (メトロピン) 試験で、尿中 17-OHCS 著増
  - 5 <sup>131</sup>I アドステロールシンチグラフィで一側に強い放射線集積を認める
- A 123 B 235 C 125 D 145 E 245

(解答) C

(解説) 2002年卒試16

中年女性、体重増加、満月様顔貌、無月経、高血圧、コルチゾール高値より Cushing 症候群の診断は問題ないだろう。ポイントは dehydroepiandrosterone(DHEA)の値。これは、テストステロンの前駆体であり、副腎アンドロゲンと呼ばれる男性ホルモンのことである。これが低値になるのは、副腎が勝手にコルチゾールをがんがん分泌して、ACTH 分泌が抑制されている副腎腺種しかない。副腎腫瘍なら癌も考えられるが、癌の場合自ら副腎アンドロゲンを産生するため著明に増加するので否定できる。(2)○Cushing 症候群ではコルチゾールの日内変動は消失する。(4)×デキサメタゾン 8mg 抑制試験、メトロピン試験が陽性であれば Cushing 病 (下垂体腺種) である。(5)○副腎腺種なので、患側のみに集積を認める。

19. 前立腺癌についての穴埋め問題（2002年問題19と類似問題です。）

- ・(1)で前立腺癌は石様の硬い硬結としてふれる。      ・前立腺の腫瘍マーカーは(2)である。
- ・前立腺癌では若年で限局性の場合、観血的治療として(3)が行われる。
- ・前立腺癌の治療法として、外科的去勢や内科的去勢、エストロゲン剤、抗アンドロゲン剤等の(4)が行われる。（文書長くて完全には覚えられませんでした、こんな感じです。）

【解答】(1)直腸診(2)PSA(3)前立腺全摘術(4)内分泌療法

<婦人科>

1. 女性生殖器の発生・解剖に関して正しいものをひとつ選べ。

- a. 卵巣動脈は総腸骨動脈より分枝し、下行し尿管の前を横切って卵巣堤索を通過して卵巣に達する。
- b. 卵胞は原始卵胞、一次卵胞、グラーフ卵胞、胞状卵胞の順に成熟する。
- c. 骨盤臓器を下方から支持しているのが尿生殖隔膜と骨盤隔膜である。
- d. 尿生殖ヒダは発育し大陰唇を形成する。
- e. ダグラス窩は膀胱子宮窩という腹膜腔のくぼみで立位で一番低い部位である。

【解答】c (ac:Compass 産婦人科、bd:NEW 産婦人科)

a) × 卵巣動脈は腹大動脈より分岐する。(cf. 子宮動脈は内腸骨動脈から分岐し、尿管の前を走行。) 卵巣堤索＝卵巣と骨盤を結ぶ支持組織 b) × 卵胞の発育は、原始卵胞→発育卵胞（一次→二次）→グラーフ卵胞 c) ○ 骨盤底（＝骨盤出口を閉鎖する組織）は3層で、骨盤隔膜（内層）・尿生殖隔膜（中層）・会陰筋（外層） d) × 外生殖器は7wまで男女の分化なし。尿生殖ヒダは小陰唇、陰唇陰囊隆起は大陰唇になる。 e) × Douglas 窩＝直腸子宮窩

2. 正しいものをひとつ選べ。

- a. GnRHの分泌は常に律動性に行われている。      b. インヒビンはLHの分泌を特異的に抑制する。
- c. アクチビンはLHの分泌を特異的に刺激する。      d. エストロゲンの一過性上昇で排卵が誘発される。
- e. プロゲステロンの分泌は初経の発来に必要なである。

【解答】a (a:NEW 産婦人科、bce:web で適当に、d:Compass 産婦人科)

- a) ○ GnRH の分泌は通常 60～120 分間隔でパルス状に行われている。
- b) × インヒビンは、FSH分泌を抑制する。      c) × アクチビンは、FSH分泌を刺激する。
- d) × 排卵誘発はLH サージ。エストロゲン（E2）のピークはLHサージの前。
- e) ? （プロゲステロンと初経は関係ないと書いてある解説は複数発見。）

3. 28歳の主婦。月経不順と3ヶ月間の無月経を訴えて婦人科を受診した。内診と超音波断層法にて子宮および付属器に異常はなく、基礎体温測定を指示された。一ヶ月後に受診したところ基礎体温は低温一相性であった。この症例について正しいものをひとつ選べ。

- a. 妊娠の可能性があるのでホルモン治療は行わない。
- b. 破綻出血の予防に低用量経口避妊薬を投与する。
- c. 早発閉経の予防にエストロゲン製剤を投与する。
- d. 機能性子宮出血の予防にプロゲステロン製剤を投与する。
- e. 無排卵周期症の治療に排卵誘発剤を投与する。

【解答】d (Compass 産婦人科)

低温一相性＝無排卵である。 a) × 妊娠4ヶ月までは高温相が持続する。

- b) ×? 低用量経口避妊薬投与では消退出血を起こさないため破綻出血を来す??
- c) ×? 早発閉経では、性器・付属器の萎縮があることが多い。
- d) ○ 機能性性器出血（＝低温一相）では、黄体ホルモン薬投与で消退出血を起こさせる。
- e) × 無排卵周期症は、月経（+）、排卵（-）



4. 子宮内膜症について正しいものをひとつ選べ。
- a. 子宮内膜炎や子宮内膜過形成を合併することが多い。
  - b. 過多月経を認め貧血を合併することが多い。
  - c. GnRHアナログ療法ではアドバック療法が有用である。
  - d. 保存的治療としてGnRHパルス療法が行われる。
  - e. エストロゲン依存性であるためアンドロゲン療法が有効である。

【解答】 c (Compass 産婦人科、c:web で。)

a) × 無関係。子宮内膜炎は分娩・流産・中絶後に雑菌が進入して起こる。子宮内膜過形成は子宮体癌の前癌病変。 b) × 過多月経を認めるのは子宮腺筋症。子宮内膜症では、月経困難(月経痛)、性交痛、不妊。 c) ○ アドバック療法=エストロゲンが低下しすぎたときにエストロゲン製剤を投与し、副作用を押さえる。 d) × GnRHアナログ(誘導体)療法を行う。 e) ×? ダナゾール(抗ゴナドトロピン)療法は行う。

5. 次の性分化異常を示す疾患のうち、染色体異常によるものをひとつ選べ。

- a. 双頸双角子宮
- b. ロキタンスキー・キュスター・ハウザー症候群
- c. 副腎性器症候群
- d. ターナー症候群
- e. 精巢性女性化症

【解答】 d (Compass 産婦人科)

a) × 子宮奇形は左右 Muller 管の癒合障害で、形態異常は子宮・膣のみ。(尿路奇形は合併しやすい。) b) × =痕跡的子宮を伴う膣欠損症。(⇔機能性子宮を認める膣欠損症) c) × コルチゾール生成酵素の欠損で、21-hydroxylase 欠損が最多。常・劣遺伝。染色体異常(-) d) ○ ターナー=45,XO。胎生期の性腺分化停止→卵胞(-)→estrogen(-)→二次性徴(-) e) × 伴・劣遺伝。男性半陰陽(ホントは男、表現型は女)。男性ホルモンレセプター欠損。

6. 次の症例について設問に答えよ。

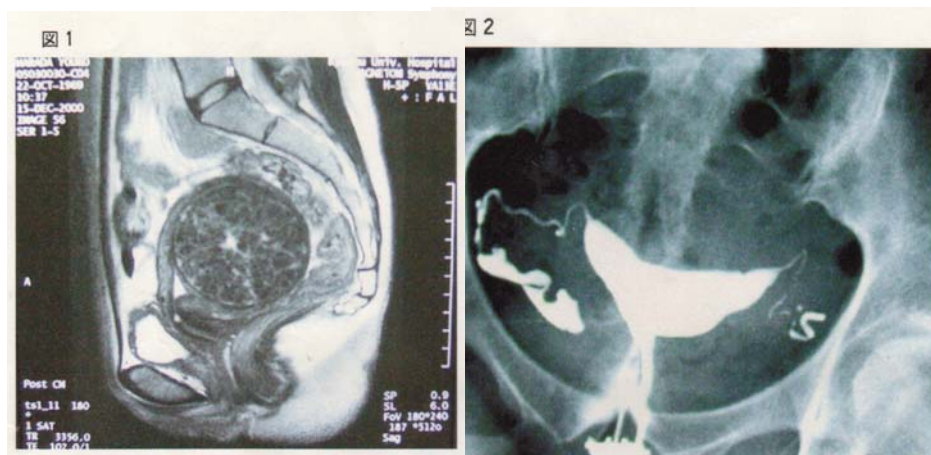
〔症例〕結婚後5年になる29歳の女性が、挙児を希望して来院した。避妊したことはなく、一度も妊娠したことはない。結婚後より次第に月経時の血液量が増加し、最近下腹部の膨満感があるという。

- 1) 行うべき検査として必須でないものをひとつ選べ。

- a. 超音波断層法
- b. 夫の精液検査
- c. 性交後試験
- d. 基礎体温の記録
- e. コルポスコピー

2) 内診で骨盤内に新生児頭大の腫瘤を認めた。骨盤MRI検査(T2強調画像)および子宮卵管造影を図1、図2に示す。この患者の診断としてもっとも考えられるものをひとつ選べ。

- a. 子宮体癌
- b. 子宮頸癌
- c. 子宮筋腫
- d. 中隔子宮
- e. 子宮内膜ポリープ



- 3) この患者に手術を行う場合、選択すべき術式をひとつ選べ。

- a. 単純子宮全摘手術
- b. 広汎子宮全摘手術
- c. 子宮筋腫核手術
- d. 子宮内膜ポリープ切除術
- e. 子宮中隔切除術

1) 解答 e

解説 コルポスコピーは子宮頸部癌の診断に有用

2) 解答 c

解説 T2強調で辺縁明瞭な低信号の筋腫結節、大きな筋腫では腫瘍内に不均一な高信号域が混在している。

3) 解答 c

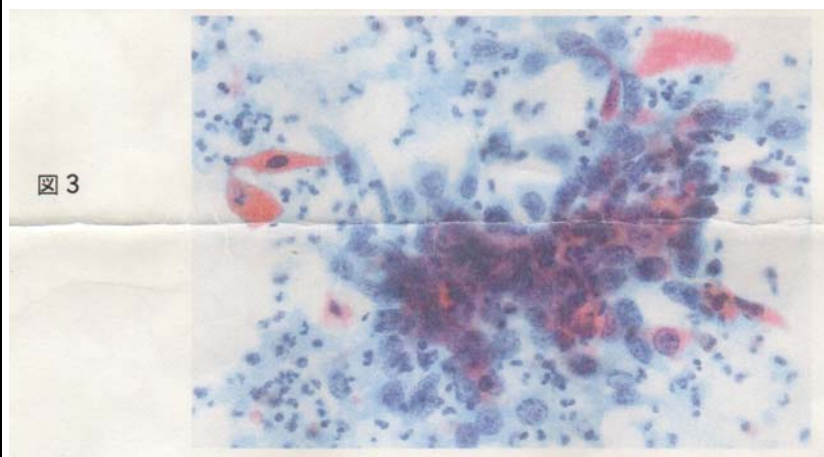
7. 次のうち、正しくないものをひとつ選べ。

- a.子宮脱は腹圧性尿失禁や排尿障害を伴うことが多い    b.全子宮脱とは子宮全体が膣外に出た状態をさす  
c.膣欠損症では卵巣の欠損を伴う。    d.処女膜閉鎖症では膣留血症を伴う。  
e.ミューラー管由来臓器の奇形は尿路奇形を伴うことが多い。

解答 c    解説 膣欠損症では多くの場合卵巣卵管は存在している。

8. 次の文を読み、問いに答えよ。45歳女性。接触出血を訴えて受診した。

1) 図3は子宮腔部より採取した擦過細胞診像である。次のうち、正しくないものをひとつ選べ。



- a.核クロマチンの増量がみられる。    b.核の大小不同がみられる。  
c.角化傾向がみられる。    d.腺腔形成がみられる。    e.炎症細胞浸潤がみられる。

2) この症例のコルポスコピー像として予想される特徴的な所見をひとつ選べ。

- a.異常隆起    b.コンジローマ    c.白色上皮    d.赤点斑    e.モザイク

1) 解答 d

解説 子宮頸癌の角化型扁平上皮癌の細胞診所見は腫瘍性背景の中に角化型の悪性細胞が多数見られ、強いオレンジG好性を示す。ヘビ状、オタマジャクシ状、紡錘形、線維状、などの奇怪な細胞が出現するのが特徴的である。組織学的に角化型と診断するのに有用な角化真珠は、細胞診標本上には出現しないことも多い。

2) 解答 c

解説 Class V?

9. 次のうち、正しくないものをひとつ選べ。

- a.肉眼的にすべての絨毛が嚢胞化していても、胎芽を伴う場合は部分奇胎と診断する。  
b.細胞遺伝学的に全胎状奇胎の染色体はすべて母親由来である。  
c.胎状奇胎娩出後の管理中に尿中または血中のhCGが判別線以下を推移する場合を経過順調型という。  
d.胎状奇胎妊娠の1～2%に絨毛癌を続発する。  
e.組織学的に証明されていなくとも基準を満たせば臨床的絨毛癌として取り扱ってもよい。

解答 b    解説 すべて父親由来である。

10. 症例は53歳、G4P3、閉経50歳の既婚婦人で、一年前に子宮の腫大を指摘されていた。経過観察されていたが最近、急速に腫瘤が増大し、内膜組織診で上皮性および非上皮性の悪性細胞が認められた。この疾患の診断名をひとつ選べ。

- a.子宮内膜癌    b.子宮内膜増殖症    c.子宮内膜間質肉腫    d.子宮平滑筋肉腫    e.子宮癌肉腫

解答 e

解説 癌肉腫ではミューラー管由来と考えられる悪性の混合腫瘍で上皮性、非上皮性成分双方の主要成分が混在。

1 1. 婦人科検査法について誤っているものをひとつ選べ。

- a. コルポスコピー診で酢酸加工後、異型血管が現れ子宮頸部異形成と診断した。
- b. 頸部スメアがパパニコロウ(papanicolaou)分類 IIIa のため上皮内癌を疑った。
- c. 子宮腔部の狙い組織診で微小浸潤癌と診断されたため、円錐切除術を行った。
- d. 粘膜下子宮筋腫が疑われ、子宮鏡(ヒステロスコピー)を行った。
- e. 卵巣癌が疑われたため、腫瘍マーカーCA125 と CA19-9 を測定した。

解答 a ?

解説 異型血管は浸潤癌の所見。診断は狙い組織診で。

1 2. 婦人科検査法について誤っているものをひとつ選べ。

- a. 多嚢胞性卵巣症候群(PCO)の診断に経膈超音波検査を行う。
- b. 卵胞の観察に経膈超音波検査を行う。
- c. 子宮内腔を評価するため黄体期に子宮卵管造影検査を行う。
- d. 原発性無月経の患者に染色体検査を行う。
- e. 腹腔鏡で子宮内膜症の確定診断を行う。

解答 c

1 3. 外陰・膣疾患について誤っているものをひとつ選べ。

- a. 外陰 Paget 病は外陰の表在性腺癌である。
- b. 外陰癌は高齢者に多い。
- c. 膣癌の組織型としては扁平上皮癌が多い。
- d. バルトリン腺嚢胞の治療に開窓術や造袋術が行われる。
- e. ベーチェット病の外陰潰瘍からヒトパピローマウイルスが検出される。

解答 e

解説 ヒトパピローマウイルスが関連するのは尖圭コンジローマ

1 4. 婦人科炎症性疾患について誤っているものをひとつ選べ。

- a. トリコモナス膣炎では膿性の泡沫状黄色帯下を認める。
- b. カンジダの治療には抗真菌剤を用いる。
- c. 閉経後はエストロゲンの低下により老人性膣炎が生じやすくなる。
- d. 単純ヘルペスウイルスは無痛性の外陰潰瘍を形成する。
- e. 骨盤内炎症性疾患 (PID) の起炎菌としてはクラミジアが多い。

(解答) d

(解説) HSV は顕性感染の場合激的な症状を伴うことがある。激しい疼痛のために排尿困難や歩行障害を伴う。その他はすべて正しい。

1 5. 婦人科良性腫瘍について誤っているものをひとつ選べ。

- a. 筋腫分娩の患者に貧血を認めた。
- b. 子宮腺筋症が妊娠中に増悪した。
- c. 成熟嚢胞性奇形腫 (類皮嚢胞腫) が茎捻転を起こした。
- d. 卵巣に充実性腫瘍をみとめ線維腫と診断した。
- e. 機能性卵巣腫瘍の診断にピルを投与した。

(解答) b

(解説) 妊娠中の子宮内膜は、プロゲステロンの作用により間質細胞は脱落膜細胞に変化し、上皮が萎縮する。子宮腺筋症があった場合にも同様のメカニズムにより内膜類似組織に萎縮がみられる。自然妊娠・分娩自体にも治療効果が期待できるが、薬剤により同様の効果を期待するものが偽妊娠療法である。

16. 次の症例を読んで設問に答えよ。

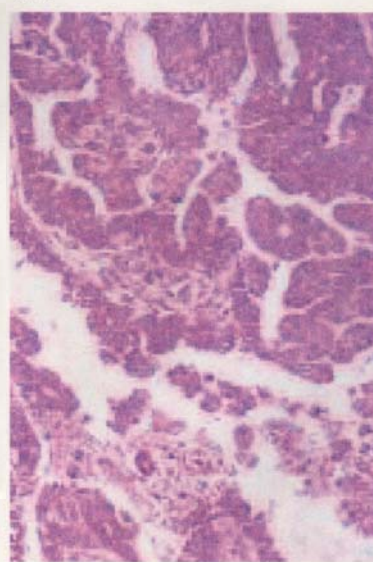
[症例] 45 才の既婚女性。人間ドックで骨盤内腫瘍を疑われて来院した。内診で右付属器部に手拳大の腫瘍を触知した。子宮は前傾前屈、鶏卵大で、左付属器部は触知しなかった。腹部超音波検査にて右付属器部に単房性の嚢胞性腫瘍を認め、一部に充実部を認めた (別紙図 4)。

血 中 CA-125 は 550U/ml (正常 35 以下)、CEAは 0.5ng/ml (正常 2.5 以下)であった。開腹術を行い術中迅速病理組織細胞診に提出した右卵巣の組織を示す(別紙図5)。卵巣腫瘍の被膜は破綻しておらず、腹水細胞診も陰性であった。この症例について誤っているものを一つ選べ。

図 4



図 5



a.術前に CT を撮影した。

b.病巣はなかったが大網も切除した。

c.骨盤リンパ節郭清を行った。 d.手術進行期分類は IIc 期であった。

e.術後にタキサン製剤およびプラチナ製剤による多剤併用化学療法を行った。

2) この腫瘍をひとつ選べ。

a.漿液性嚢胞腺癌 b.粘液性嚢胞腺癌 c.類内膜腺癌 d.明細胞腺癌(類中腎癌) e.卵黄嚢腫

1) (解答) d

- a. o腫瘍の広がりを見る。 b. o初期癌に対しては子宮全摘、両側付属器切除、大網切除が基本。  
c. o初期卵巣癌に対する郭清はサンプリング(2~3個選び、迅速で転移陽性例に治療的郭清)を行う。  
d. x一側の卵巣に限局し、癌性腹水がなく、被膜破綻がないので Ia 期。  
e. o初期癌に対して adjuvant 型化学療法を行う。

2) (解答) a (or c?)

単房性の嚢胞は漿液性、多房性は粘液性のことが多い。CA-125 高値を示すのは漿液性嚢胞腺癌や子宮内膜症、子宮筋腫など。粘液性嚢胞腺癌ではCA19-9やCEAの高値を示す。病理学的には漿液性嚢胞腺癌ではスリット状の空隙が、粘液性嚢胞腺癌では杯細胞が見られる。類内膜腺癌・明細胞癌はエコーでは嚢胞内に乳頭状に突出した充実性部分を認める。明細胞癌の組織像は胞体の明るい腫瘍細胞が腺管を形成しつつ増生する。卵黄嚢腫は若年者(30歳以下)に好発し、AFP高値を示す。

<病理学>

次の文章のうち正しいものには○、間違っているものには×をつけよ。

- 1) 乳房パジェット病(Paget's disease)は、臨床的には乳頭の湿疹様病変を示し、組織学的には乳頭に特発する悪性リンパ腫の一型である。
- 2) 乳腺症は、乳腺の非炎症性、非腫瘍性の増殖性病変で、大小不同の結節として触れ、両側乳房に発生することが多い。
- 3) 浸潤性乳管癌の中でも硬癌は、乳管内に限局腫瘤を形成しないため、発見が困難で予後不良である。
- 4) 腎細胞癌は、肉眼的な色調は黄白色であるが、これは脂肪を多く含んだ粘液性の間質が、腫瘍細胞を取り囲むように発育するためである。
- 5) 糖尿病性腎症の病理学的診断においては、特殊染色を用いて、メサングウムや糸球体基底膜に沈着したアミロイドを確認することが重要である。
- 6) 副腎皮質腺腫はアルドステロン、コルチゾールなどの副腎皮質ホルモンを過剰分泌することが多い。
- 7) 腎芽腫は、別名、グラビッツ腫瘍(Grawitz tumor)ともいう。
- 8) 腎盂、尿管、膀胱の腫瘍のなかでは、移行上皮由来の乳頭状増殖を示すものが最も多い。
- 9) 前立腺肥大症は、病理組織学的には外腺(周辺帯)の過形成であり、外腺の構成成分、すなわち腺



性成分が著名に増生している。

- 1 0) 前立腺癌の組織分類として、グリソン (Gleason) 分類もしくは WHO 分類がよく用いられる。
- 1 1) 精巣のセミノーマ (seminoma) の病理組織像は、胚細胞に似た大型の円形ないし多角形の境界明瞭な細胞質を有する腫瘍細胞が、胞巣を形成して増殖している。
- 1 2) 尖圭コンジローマは、扁平上皮乳頭腫でありその発生に human papilloma virus (HPV) が関連しているが、陰茎のみならず子宮頸部にも発生する。
- 1 3) 子宮筋腫は、発生頻度の高い子宮の良性上皮性腫瘍であり、病理組織学的には相交錯する筋繊維芽細胞で構成される。
- 1 4) 子宮体癌は、子宮内膜から発生する腺癌が多く、閉経後の 55-60 歳が発生のピークである。
- 1 5) 子宮頸部異形成は、子宮頸部がポリープ様に隆起する形態異常であり、先天性疾患である。
- 1 6) 子宮頸癌は、子宮頸部扁平上皮から発生する扁平上皮癌が多いが、頸部腺から発生する腺癌も見られる。
- 1 7) 卵巣漿液性嚢胞腺腫は、卵巣移行上皮由来であり、腺癌と異なり腺上皮は二層性を保っている。
- 1 8) 卵巣奇形腫は、胚細胞性腫瘍で組織発生学的に外・中・内の三胚葉由来の組織が種々混在し、症例によっては脳組織も見られることがある。
- 1 9) 絨毛癌は、病理組織学的に絨毛構造を呈することが、侵入(破壊)胎状奇胎との鑑別点である。
- 2 0) クルーケンベルグ腫瘍(krukenberg tumor)は、その多くは腹腔内原発腫瘍が転移したもので、特殊染色において粘液反応高度陽性である。

【解答】(わかりやすい病理学)

- 1) × 乳房 Paget 病=乳癌のうち、乳頭近くの乳管に起こり、表皮に進展する癌。びらん性湿疹様紅斑を呈し、組織学的には明るい細胞質をもつ Paget 細胞が表皮内に散在 or 集簇性にみられる。(cf. 乳癌=乳管上皮から発生する(=乳管癌)。表皮に進展→Paget 病、小葉へ浸潤→小葉癌。)
- 2) ○ 乳腺症は 30~40 台に多い。圧痛・腫脹を認め、良性の増殖・化生・退行性変化が混在。
- 3) × 硬癌は浸潤癌のひとつなので乳管内に限局しない。予後不良は○。(浸潤性乳管癌の予後は、(良)乳頭腺管癌→充実腺管癌→硬癌(悪))
- 4) × 腎細胞癌の断面はやや黄白色調。これは、腫瘍細胞がグリコーゲンや脂肪に富んでいるため(明細胞癌)。間質は毛細血管のみで、結合組織がみられない。
- 5) × 糖尿病性腎症の特徴的変化は、糸球体メサンギウム基質の結節状肥厚。(cf. アミロイド沈着はコンゴ赤染色)
- 6) ○ 原発性アルドステロン症・クッシング症候群、副腎性器症候群等を呈す。副腎癌でも同様。
- 7) × 腎芽腫=Wilms 腫瘍、腎細胞癌=Grawitz 腫瘍
- 8) ○ 下部尿路(腎盂・尿管・膀胱・尿道)の上皮性腫瘍の 90%以上が移行上皮癌で、乳頭状の増殖を示す。膀胱側壁、三角部に好発。尿管では下部 1/3 が多い。
- 9) × 前立腺肥大症は、尿道周囲の内腺領域に生じる結節性過形成。そのため尿道狭窄をきたす。逆に、前立腺癌は外腺に好発するため尿道圧排はきたしにくい。
- 1 0) ○? 前立腺癌の組織分類には Gleason 分類がよく用いられる。WHO 分類は不明。
- 1 1) ○    1 2) ○    1 3) × 病理組織学的には束状に増殖し、渦状を示す。
- 1 4) ○ 子宮体癌の 85~90%が腺癌。
- 1 5) × 1975 年 WHO は上皮の一部がさまざまな程度の異型細胞によって置換された病変と定義している。
- 1 6) ○    1 7) × 一層性の低い円柱上皮に覆われ、線毛が見られることもある。
- 1 8) ○    1 9) × 絨毛癌は通常の妊娠、胎状奇胎に認められる絨毛構造を認め得ない。
- 2 0) ○

## 2005年度概説試験（復元）

平成18年2月22日実施

試験時間 120 分。問題用紙は「泌尿器科」「産婦人科」「病理」それぞれの科ごとの冊子。解答用紙もそれぞれ一枚ずつ。不合格は 14 人。泌尿器はほぼ過去問と同じ。ただ産婦人科の分が過去問とはちょこちょこ変わってて解きにくかった。病理はその中間といったところ。

<泌尿器科>

【1】正しいものを選び。

1. 機能性尿失禁とは排尿反射に対する上位中枢からの抑制路が何らかの原因で遮断され生じる失禁で、トイレまで我慢できず尿が漏出してしまうものである。
2. 血尿は初期血尿、終末時血尿、全血尿に大別されるが、膀胱腫瘍では排尿痛を伴う終末時血尿が特徴的である。
3. 腎後性無尿は骨盤内臓器腫瘍による浸潤や圧迫、後腹膜リンパ節転移による圧迫などが、原因となっていることが多く、治療としては経尿道的尿管ステントの留置や経皮的腎ろう造設術が行われる。
4. 尿量が1日 100ml 以下を無尿と呼ぶが、尿閉との鑑別には膀胱部の超音波検査が有用である。
5. 腎の大きな結石では、しばしばせん痛発作を来すことがある。

a.12 b.13 c.14 d.23 e.24 f.25 g.34 f.35

(答え) g ステップ泌尿器科、ベッドサイド泌尿器科学等参照

1. ×? 運動性切迫尿失禁?(ステップ P 270)
2. × 無症候性の全血尿が特徴的(ステップ P 23)
- 3, 4. ○ (ステップ P 22)
5. × せん痛発作は、結石が尿管に下降し腎盂内圧が急激に上昇したときに起こる。大きな結石はほとんど移動しないので、急激に尿流を障害するようなことはなく、疼痛は軽度かまったくないことが多い。

【2】排尿障害があることを証明する検査を2つ選べ。

- (1) 検尿・細菌培養
- (2) 残尿測定
- (3) 膀胱内圧測定
- (4) 膀胱造影
- (5) 腎盂造影
- (6) 括約筋筋電図
- (7) 排尿記録(あるいは Cup & stopwatch 法)

a.12 b.13 c.15 d.24 e.26 f.27 g.34 h.37 i.45 j.67

(答え) f H16 2/2 泌尿・生殖 排尿障害講義プリント参照

【3】1) 喫煙は膀胱癌のリスクファクターである。

- 2) 尿路上皮(移行上皮)癌は、肉眼的に潰瘍を形成するものが多い。
- 3) 膀胱尿路上皮癌乳頭状型の上皮成分は、通常の尿路上皮より高層化(七層以上)したことが多い。
- 4) 膀胱に発生する肉腫では、横紋筋肉腫が多くこれは小児に好発する。

a134 b12 c23 d4 e1234

(答え) a ステップ泌尿器科 P 135 等参照

1. ○
2. 表在性、乳頭状の形態をとることが多い
3. ○
4. ○

【4】左右の腎機能を区別して検査できるのはどれか。

- (1) 静脈性腎盂造影
- (2) レノグラム
- (3) PSP 排泄試験
- (4) 尿濃縮試験
- (5) インジゴカルミン排泄試験

a,123 b,125 c,145 d,234 e,345

(答え) b (2004 概説の 4 番と同じ) ステップ泌尿器科 P 37 参照

【5】以下の記述のうち正しいものの組み合わせを選べ(血尿：肉眼的血尿)。

- (1) 初期血尿・・・後部尿道～膀胱頸部からの出血
- (2) 終末時血尿・・・前部尿道からの出血
- (3) 全血尿・・・頸部以外の膀胱～上部尿路(腎・尿管)からの出血
- (4) 無症候性血尿・・・尿路悪性腫瘍
- (5) 終末時排尿痛・・・急性膀胱炎

a. 123 b. 234 c. 135 d. 145 e. 345

(答え) e (2003 年概説の 5 番と同じ) ステップ泌尿器科 P 19、23、24 参照

1. × 前部尿道からの出血 2. × 後部尿道～膀胱頸部からの出血 3, 4, 5. すべて○

【6】高熱を来すのはどれか。

- (1) 急性尿道炎 (2) 急性精巣上体(副睾丸)炎  
(3) 急性腎盂腎炎 (4) 急性前立腺炎 (5) 急性膀胱炎

a. 1 2 3 b. 1 2 5 c. 1 4 5 d. 2 3 4 e. 3 4 5

(答え) d (2003 年概説の 6 番と同じ) ステップ泌尿器科 P 18、19 参照

“尿道炎、膀胱炎では発熱をみることはない”と理解するとよい。

泌尿器科領域で、発熱を来す臨床頻度が高く大切なのは次の 4 つ

- ①急性腎盂腎炎…悪寒戦慄を伴う間欠熱。 ②急性前立腺炎…稽留熱 ③急性精巣上体炎…稽留熱  
④カテーテル熱…尿道カテーテル、膀胱鏡検査後に急激に発熱することがある。

【7】・3 ヶ月の男児 ・胎児超音波検査で左側の水腎症 行うべき適切な画像診断法 (A 群)

と、最も考えられる疾患 (B 群) の組み合わせとして正しいものはどれか。

A 群 選択肢は U S (超音波検査)、I V P (経静脈性腎盂造影)、R P (逆行性腎盂造影)、D R (デジタルラジオグラフィ)、C T の 5 つの中から 2 つを選んだ 10 通りの組み合わせ

B 群 a. 腎盂尿管移行狭窄 b. 尿管膀胱移行部狭窄 c. 尿管異所開口 d. 尿管瘤

e. 巨大尿管症 f. 膀胱尿管逆流症 g. 嚢胞腎 h. 後部尿道弁

(答え) A 群 U S、I V P ? ベッドサイド泌尿器科学参照

U S ; 水腎症の診断と経過観察にもっとも広く用いられており、とくに胎児と小児に有用である。

R P ; 感染の危険と侵襲性のため、今日ではあまり用いられない。

B 群 ?

【8】前立腺肥大症の重症度を判定するのに必要な項目を 3 つ選べ。

1. 国際前立腺スコア (I-PSS) と QOL 2. 前立腺特異抗原 (PSA)  
3. 最大尿流率、残尿量 4. 直腸診 5. 前立腺容積 (体積)

a,123 b,235 c,125 d,135 e,245

(答え) d H16 泌尿・生殖講義「前立腺肥大症」プリント参照

前立腺肥大症の治療においては、以下の 4 領域における領域別重症度を判定した上で、その重症度数から全般重症度を判定する。

☆自覚症状…国際前立腺症状スコア (I P S S) ☆Q O L … I P S S に附随する Q O L index

☆形態…経直腸超音波による推定前立腺容積 ☆排尿機能…最大尿流量と残尿量

【9】尿路感染症について正しいものはどれか。3 つ選べ。

- (1) 急性単純性尿路感染症の原因菌としてブドウ球菌が多くを占める。  
(2) 性交は再発性膀胱炎の危険因子である。 (3) 急性単純性腎盂腎炎では発熱を伴うことが多い。  
(4) 留置カテーテルは単純性尿路感染症の原因となる。  
(5) 感受性検査法には、M I C 値が用いられる。

a. 1 2 3 b. 1 2 4 c. 1 4 5 d. 2 3 4 e. 2 3 5 f. すべて

(解答) e (2003 概説泌尿器 9 と同じ)

ステップ泌尿器科、H16 1/20 泌尿・生殖「尿路性器感染症」講義プリント参照

(1) × E.coli が多い。(ステップ P 91) (2) ○ ? 性的活動期の女性に多く見られる(ステップ P 98)

(3) ○ 症状: 発熱、腎部痛、腰痛 (ちなみに急性単純性膀胱炎の 3 主徴は頻尿、排尿痛、尿混濁) (ステップ P 95) (4) × 留置カテーテルは複雑性尿路感染症の原因となる重要な基礎疾患である。

(5) ○ 最小発育阻止濃度測定法。他にディスク拡散法がある。

【10】正しいものの組み合わせを選べ。

1. 我が国の淋菌感染者1995年以降減少している。
2. 淋病にはニューキノロン系が効く。
3. 非淋菌性尿道炎はクラミジア・トラコマティスが多い。
4. 女性にクラミジア感染症は少ない。
5. 尖圭コンジローマは Human papilloma virus の感染による。

(答え) 2、3、5 ステップP105～、ベッドサイド泌尿器科学参照

1. × いったん減少したが、最近再増加の傾向が見られている。
2. ○ ペニシリン系、テトラサイクリン系、ニューキノロン系などの抗生物質の投与を行う。
3. ○ 非淋菌尿道炎の約60%を占める
4. ×
5. ○

【11】次のうち正しくない組み合わせを選べ。

- (1)腎外傷において血尿は必発であり、血尿を認めない場合腎外傷は否定できる。
- (2)非開放性腎外傷の多くは腎挫傷であり、保存的治療が可能である。
- (3)後部尿道の損傷は骨盤骨折に伴うことが多い。
- (4)腎梗塞は、直ちに手術的に治療する必要がある。
- (5)精索捻転症は発症後48時間以内であれば、患側精巣機能の廃絶の可能性は低い。

a:1,2,3 b:2,3,4 c:1,2,4 d:2,3,5 e:1,4,

(答え) e

ステップ泌尿器科、H162/18 泌尿・生殖講義 尿路性器外傷と泌尿器科的救急処置のプリント参照

- (1)× 肉眼的血尿は約90%の症例で認められるが、腎損傷の程度と血尿の頻度は必ずしも一致しない (ステップ泌尿器科P275～)
- (2)○ 外傷中で頻度最多。全症例の85%は腎挫傷程度であり、合併症の発生が少なく保存的に治療する (ステップ泌尿器科P275～)
- (3)○ 後部尿道外傷(膜様部・前立腺)は骨盤骨折に伴い損傷を受けやすい。出血もしやすい。感染を合併すると敗血症になりやすい。(ステップP285)
- (4)× 腎梗塞とは、血栓などによる腎動脈の閉塞で起こり、その動脈の支配領域の壊死→腎萎縮→腎線維化という経過をとる。エコーにより尿路結石との鑑別を行い、発症5日以内に血栓溶解治療をする。効かない場合は腎部分切除、腎摘出術を行う。早期発見・早期治療開始が大切で、原因疾患の治療も行う。(ステップP189～)
- (5)× 精索捻転症は、清掃動静脈が長軸方向に捻転することにより、清掃の血行障害を来し、精巣の出血性梗塞に至る疾患。6時間以内の治療が重要で、12時間を経過すると精巣機能は廃絶する可能性が大きい。(ステップ泌尿器科p.292)

【12】尿路結石について正しい答えの組み合わせはどれか？

- (1)感染結石として重要な成分はリン酸マグネシウムアンモニウムである。
- (2)アルカリ性尿は感染結石、酸性尿は尿酸、シスチン結石、高カルシウム尿はシュウ酸カルシウム結石ができやすい。
- (3)シスチン尿症は常染色体優性遺伝であり、その結石はレントゲン陽性結石である。
- (4)アロプリノールは尿中へ尿酸の排泄を促し、尿酸結石の成因となる。
- (5)尿路結石に対し最も多く行われている手術はESWLである。

a. 1 2 3      b. 2 3 4      c. 1 2 5      d. 1 4 5      e. 2 3 5

(答え)c (2003概説の13番と同じ) ステップP229～参照

1. ○ 細菌の代謝によりリン酸マグネシウムアンモニウムの沈殿を生じる。
2. ○
3. × 常染色体劣性遺伝で、シスチン結石はXp 描出困難。
4. × アロプリノールは尿酸合成阻害薬であり、尿酸結石の治療薬。
5. ○ ESWL (体外衝撃波結石破碎術)



## 【13】腎細胞癌について正しいのはどれか。

- (1) 近位尿管由来であり、画像上 hypervascular な像を呈することが多い。
- (2) 血行性転移よりもリンパ行性転移をきたしやすい。
- (3) 原因不明の発熱、高カルシウム血症などの徴候が見られることがある。
- (4) 根治的腎摘除術ではまず腎動静脈の結紮を行うが、副腎は副腎不全予防のため摘出してはならない。
- (5) 肺転移に対し、インターフェロンやインターロイキン2等の免疫療法が行われる。

a.123      b.234      c.135      d.145      e.235

(答え) c (2003概説の14番と同じ) ステップ泌尿器科P123～ H16 2/5 泌尿・生殖講義「腎腫瘍」プリント参照 1. ○ 2. × 血行性転移が多い。(3)○ (4)× 腎、腎周囲脂肪組織、副腎を包む gerota 筋膜ごと一塊として摘出。(5)○ 免疫療法が20%ほどに有効。

## 【14】性機能障害とその治療について正しい組み合わせを選べ。(みたいな問題文でした)

- 1. シルデナフィルは、ホスホジエステラーゼ阻害薬 TypeIIIである。
- 2. 糖尿病患者の ED はすべて(ほとんどって書いてあったかも) 心因性である。
- 3. ED は加齢により増加傾向にあるが、米より日本の方が患者数が多い。
- 4. シルデナフィルは、性的興奮により初めて勃起効果を発揮する。
- 5. 日本での勃起治療は、プロスタグランジン E1 (3と書いてあった気も) の陰茎への直接注射が最も多い。
- 6. シルデナフィルは、硝酸薬やシメチジンやエリスロマイシンとの同時服用は避けるべきである。

a.12 b.13 c.14 d.16 e.23 f.24 g.26 h.35 i.36 j.46(組み合わせは少し間違っているかも)

(答え) j (2003概説の15番と同じ) ベッドサイド泌尿器科学等参照

- (1)× PDE5の阻害剤である。(2)× 多くは器質性。ただしEDの多くは両者が絡み合っている。(3)× ?
- (4)○ (5)× 禁忌症例でなければ、シルデナフィルが第一選択となることが多い。(6)○

## 【15】正しい文章の組み合わせを選べ。

- (1) 原発性腎盂尿管癌において自排尿の尿細胞診の陽性率は非常に高い。
- (2) 原発性膀胱癌の組織型としては大部分が移行上皮癌である。
- (3) 膀胱癌の発生と芳香族アミン化合物(ベンチジン、2-ナフチラミンなど)の相関は、疫学的には認められない。
- (4) 上皮内癌(carcinoma in situ)はBCG膀胱内注入療法の適応である。
- (5) 尿路変向術には失禁型の尿管皮膚瘻や回腸導管、自然排尿型の Hautman や Studer 法などがある。

a. 124      b. 234      c. 125      d. 145      e. 245

(答え) e (2003概説の16番と同じ) ステップ泌尿器科P135～、H16 2/6 泌尿・生殖講義 尿路・性器腫瘍のプリント参照 (1)× 自排尿では陽性率が低い。分腎尿細胞診や擦過細胞診を利用する。(2)○ 90%。(3)× 職業性膀胱癌の原因となる。(4)○ (5)○

## 【16】精巣腫瘍について、正しい組み合わせはどれか。

- (1) 有痛性陰嚢腫大を主訴とすることが多く、精巣上体炎、精巣捻転との鑑別が重要であり、経皮的超音波ガイド下の針生検が有用である。
- (2) 精巣腫瘍の腫瘍マーカーとしてAFP、HCG-β、LDHが有用である。
- (3) 転移巣があっても高位除睾術を行い、患側精巣を摘出し病理診断を行う。
- (4) 胚細胞性精巣腫瘍は組織学的にセミノーマと非セミノーマに大別され、前者は放射線療法(+化学療法)、後者はシスプラチンを中心とした化学療法が有効である。
- (5) 非セミノーマには胎児性癌、絨毛癌、卵黄嚢腫瘍、奇形腫などがあり、このなかでは奇形腫の予後が極めて不良である。

a. 123      b. 234      c. 124      d. 235      e. 245

(答え)b (2003概説の17番と同じ) ステップ泌尿器科P172~参照

(1)× 無痛性の陰嚢腫大が特徴。針生検も禁忌。(2)○ AFP:卵黄嚢腫瘍、hCG:絨毛性腫瘍、LDH:未分化胚細胞腫。(3)○ 病理診断が確定診断である(転移巣があっても行う)。(4)○ セミノーマは放射線に対する感受性が高い。(5)× 絨毛癌と胎児性癌の予後が悪い。

【17】40歳の女性。2年前から、徐々に体重増加と満月様顔貌とを認めるようになった。6ヵ月前から無月経となった。同じころに高血圧を指摘され、降圧薬を投与された。血中コルチゾール26.6μg/dl(正常5-15)、dehydroepiandrosterone sulfate22μg/dl(正常130-160)。この患者でみられる所見はどれか。

- (1)血中ACTHは低下する。(2)血中コルチゾールの日内変動は消失する。  
 (3)デキサメサゾン8mgを2日間投与すると、尿中17-OHCS/日は減少する。  
 (4)メチラポン(メトピロン)試験で尿中17-OHCS/日は著増する。  
 (5)131Iアドステロール副腎シンチグラフィーにより一側に強い放射能集積をみる。

A(1)(2)(3) B(2)(3)(5) C(1)(2)(5) D(1)(4)(5) E(2)(4)(5)

(答え) C (2003概説の18番と同じ) ステップ泌尿器科P210~参照

）中年女性、体重増加、満月様顔貌、無月経、高血圧、コルチゾール高値よりCushing症候群とわかる。dehydroepiandrosterone(DHEA)の値であるが、これはテストステロンの前駆体であり、これが低値になるのはACTH分泌が抑制されている副腎腺種しかない。

(1)○ (2)○ Cushing症候群ではコルチゾールの日内変動は消失する。(3)× デキサメタゾン抑制試験で多量(8mg)で抑制はCushing病(下垂体腺腫性)。(4)× (3)同様、陽性はCushing病。(5)○

【18】以下の記述で正しいものの組み合わせを選べ。

- (1) 高齢者ほど前立腺癌の潜在癌の頻度は高い。  
 (2) 前立腺内に限局する前立腺癌では経尿道的前立腺切除術が根治的治療となる。  
 (3) 前立腺癌の約50%は内分泌療法が無効である。  
 (4) 高分化の前立腺癌は、低分化のものに比べ内分泌療法に良く反応する。  
 (5) 内分泌療法に抵抗性となった前立腺癌ではcisplatinを中心とする抗癌化学療法が有効であることが多い。

a.12 b.13 c.14 d.15 e.23 f.24 g.25 h.34 i.35 j.45

(答え)c (2003概説の19番と同じ) ステップ泌尿器科P161、163~、h16 泌尿・生殖講義「前立腺癌」プリント参照 (1)○ (2) 経尿道的前立腺切除術は対症的に用いられることはある。根治的には、前立腺全摘除術が行われる。(3)無効であるのは15~20% (4)おそらく○ (5)前立腺癌は、一般的に化学療法抵抗性である。

<婦人科>

【1】女性生殖器の解剖に関して正しいものをひとつ選べ

- a 子宮、卵巣、膣の下方はミューラー管から発生する  
 b 卵胞は原始卵胞、グラーフ卵胞、白体、黄体へ発育、変化していく  
 c 会陰は後陰唇交連と肛門との間の部分で分娩時陰切開が行われる  
 d 解剖学的子宮口は組織学的子宮口より外子宮口に近い  
 e 骨盤隔膜は深会陰横筋と尿道カツヤク筋からなり骨盤内臓器を保護している

(答え)c (南山堂医学大辞典等参照)

- a. × ミューラー管から発生するのは、子宮、卵管、膣上方1/3。卵巣は未分化生殖腺、膣の下方2/3は尿生殖洞から発生する。b. × 白体は黄体が機能を果たしたあと線維化したものをいう。c. ○  
 d. × 外子宮口…膣部への開口部。解剖学的子宮口…子宮体部と子宮頸部との境界。組織学的子宮口…子宮体内膜が子宮頸管内膜に移行する部位。解剖学的子宮口よりも1cm低い位置にある。  
 e. × 骨盤隔膜で最も主となるのは、肛門挙筋である。

【2】29歳の主婦。月経不順と3ヵ月間の無月経を訴えて婦人科を受信した。内診と超音波断層法にて子宮および付属器に異常はなく、基礎体温測定を指示された。その後1ヵ月間の基礎体温は低温一相性である。この症例について正しいものをひとつ選べ。

- a. 無排卵周期症の治療に排卵誘発剤を投与する
- b. 早発閉経の予防にエストロゲン製剤を投与する
- c. 機能性子宮出血の予防にプロゲステロン製剤を投与する
- d. 妊娠の可能性があるのでホルモン治療は行わない
- e. 破綻出血の予防に GnRH アナログ製剤を投与する

(答え) c? (2004概説の2番、2003卒試3番と同じ) Compass 産婦人科参照

低温一相性＝無排卵である。 a) × 無排卵周期症は、月経 (+)、排卵 (-)

b) ×? 早発閉経では、性器・付属器の萎縮があることが多い。

c) ○ 機能性性器出血(＝低温一相)では、黄体ホルモン薬投与で消退出血を起こさせる。

d) × 妊娠4ヶ月までは高温相が持続する。

e) ×? 低用量経口避妊薬投与では消退出血を起こさないため破綻出血を来たす??

【3】正しいものを一つ選びなさい

- a GnRH の分泌は律動性に行われる
- b 初経はエストロゲンによる破綻出血による
- c プロゲステロンの分泌は初経の飛来に必須である
- d 排卵にはエストロゲンのネガティブフィードバックが必要
- e インヒビンは LH の分泌を特異的に抑制する

(答え) a? NEW産婦人科学等参照

a. ○ 90分に2度パルス分泌。 b. ? c. × 必ずしも必要ない。 d. × エストロゲン→LHへのポジティブフィードバック→LHサージ→排卵。 e. × FSHを抑制。

【4】誤りを1つ選べ。

- a. パパニコロー分類で子宮頸部スメアがスコアⅣであり、上皮内癌を疑った。
- b. コルポスコピー検査で白色上皮を認め、異形成と診断した。
- c. 子宮内膜症を診断するために腹腔鏡検査を行った。
- d. 子宮内膜はMRIのT2強調画像で高信号を示す。
- e. 子宮腺筋症にはMRIよりCTの方が診断に有用である。

(答え) e NEW産婦人科学、臨床エビデンス婦人科学等参照

a. ○ パパニコロー分類では、クラスⅠ；正常、Ⅱ；炎症 Ⅲ；前癌病変(Ⅲa；軽度、中等度異型性、Ⅲb；高度異型性)、Ⅳ；上皮内癌、Ⅴ；悪性、浸潤癌を想定し、クラスⅢa以上は精密検査が必要である。  
b. ○ 子宮頸癌の異型性、上皮内癌、微小浸潤癌などのときに見られるコルポ所見には、白色上皮、モザイク、赤点斑、白斑、異型血管などがある。 c. ○ 確定診断には、開腹または腹腔鏡により、直視的な診断を行う必要がある。 d. ○ e. 子宮腺筋症では、MRIはCTよりも優れる。

【5】正しいものをひとつ選べ。

- a 子宮卵管造影法の前にクラミジアの検査を行う必要がある。
- b 性交後試験では頸管粘液の牽糸性を評価する
- c 粘膜下子宮筋腫の確定診断には腹腔鏡検査が必要である
- d 排卵日の推測には LH-RH 試験が有用である
- e 子宮内膜症の腹膜病変の診断には経膈超音波検査が有用である

(答え) a? NEW産婦人科学、H16泌尿・生殖講義「婦人科検査法」プリント参照

a. ○? クラミジア検査は、初診時または随時行う。 b. × 性交後試験では、子宮頸管粘液内の精子の数・運動性を調べる。 c. × d. ×? LH、FSHの分泌パターンから無排卵の障害部位は推定できる。  
e. × 腹膜表面の小病変や癒着性病変に対しては有用ではない。

【6】次のうち誤りをひとつ答えよ。

1. 性腺細胞は Y 染色体上の **sry** 遺伝子により刺激をうけて精巣になる。
2. テストステロンは **Leydig** 細胞から分泌され、ミューラー管を退縮させる。
3. 卵巣は生殖隆起から分化する。      4. ミューラー管が癒合して子宮になる。
5. 副腎性器症候群では陰核が肥大する。

(答え) 3 NEW産婦人科学 P10~、P64、H16 1/9 泌尿・生殖講義 生殖器系の発生のプリント参照

1. ○ 2. ○ 3. × 卵巣は未分化生殖腺から、生殖隆起からは外性器が発生する。4、5. ○

【7】子宮内膜症について正しいものをひとつ選べ。

- a. 子宮内膜炎や子宮内膜過形成を合併することが多い。
- b. 再発することが多いので両側付属器切除が基本である。
- c. **GnRH** アナログ療法では骨量減少に注意する必要がある。
- d. エストロゲン依存症であるためタモキシフェン療法が有効である。
- e. 過多月経や過長月経のために貧血を合併することが多い。

(答え) c NEW産婦人科等参照

- a. × b. × 挙児を希望しない場合は単純子宮全摘、および両側の卵巣、卵管を切除する。挙児を希望する場合は、薬物療法や保存的手術、あるいは両者の併用が選択される。c. ○ d. × タモキシフェンは、乳腺に対して使う。子宮に対してエストロゲン作用がある為、子宮内膜が増殖してしまうので有効ではない。e. × 不妊・月経痛の主訴が多い。

【8】間違いを選べ。

1. 月経モリミナは月経周期に一致した下腹部痛を起こす。
2. ロキタンスキー・キュスター・ハウザー症候群は腎尿路奇形を起こす。
3. 子宮脱は生殖洞の分化異常により起こる。      4. 膀胱脱は腹圧性尿失禁を起こす。
5. 子宮奇形は習慣流産の要因になる。

(答え) 3 H16 1/21 泌尿・生殖「女性性器の形態異常と位置異常」講義プリント参照

1. ○ 2. ○ ロキタンスキー・キュスター・ハウザー症候群；卵管を除くミューラー管の発生異常。正常な二次性徴はみられるが、膣は先天的欠損し、子宮も痕跡的または完全欠損している。卵巣・卵管は正常であるが、原発性無月経(+)。腎尿路奇形(47%)・骨格奇形(12%)などの先天奇形の合併がみられる。  
3. × 原因は重労働、加齢、多産、分娩時障害、体質性である。 4. ○? 5. ○

【9】正しいものを選べ。

- a. フーナーテストは精子の運動率を調べるために黄体期に行う。
- b. 人工授精では、排卵期に経膣的に排卵を行う。
- c. 基礎体温で高温期が 10 日以下は卵管閉塞が疑われる。
- d. **Rokitansky-Kuster-Hauser** 症候群ではカウフマン療法により月経が導ける。
- e. 卵嚢過剰刺激症候群は医療性疾患であり、血液濃縮、電解質異常から腎不全を起こすことがある。

(答え) e NEW産婦人科学等参照

- a. × 排卵期に行う。b. × 人工授精とは、精液または精子浮遊液を人工的に注入器を用いて女性性器内に注入する方法である。c. × 高温期が 12 日未満であった場合、黄体機能不全が疑われる。  
d. × e. ○

【10】婦人科良性腫瘍について誤っているものを 1 つ選べ。

- a. 漿膜下子宮筋腫の患者に過多月経と月経困難症を認めた。
- b. 不妊性子宮筋腫患者に筋腫核出術を行った。      c. 子宮腺筋症が妊娠して軽快した。
- d. 卵巣線維腫に胸水が合併した。      e. 卵巣の粘液嚢胞腺腫が多房性であった。

(答え) a? NEW産婦人科学等参照

a. × 漿膜下子宮筋腫では無症状であることも多く、主な症状としては下腹部腫瘤感、頻尿、便秘などがみられる。粘膜下、筋層内筋腫では、月経過多、貧血、月経困難などである。b. ○ c. ○ d. 約3%に胸水を合併する。e. ○ 粘液嚢胞腺腫の多くが多胞性である。

【11】正しくないものを1つ選べ。

- a. 子宮頸部の異形成において、細胞診は陰性のことが多い。
- b. 子宮頸部の異形成は、子宮頸部の移行帯に好発する。
- c. 円錐切除術は、子宮頸部微小浸潤癌の確定診断に用いられる。
- d. 広汎子宮全摘除術の後障害として、神経因性膀胱が見られる。
- e. 子宮頸癌に対する放射線治療として、外照射と腔内照射がある。

(答え) a 臨床エビデンス婦人科学参照

a. ×細胞診は一次検診として行われている。b. ○ c. ○ d. ○ 子宮傍結合織、膣結合織、膣管を広い範囲に切除するため、排尿を司る自律神経の切断による神経因性膀胱、膣短縮による性交障害などが起こりうる。e. ○

【12】外陰・膣の疾患について誤っているものを1つ選べ。

- a. 小陰唇に皮脂腺を認めた。
- b. Kissing ulcer を認め、ベーチェット病と診断した。
- c. 外陰に肥厚した白斑を認め、増殖性ジストロフィーと診断した。
- d. 外陰癌が骨盤リンパ節に転移した。
- e. バルトリン腺嚢腫にレーザー開窓術を行った。

(答え)b NEW産婦人科学、泌尿・生殖講義 外陰疾患プリント参照

a. ○ 小陰唇；皮脂腺(+)、毛包(-) 大陰唇；皮脂腺(+)、毛包(-) b. × Kissing ulcer は外陰ヘルペスでみられる。外陰ベーチェットでは Punched out ulcer が特徴的。c. ○? d. ○ e. ○ 開窓術(レーザーで行うと再発が少ない)、造袋術が行われる。

【13】子宮付属器腫瘍について誤りを1つ選べ。

- a 卵巣しょう膜性腺癌では腫瘍マーカーCAI125 が上昇しやすい。
- b 明細胞癌(類中腎癌)は抗癌剤が良く効く。
- c 大網に径5cmの転移性腫瘍がある場合の卵巣癌進行期はⅢc期である。
- d 両側性の充実性卵巣腫瘍の場合は消化管の精査を行なう。
- e 卵巣癌治療法には現在プラチナ製剤とタキサン製剤が使われる。

(答え)b? NEW産婦人科学等参照

a. ○? しょう液性の間違い? CAI125 はしょう液性のう胞腺癌、明細胞腺癌、子宮内膜症などで上昇する。b. ? c. ○ 卵巣癌の進行期Ⅰ期；腫瘍が卵巣に限局Ⅱ期；骨盤内進展ありⅢ期；骨盤を越える浸潤、播種または後腹膜リンパ節転移Ⅳ；腹腔を越える遠隔転移 またⅢcは2cmを超えるものである。(NEW産婦人科学 P560) d. ○ 卵巣腫瘍の約10%は転移性腫瘍であり、乳房、子宮、胃、腸管あるいは造血臓器からのものが多い。中でも胃癌からの転移はもっとも多く Krukeberg 腫瘍(両側性、充実性であることが特徴)と呼ばれている。(NEW産婦人科学 P570) e. ○

【16】婦人科炎症性疾患について、誤っているものを1つ選べ

- a. 尖形コンジローマを認め、梅毒と診断した
- b. 淋菌を検出し、ニューキノロン系抗生剤を用いた
- c. 老人性(萎縮性)膣炎の治療にエストロゲン膣錠を用いた
- d. 外陰ヘルペスの擦過スミアに多核巨細胞を認めた
- e. 骨盤内炎症性疾患(PID)の患者からクラミジア抗体価の上昇を認めた

(答え)a NEW産婦人科学、泌尿・生殖講義 外陰疾患プリント参照

a. 尖形コンジローマはヒトパピローマウイルスが原因である。b. ○ c. ○ d. ○ 外陰ヘルペスでは細胞診で多核巨細胞と核内封入体を認める e. ○ PIDの原因として淋病、クラミジア感染症などがある。

## &lt;病理&gt;

## 【1】腎細胞癌について正しいものを選び

1. 腎淡明細胞癌の間質は繊維成分に富むことが多い
  2. 腎淡明細胞癌の淡明な細胞質にはグリコーゲンが豊富に含まれている
  3. 長期透析後の後天性嚢胞腎に、しばしば腎細胞癌が発生する。
  4. 集合管癌は、腎表面に発生することが多い。
- a.1,3,4   b.1,2   c.2,3   d.4のみ   e.1~4のすべて

(答え)c? ベッドサイド泌尿器科学参照

1. ×? 細胞は充実性の構造をとり、周辺を網状に分布する血管により囲まれている。2. ○ 淡明細胞は脂質、とくにコレステロール・エステルおよびグリコーゲンに富む。3. ○ 4. ×? 集合管癌(ペリネー管癌)は髄質、とくに乳頭部に起こり腎盂への浸潤が普通である。

## 【2】腎芽腫 (Wilms'tumor) についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選び。

1. 10~15 歳に好発する
  2. 未分化な腎芽細胞からなり、糸球体や尿細管の構造はとらない。
  3. 発生には Rb 遺伝子の異常が深く関与している。
  4. 腎横紋筋肉腫様腫瘍は乳幼児にみられ、極めて予後不良である。
- a.1,3,4   b.1,2   c.2,3   d.4のみ   e.1~4のすべて

(答え)d ベッドサイド泌尿器科学等参照

- a. × 1~5 歳の幼児期に好発。b. × 未熟だが糸球体や尿細管構造が存在する。
- c. × Rb は網膜芽細胞腫。本疾患では WT。
- d. ○ 腎横紋筋肉腫様腫瘍は腎芽腫の不全型で脳腫瘍合併などをきたす。

## 【3】膀胱の疾患に関して正しい組合せを選び

- (1)喫煙は膀胱癌の risk factor である
  - (2)尿路上皮(移行上皮)癌は、肉眼的に潰瘍状を呈するものが最も多い
  - (3)移行上皮癌乳頭状型の上皮成分は、通常のものより高層化し、7 層以上を呈するものが多い
  - (4)膀胱に発生する肉腫では、横紋筋肉腫が多く、これは小児に好発する
- a:134   b:12のみ   c:23のみ   d:4のみ   e:1~4 全て

(答え) a

- a. ○   b. ×   c. ○   d. ○

## 【4】前立腺肥大症、前立腺癌についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選び。

- 1)前立腺肥大症は、組織学的に前立腺被膜下の外腺領域の過形成である。
  - 2)前立腺肥大症は、組織学的に前立腺腺組織の過形成であり間質成分は乏しくなる。
  - 3)前立腺癌は組織学的に異型が強く、高分化型でも組織診断は容易である。
  - 4)前立腺癌の組織学的 grading として Gleason 分類が多用されている。
- a)1,3,4のみ   b)1,2のみ   c)2,3のみ   d)4のみ   e)1~4 すべて

(答え)d ステップ泌尿器科学 P153、163 参照

- 1)× 外腺ではなく内腺を発生母地とする。2)× 内腺と呼ばれる尿道の周囲腺から発生し、本来の前立腺組織(外腺)からではない。3)? 4)○

## 【7】子宮体部病変についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選び。

- 1) 子宮外妊娠でみられる Arias-Stella 反応は、正常妊娠ではみられない。
  - 2) 子宮内膜症が子宮筋層に起こった場合を子宮腺筋症と呼ぶ。
  - 3) 子宮平滑筋腫と平滑筋肉腫の組織学的鑑別には、核の異型性や核分裂像の有無が有用である。
  - 4) 全胞状奇胎と部分胞状奇胎の鑑別には、cistern の有無が重要である。
- a)1,3,4   b)1,2   c)2,3   d)4   e)1~4 すべて

(答え) c NEW産婦人科学等参照

1. × Arias-Stella 反応とは、妊娠に伴う hCG の作用による子宮内膜細胞の変化。正常妊娠でも認められる。(医学書院の医学大辞典) 2. ○ 3. ○ (ルービン基本病理学 p422)
4. ×? 全胞状奇胎はのう胞化した絨毛よりなり、胎芽・胎児・臍帯成分を認めない。部分胞状奇胎はのう胞化絨毛と正常絨毛が存在しており、胎芽・胎児成分を認める。

【8】 次のうちから正しい組み合わせを選べ。

- 1 子宮頸部扁平上皮癌はその異型度に従い G1～G3 までに分類され、予後の推定に有用である。
  - 2 子宮頸部腺癌は極めて稀である。
  - 3 乳癌の治療に用いられるタモキシフェンは抗エストロゲン作用により子宮内膜ガンのリスクを低下させる。
  - 4 子宮内膜癌は多くが腺癌であり、その中でも正常の組織に類似する類内膜腺癌が多い。
- a 134    b 12    c23    d4のみ    e すべて

(答え) d NEW産婦人科学等参照

1. × G1～G3 で分類されるのは子宮体癌のうち腺癌 2. × 10～15%を占める 3. ? 4. ○ 子宮体癌の 85～90%が腺癌で、なかでも類内膜腺癌が最も一般的。

【9】 卵巣腫瘍・腫瘍様病変についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 卵巣子宮内膜症はチョコレート嚢胞をきたす。
  - 2) 卵巣漿液性腫瘍には境界悪性病変が存在するが、卵巣粘液性腫瘍には境界悪性病変は存在しない。
  - 3) 卵巣漿液性腫瘍上皮は、卵管上皮や卵巣表層上皮に似る。
  - 4) 卵巣粘液性腫瘍は、腫瘍上皮の性状から内頸部型、腸上皮型と混合型に分けられる。
- a)1,3,4のみ    b)1,2のみ    c)2,3のみ    d)4のみ    e)1～4すべて

(答え) a

- 1) ○ 2)×どちらも、境界悪性病変は存在する。(病理学第6版 P742、743 参照) 3)? 4)?

## 2004年度概説試験

## &lt;泌尿器分&gt;

1、正しいものの組み合わせを選べ。

- (1) 副腎動脈は下横隔膜動脈・大動脈・腎動脈からの分岐によって栄養をうける。  
 (2) 左腎動脈が腹部大動脈と上腸間膜動脈との間で圧迫されることがある。  
 (3) 左精巣静脈は左腎静脈に注ぐ。 (4) 左腎静脈は大動脈の背側を横断し、下大静脈に注ぐ。  
 (5) 右副腎中心静脈は右腎静脈に注ぐ。

a,123 b,125 c,135 d,145 e,345

(答) a 2003年概説泌尿器1と同じ。

2、脳卒中左片麻痺で歩行障害が残っているが、独歩で外来通院中の女性に対して排尿障害の有無を確認したい。正しいものの組み合わせを選べ。

- (1) 排尿障害の有無を確かめるには、排尿記録と残尿測定が必要である。  
 (2) 排尿障害の有無を確かめるには、尿路造影検査が必要である。  
 (3) 括約筋障害がなければ排尿障害がないはずである。  
 (4) 尿失禁があるとすれば、その病態は痴呆性である。  
 (5) 尿失禁があるとすれば、その病態は腹圧性あるいは切迫性である。

a,135 b,125 c,234 d,145 e,全て

(答) a?わかりません。(4)と(5)が共存するのはおかしいからdとeはないと思います。

4、左右の腎機能を区別して検査できるのはどれか。

- (1) 静脈性腎盂造影 (2) レノグラム (3) PSP 排泄試験  
 (4) 尿濃縮試験 (5) インジゴカルミン排泄試験

a,123 b,125 c,145 d,234 e,345

(答) c 2002 概説泌尿器2と同じ

7、生後3ヶ月の男児が有熱性尿路感染を繰り返すため受診した。まず行うべき適切な画像検査法(A群)と、最も考えられる疾患(B群)の組み合わせとして、正しいものはどれか。

- A群) (1) US+IVP (2) US+RP (3) US+VCUG (4) US+CT  
 (5) IVP+RP (6) IVP+VCUG (7) IVP+CT (8) RP+VCUG  
 (9) RP+CT (10) VCUG+CT

US: 超音波検査 IVP: 経静脈性腎造影法 RP: 逆行性腎盂造影法 VCUG: 排尿時膀胱尿道造影法  
 CT: Computed Topography

B群) ア: 先天性水腎症 イ: 嚢胞腎 ウ: 尿管胃所開口 エ: 尿管瘤  
 オ: 巨大尿管症 カ: 膀胱尿路逆流症 キ: 神経因性膀胱 ク: 後部尿道弁

a,1:エ b,2:ア c,3:カ d,4:ウ e,5:ク f,6:オ g,7:イ h,8:カ i,9:ア j,10:キ

(答) b アでは腎機能が低下するとIVPでは診断できないためRPが必要。CTよりはUSの方が有用な気がします。ウではVURの有無を確認するため、VCUGが必須。

9、尿路感染症について正しい組み合わせを選べ。

- (1) 急性単純性膀胱炎の原因としては大腸菌が最も多い。  
 (2) 複雑性膀胱炎の治療には広域抗菌スペクトルのマクロライド系薬剤を用いる。  
 (3) 急性単純性腎盂腎炎の治療にはカルバペネム系抗菌薬を用いる。  
 (4) 留置カテーテルは複雑性尿路感染症の基礎疾患となる。  
 (5) 慢性前立腺炎の原因は最近によることが多い。

選択肢不明



(1) ○ (2) 多分× 広域スペクトルのニューキノロンやセフェム系を用いるそうです。 (3) 多分× 腎排泄型のペニシリン系、セフェム系、ニューキノロン系などを用いるそうです。 (4) ○だと思います。 (5) 微妙です。細菌性と非細菌性があるそうです。どちらが多いかわかりません。

1 0、性感染症について正しい組み合わせはどれか。

- (1) 淋菌感染症の治療には経口薬を用いる。
- (2) 非淋菌性尿道炎の原因微生物では、マイコプラズマ、ゲリタニウムが最も多い。
- (3) 性器ヘルペスの原因は、herpes simplex virus のII型である。
- (4) 女性の性感染症では、クラミジア感染症が最も多い。
- (5) 尖圭コンジローマの原因微生物は、human papilloma virus である。

a,12 b,13 c,14 d,15 e,23 f,24 g,25 h,34 i,35 j,45

(答) I (1) × 注射薬による単回治療。 (2) ×? 最もかどうかは不明。 (3) ○ (5) ○

1 1、前立腺肥大症の重症度を判定するのに必要な項目は。

- (1) 前立腺特異抗原 (PSA) (2) 国際前立腺スコア (I-PSS)、QOL
- (3) 最大尿流率、残尿量 (4) 直腸診 (5) 前立腺容積 (体積)

a,123 b,235 c,125 d,135 e,245

多分 b.235 だと思います。

1 2、正しいものの組み合わせを選べ。

- (1) 腎障害において血尿は必発であり、血尿 (一) なら腎外傷を否定できる。
- (2) 非開放性腎外傷の多くは腎挫傷で保存的治療は困難である。
- (3) 後部尿道損傷は骨盤骨折に伴うことが多い。
- (4) 腎外傷では、緊急の CT や血管造影が診断と治療選択に有用である。
- (5) 腎外傷に比べると、膀胱外傷の頻度は高くない。

a,123 b,234 c,124 d,235 e,345

(答) b? (1) (2) (3) は 2003 概説 1 2 と同じ。

1 5、正しいものの組み合わせはどれか。

- (1) 射精は副交感神経の興奮による。 (2) RPLND では射精障害はおきない。
- (3) TUR-P 後の逆行性射精の発生率は約 70% ある。
- (4) 精索靜脈瘤は左側に多い。 (5) 脊髄損傷患者でも正常な射精機能は保たれている。

a,12 b,23 c,34 d,45 e,15

2003 卒試泌尿器 1 3 と同じ。答は不明 (c か d)

2 0、腎移植について正しいものの組み合わせはどれか。

- (1) 我が国の腎移植成績は種々の免疫抑制剤の登場で年々向上しており、近年の生体腎移植における 1 年生着率は約 90% 前後である。
- (2) 我が国の腎移植において、脳死体腎移植数は減少している。
- (3) 腎移植における急性拒絶反応は種々の免疫抑制剤の登場により、臨床上認められることはなくなった。
- (4) 腎移植手術においては、一般的に腎動脈は内腸骨動脈、腎静脈は外腸骨静脈に吻合する。
- (5) 近年、配偶者をドナーとする非血縁者間生体腎移植が増加している。

a,123 b,234 c,235 d,125 e,345

2003 卒試泌尿器 1 4 と一部同じ。答は d? 過去問では (2) は×になっているが、2002 卒試泌尿器 9 も一部同じだが、(4) が○になっているので、145 が正しいということになります。

## &lt;産婦人科分&gt;

1. 女性生殖器の発生・解剖に関して正しいものをひとつ選べ。
- a、子宮円索は子宮を支える支持組織で卵巣動静脈を含む。
  - b、尿生殖隔膜は深会陰横筋と肛門括約筋からなる三角形の薄い筋腱膜板である。
  - c、始原生殖細胞は卵黄嚢から腸間膜を経由して生殖堤へ移動する。
  - d、遺伝的性は出生時の外性器の形状による。
  - e、Bartholin 腺は男性の前立腺に相当する。

a×卵巣動静脈は卵巣提索に含まれている。 b×尿生殖隔膜は深会陰横筋と尿道括約筋からなる。 c○ d×染色体による。 e×cowper 腺に相当

2. 22歳の女子大学生。月経不順と3ヶ月間の無月経を訴えて婦人科を受診した。内診と超音波断層法にて子宮および付属器に異常はなく、基礎体温測定を指示された。その後1ヶ月間の基礎体温は低温一相性である。この症例について正しいものをひとつ選べ。
- a、早発閉経の予防にエストロゲン製剤を投与する。
  - b、無排卵周期症の治療に排卵誘発剤を投与する。
  - c、機能性子宮出血の予防にプロゲステロン製剤を投与する。
  - d、破綻出血の予防に GnRH アナログ製剤を投与する。
  - e、妊娠の可能性があるのでホルモン治療は行わない。

2002 概説 2、2003 概説 2、卒試 3 を参照。a か c

3. 正しいものをひとつ選べ。
- a、GnRH の分泌は律動性に行われている。
  - b、初経はエストロゲンによる破綻出血である。
  - c、プロゲステロンの分泌は初経の発来に必須である。
  - d、排卵にはエストロゲンのネガティブフィードバックが必要である。
  - e、インヒビンは LH の分泌を特異的に抑制する。

2003 概説 3 と一緒。答え a。

4. 16歳女性。無月経を訴えて産婦人科を受診した。身長は141cm で、外反肘を認めた。内診にて膣の欠損を認めなかった。この症例について次のどの疾患が最も疑われるか、正しいものをひとつ選べ。
- a、ターナー症候群
  - b、クラインフェルター症候群
  - c、真性半陰陽
  - d、ロキタンスキー・キュスター・ハウザー症候群
  - e、精巢性女性化症

低身長、外反肘より、ターナー。答え a。

5. 症例は34歳、既婚婦人で、不妊症の治療も受けている。最近、少量の不正性器出血が持続し来院された。内膜細胞診は疑陽性で、内膜細胞診で内膜腺の増殖があり、腺の数の増加と不規則で複雑な腺の形状の異常が認められたが、細胞異型は見られなかった。この疾患について正しいものをひとつ選べ。
- a、エストロゲンは投与期間より投与量の方が発生に関与している。
  - b、長期的には子宮体癌になる確率は10%を超える。
  - c、黄体ホルモンなどによる保存的治療がまず選択される。
  - d、経口避妊薬の長期使用で発生しやすい。
  - e、組織診断は単純型子宮内膜異型増殖症である。

診断は複雑型子宮内膜増殖症。よって e は×、a×投与期間が問題 b×3%程度 c○ d×エストロゲン投与が問題となるが、経口避妊薬はエストロゲン、プロゲステロンがバランスよく含まれているのであまり問題とならない。タモキシフェン服用後が問題となる。

6. 子宮内膜症について正しいものをひとつ選べ。
- a. 子宮内膜炎や子宮内膜過形成を合併することが多い。
  - b. 再発することが多いので両側付属器切除が基本である。
  - c. GnRH アナログ療法では骨量減少に注意する必要がある。
  - d. エストロゲン依存症であるためタモキシフェン療法が有効である。
  - e. 過多月経や過長月経のために貧血を合併することが多い。

2003 概説 7、卒試 4 参照。答え c。

7. 29 歳女性が結婚後 3 年経っても妊娠しないため受診した。結婚前も妊娠歴はない。月経は比較的順調であるが、基礎体温は測定していない。一方、夫は結婚歴があり、前妻との間に一児がいる。

1) 正しいものをひとつ選べ。

- a. 診断は続発性不妊症である。      b. 性交後試験は月経周期第 5 日頃に行う。
- c. 月経周期第 5 日頃にプロラクチンを測定する。      d. 月経周期第 10 日頃にエストラジオールを測定する。
- e. 子宮卵管造影の前に造影剤アレルギーチェックを行う。

2) この患者の子宮卵管造影図をみて正しいものを選び。

- a. 不妊症の原因として子宮因子の存在が疑われる。      b. 不妊症の原因として頸管因子の存在が疑われる。
- c. 不妊症の原因として卵管因子の存在が疑われる。      d. 不妊症の原因として染色体異常の存在が疑われる。
- e. 不妊症の原因として子宮および卵管に異常は認められない。

3) この患者への説明として適切なものを選び。

- a. 配偶者間人工授精を行う。      b. 治療法として卵管鏡下卵管形成術を勧める。
- c. 頸管無力症が疑われるので、頸管縫縮術が必要である。
- d. 子宮筋腫を認めるので子宮筋腫核出術を勧める。
- e. 不妊の原因は不明であるので経過観察を行う。

2003 概説 9 参照。画像がないので、何とも言えませんが、過去問と同じなら、1. c (e の造影剤アレルギーチェックは現在では、あまり行われなようです。) 2. c、3. b となります。

8. Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群に関する次の記述のうち、正しい組み合わせをひとつ選べ。

- (1) 原発性無月経を主訴とすることが多い。      (2) 腎尿路奇形を合併することが多い。
- (3) 腔留血腫を合併することが多い。      (4) 染色体は 46、XY であることが多い。
- (5) 造腔術の適応になる。

a,123    b,125    c,145    d,234    e,345

2003 概説 8 参照。答えは b。

9. 症例は 40 歳、接触出血を訴えて受診した。別紙は子宮腔部より採取した擦過細胞診像である。

1) 次のうち、正しい組み合わせをひとつ選べ。

- (1) 背景に炎症細胞と壊死像を認める。      (2) 腺腔形成を認める。
- (3) コイロサイトーシスを認める。      (4) 核の大小不同を認める。      (5) 紡錘型異型細胞を認める。

a,123    b,125    c,145    d,234    e,345

2) 推定する病理診断はどれか。

- a. トリコモナス膣炎      b. カンジダ膣炎      c. 異形成      d. 腺癌      e. 扁平上皮癌

1) 2003 概説 11 参照。答えは a

2) 2003 概説 11 参照。答えは c?

10. 絨毛性疾患に関する次の記述のうち、正しい組み合わせをひとつ選べ。
- (1) 多くの全胎状奇胎では、染色体はすべて精子由来である。 (2) 絨毛癌は高率に血行転移を来す。
- (3) 胎状奇胎の組織学的診断には絨毛間質の水腫性嚢胞化が重要である。
- (4) 胎状奇胎の娩出後の管理に際しては、血中  $\alpha$ -fetoprotein 測定が必要である。
- (5) 全胎状奇胎の多くでは、病理学的に胎児由来の成分を認める。
- a,123   b,125   c,145   d,234   e,345

2003 概説 14 参照。答えは b ?

11. 婦人科検査法について誤っているものをひとつ選べ。
- a、頸部スメアがパパンニコウ (Papanicolaou) 分類 II のため異形成を疑った。
- b、膣拡大鏡診 (コロスコピー) で子宮頸部に異常血管を認め浸潤癌と診断した。
- c、閉経後の出血症例に子宮内膜細胞診 (エンドサイト) を行った。
- d、腹腔鏡で子宮内膜症を診断した。
- e、骨盤内リンパ節への転移を評価するのに MRI より CT を選択した。

答えは c ?

12. 外陰・膣の疾患について誤っているものをひとつ選べ。
- a、大陰唇にアポクリン腺を認めた。   b、外陰ヘルペスにステロイド軟膏を用いた。
- c、かゆみを伴う外陰皮膚の萎縮を認め硬化性苔癬と診断した。
- d、外陰の表在性腺癌を認め外陰 Paget 病と診断した。   e、バルトリン腺嚢胞に造袋術を行った。

答えは b ?   a o c o d ? e o

13. 婦人科炎症性疾患について誤っているものをひとつ選べ。
- a、トリコモナス膣炎の治療にメトロニダゾールを用いる。
- b、カンジダ膣炎では白色ヨーグルト状の帯下を認める。
- c、閉経後のプロゲステロンの低下により老人性膣炎が生じる。
- d、軟性下疳は 4 大性病の一つである。   e、付属器炎は不妊症・子宮外妊娠の誘因である。

答 c   プロゲステロン→エストロゲン

14. 婦人科良性腫瘍について誤っているものをひとつ選べ。
- a、成熟嚢胞性奇形腫 (類皮嚢胞腫) は茎捻転を起こしやすい。
- b、子宮筋腫は閉経後に縮小する傾向がある。   c、粘膜下筋腫では貧血を認め易い。
- d、子宮内膜症は妊娠中、悪化する傾向がある。
- e、子宮腺筋症には GnRH アナログ剤が有効である。

答 d   a o b o c o e o

15. 次の症例を読んで 1) と 2) の設問に答えよ。
- <症例> 50 歳の既婚婦人。人間ドックで骨盤内腫瘍を指摘され来院した。腹部超音波検査で右付属器部に単房性の嚢胞を認め、一部に充実部を認めた (別紙)。開腹時、右卵巢は手拳大の腫瘍を形成し、術中迅速組織検査で腺癌 (別紙) と判明した。標準術式を行い、術後の組織検索で卵巢癌 1c 期と判明した。
- 1) この症例について最も適当なものをひとつ選べ。
- a、腫瘍マーカー値は、CA-125U/ml (正常 35 以下)、CEA : 10.5ng/ml (正常 2.5 以下) であった。
- b、腹水細胞診は陽性であった。   c、骨盤リンパ節に転移を認めた。
- d、術後にブレオマイシンを主剤とした多剤併用化学療法を行った。
- e、5 年生存率は 60 % 以下と考えられる。

2) この腫瘍を選べ。

- a、漿液性嚢胞腺癌                      b、粘液性嚢胞腺癌                      c、類内膜腺癌  
d、明細胞腺癌（類中腎癌）              e、クルッケンベルグ腫瘍（印環細胞癌）

2003 概説 15 番類似。1) c    2) a

<病理分>

1. 腎細胞癌についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 淡明細胞型の黄色調の剖面は、癌細胞質中の脂質の量が多いからである。  
2) 淡明細胞型の淡明な癌細胞質中には、PAS 染色陽性のグリコーゲンが存在する。  
3) 癌胞巣間は、豊富な線維成分によって支持されている。  
4) 腎糸球体基底膜由来である。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) b    2003 概説病理 1 参照

2. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 腎芽腫は、肉眼的には球状で膨脹性発育する。  
2) 腎血管筋脂肪腫は、脂肪成分が肉腫化し、腎脂肪肉腫となることがある。  
3) 腎芽腫の中には、尿細管への分化を示すものもある。  
4) 腎横紋筋肉腫様腫瘍は、幼児にみられ予後不良である。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) a    1)○2)×3)○4)○

3. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 膀胱移行上皮癌乳頭状型は、悪性度が増すと、より乳頭状になる。  
2) 移行上皮癌は、乳頭状増殖を示すものが最も多い。  
3) 腎盂の悪性上皮性腫瘍のなかで、移行上皮癌が最も多い。  
4) 膀胱移行上皮癌乳頭状型の上皮成分は、通常の移行上皮より低層化配列（6層以下）を示すものが多い。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) c    2003 年概説参照

4. 前立腺に関する以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 前立腺肥大症はほとんど移行帯（内腺）から発生する。  
2) 尿道は前立腺を貫通する。              3) 前立腺癌の確定診断には、針生検が有用である。  
4) 前立腺に配列する上皮は分泌細胞と基底細胞の2層からなるが、癌では1層となる。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) e    前立腺癌は外腺から発生

5. 辜丸胚細胞腫瘍に関する以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 胎児性癌は、90%が9歳以下に発生する。  
2) 絨毛癌は、AFPを産生するため、組織診断に免疫染色が有用である。  
3) 定型的セミノーマは、粘液を含む淡明な胞体を持つ。  
4) 卵黄嚢腫瘍の組織像で、Schiller-Duval body を認めることがある。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) d    1)胎児性癌は青壮年期がほとんど    2)絨毛癌はhCG

6. 奇形腫に関する以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 成熟嚢胞性奇形腫と未熟充実性奇形腫が、混在することもある。
- 2) 成熟嚢胞性奇形腫の組織像では、外胚葉性分はほとんどの症例にみられる。
- 3) 未熟奇形腫にも、成熟軟骨組織が広範囲にみられる。
- 4) 性索間質性腫瘍である。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) 2?    4) 奇形腫は胚細胞腫瘍

7. 子宮平滑筋腫に関する以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 平滑筋肉腫との鑑別には、核分裂像の数が有用である。
- 2) 境界明瞭で、線維性の被膜に覆われる。
- 3) 腫瘍血管は乏しく、小さい。
- 4) 多発し、出血、壊死、粘液様変化、硝子化などを伴うことがある。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) e    2003 年概説病理 9 参照    筋腫は核分裂像少ない—筋肉腫は多い

8. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 子宮頸部異形成は、扁平上皮と円柱上皮の移行部に好発する。
- 2) 子宮頸部扁平上皮癌の組織像で、癌真珠が一個でもあれば角化型である。
- 3) 子宮頸部異形成は、自然治癒することがある。
- 4) 子宮頸部の軽度または中等度異形成に、human papilloma virus 感染が関与している症例がある。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) a    2)? 他は○

9. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 子宮内膜癌の中には、扁平上皮への分化を伴うものがある。
- 2) 全胎状奇胎の絨毛間質は、血管と栄養芽細胞が著名に増生する。
- 3) 子宮内膜増殖症は、卵巣顆粒膜細胞腫が原因となることがある。
- 4) 子宮外妊娠では、子宮内膜に Arias-Stella 反応がみられることがある。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) e

10. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 卵巣漿液性嚢胞腺腫には、内頸部型、腸上皮型、混合型がある。
- 2) 卵巣漿液性嚢胞腺腫は、乳頭状増殖を示すことが多い。
- 3) 卵巣漿液性嚢胞腺腫は、高円柱上皮で裏打ちされる。
- 4) 卵巣漿液性嚢胞腺腫は、一般には多房性である。

a,134    b,12    c,23    d,4    e,1-4

(答) c    4) 多房性→単房性

## 2003年度概説試験（復元）

## &lt;泌尿器科&gt;

1. 以下の記述のうち正しいものの組み合わせを選べ。

- (1) 副腎動脈は下横隔膜動脈、大動脈、腎動脈からの分枝より栄養される。  
 (2) 右副腎中心静脈は右腎静脈に注ぐ。 (3) 左腎静脈は大動脈の背側を横断し下大静脈に注ぐ。  
 (4) 左精巣（睪丸）静脈は左腎静脈に注ぐ。  
 (5) 左腎静脈が腹部大動脈と上腸間膜動脈との間で圧迫されることがある。  
 a. 1 2 4      b. 1 2 5      c. 1 3 5      d. 1 4 5      e. 3 4 5

(解答) d

(解説)「泌尿器生殖器総論・症候学」プリント1枚目参照。 (1)○ (2)× 副腎静脈は右は下大静脈に直接、左は左腎静脈に流入する。 (3)× 大動脈の腹側を横断する。 (4)○ (5)○

2. 排尿障害があることを証明する検査を2つ選べ。

- (1) 検尿・細菌培養 (2) 残尿測定 (3) 膀胱内圧測定 (4) 膀胱造影  
 (5) 腎盂造影 6) 括約筋筋電図 (7) 排尿記録（あるいはCup & stopwatch法）  
 a. 1 2      b. 1 3      c. 1 5      d. 2 4      e. 2 6      f. 2 7      g. 3 4      h. 3 7      i. 4 5      j. 6 7

(解答) j

(解説) 自信ありません。排尿障害の基礎疾患を証明するものなら(1)～(7)どれでもよさそうですが、排尿障害自体を証明するのは(6)と(7)かと。

3. 糖尿病性神経因性膀胱患者が示す可能性のある愁訴3つを選べ。

- (1) 尿意頻数 (2) 排尿痛 (3) 夜間遺尿  
 (4) 溢流性尿失禁 (5) 切迫性尿失禁 (6) 排尿困難  
 a. 1 2 3      b. 1 4 6      c. 2 3 4      d. 3 4 5      e. 3 4 6

(解答) e

(解説) 神経で習ったことによると糖尿病性ニューロパチーは知覚性だったので、膀胱からの知覚路の障害により尿意が消失していると考えられます。(1)× 尿意は消失していると考えられます。(2)× 選択肢から。(3)○ 同上。(4)○ 膀胱内の尿量が大量になると膀胱内の圧が上昇し尿が漏れる。(5)× たぶん。尿意(ー)とすれば「尿意を感じるがトイレに間に合わない」切迫性尿失禁はないかと。

4. 左右の腎機能を区別して検査できるのはどれか。

- (1) 静脈性腎盂造影 (2) レノグラム (3) PSP排泄試験  
 (4) 尿濃縮試験 (5) インジゴカルミン排泄試験  
 a. 1 2 3      b. 1 2 5      c. 1 4 5      d. 2 3 4      e. 3 4 5

(解答) b

(解説)(1)○ 尿路結石、腎血管性高血圧の診断など。(2)○ 腎血管性高血圧の診断など。(3)× (4)× (5)○ 静注 or 筋注し、膀胱鏡で尿管からの排泄を見る。

5. 以下の記述のうち正しいものの組み合わせを選べ（血尿：肉眼的血尿）。

- (1) 初期血尿－後部尿道～膀胱頸部からの出血 (2) 終末時血尿－前部尿道からの出血  
 (3) 全血尿－頸部以外の膀胱～上部尿路（腎・尿管）からの出血  
 (4) 無症候性血尿－尿路悪性腫瘍 (5) 終末時排尿痛－急性膀胱炎  
 a. 1 2 3      b. 2 3 4      c. 1 3 5      d. 1 4 5      e. 3 4 5

(解答) e

(解説)「泌尿器生殖器総論・症候学」プリント6枚目参照。

(1)× 初期血尿－前部尿道からの出血 (2)× 終末時血尿－後部尿道～膀胱頸部からの出血

6. 高熱を来すのはどれか。

- (1) 急性尿道炎 (2) 急性精巣上体 (副睾丸) 炎  
(3) 急性腎盂腎炎 (4) 急性前立腺炎 (5) 急性膀胱炎

a. 1 2 3 b. 1 2 5 c. 1 4 5 d. 2 3 4 e. 3 4 5

(解答) d

(解説) (1)× 選択肢から。(2)○ 選択肢から。(3)○ 症状：発熱、腎部痛、腰痛。(4)○ 38℃以上の発熱 (year note E-89)。(5)× 頻尿、排尿痛、尿混濁が3主徴で発熱を伴わない。

7. 乳児期に発見されたA群に示す尿路先天異常に対して、B群の病態の説明のうち正しい組み合わせはどれか。(表示の都合上、先天異常名 (A群) と病態説明 (B群) を「:」でつなげて表記しています。)

(1) 多嚢腎 (多嚢胞性異形成腎) : ウイルムス腫瘍の発生の危険性が高いため腎摘出の対象となることが多い

(2) 先天性水腎症 : 多くは腎盂尿管移行部狭窄によるもので、程度の軽いものは自然軽快するので経過観察でよい

(3) 尿管異所開口 : 本邦では Thom 分類の1型である、単一尿管の膀胱頸部への異所開口が最も多い

(4) 尿管瘤 : 一時的な尿ドレナージのため経尿道的な尿管瘤切開術を試みることが多い

(5) 膀胱尿管逆流症 : 1歳未満で発見されるVURは圧倒的に女兒に多く、gradeIII以上は早期手術の適応である

a. 1 2 3 b. 1 2 5 c. 1 4 5 d. 2 3 4 e. 3 4 5 f. すべて

(解答)

(解説) (2)○ 自然治癒することが多い。(3)○ (5)× 1歳以下では男児が70~90%。学童期には女兒にやや多い。また、治療は基本的に保存的治療である。

8. 正しいものを選びなさい

(1) 尿路結石による尿管閉塞が高度であれば、24時間内に閉塞を解除するのが原則である

(2) 尿路閉塞があるとNa排泄/GFRは増加する

(3) 尿路閉塞に腎盂腎炎を合併した場合、抗生剤により感染をコントロールした後、D-Jカテーテルなどで閉塞解除するのが原則である

(4) 小児上部尿路閉塞の原因としては、尿路結石が多い

(5) 尿管結石において排泄性腎盂造影で造影剤の尿路外溢流があるときは腎盂破裂を疑う

a. 1 2 3 b. 1 2 5 c. 1 4 5 d. 2 3 4 e. 3 4 5 f. すべて

(解答) a

(解説) 「尿路閉塞・泌尿器科疾患に伴う高血圧症」プリント参照。

(1)○? 選択肢から。尿路結石は基本的に保存的治療だが、症状が激しい時は閉塞を解除 (ESWL) など。(2)○ Na吸収↓、GFR↓より増加。(3)○ 感染症には直ちに対応。(4)× 先天性腎盂尿管移行部狭窄、VUR、二分脊椎症によるものが多い。(5)× 腎杯円蓋部から漏れ出る。

9. 尿路感染症について正しいものはどれか。3つ選べ。

(1) 急性単純性尿路感染症の原因菌としてブドウ球菌が多くを占める。

(2) 性交は再発性膀胱炎の危険因子である。 (3) 急性単純性腎盂腎炎では発熱を伴うことが多い。

(4) 留置カテーテルは単純性尿路感染症の原因となる。

(5) 感受性検査法には、MIC値が用いられる。

a. 1 2 3 b. 1 2 4 c. 1 4 5 d. 2 3 4 e. 2 3 5 f. すべて

(解答) e

(解説) 「尿路・性感染症」プリント参照。(1)× E.coliが多い。(3)○ 症状：発熱、腎部痛、腰痛 (ちなみに急性単純性膀胱炎の3主徴は頻尿、排尿痛、尿混濁) (4)× 留置カテーテルは複雑性尿路感染症の原因となる重要な基礎疾患である。(5)○ 最小発育阻止濃度測定法。他にディスク拡散法がある。



10. 性感染症について正しいものはどれか。2つ選べ。

- (1) わが国で淋菌感染症は1995年以降漸減している。
- (2) 淋菌性尿道炎の治療には、ニューキノロン系薬が用いられる。
- (3) 非淋菌性尿道炎の起炎微生物では、クラミジア・トラコマティスが多い。
- (4) 女性には、クラミジア感染症は少ない。
- (5) 尖形コンジローマの原因微生物は Human papilloma virus である。

a. 1 2    b. 1 3    c. 1 4    d. 1 5    e. 2 3    f. 2 4    g. 2 5    h. 3 4    i. 3 5    j. 4 5

(解答) i

(解説)「尿路・性感染症」プリント参照。(1)× 中洲の薬剤耐性淋菌が増えて云々と授業で言っていました。(2)× セフトジジム、スペクチノマイシン。(4)× STD 中最多。子宮頸管炎、非淋菌性尿道炎、卵管炎等。

12. 以下の記述のうち誤っているものの組み合わせを選べ。

- (1) 腎外傷において血尿は必発であり、血尿を認めない場合腎外傷は否定できる。
- (2) 非開放性腎外傷の多くは腎挫傷であり、保存的治療が可能である。
- (3) 後部尿道の損傷は骨盤骨折に伴うことが多い。
- (4) 腎梗塞は、直ちに手術的に治療する必要がある。
- (5) 精索捻転症は発症後48時間以内であれば、患側精巣機能の廃絶の可能性は低い。

a. 1 2 3    b. 2 3 4    c. 1 2 4    d. 2 3 5    e. 1 4 5

(解答) e

(解説)「尿路性器外傷と泌尿器科的救急処置」プリント参照。(1)× 血尿が見られるのは90%。腎茎部損傷、腎盂損傷の1/3で血尿が見られない。(2)○ 腎外傷中最も多い(60~70%)。合併症の発生が少なく保存的治療。(3)○ (4)× 選択肢より。(5)× 発症後12時間を越えると精巣機能廃絶の可能性大。

13. 尿路結石について正しい答えの組み合わせはどれか？

- (1) 感染結石として重要な成分はリン酸マグネシウムアンモニウムである。
- (2) アルカリ性尿は感染結石、酸性尿は尿酸、シスチン結石、高カルシウム尿はシュウ酸カルシウム結石ができやすい。
- (3) シスチン尿症は常染色体優性遺伝であり、その結石はレントゲン陽性結石である。
- (4) アロプリノールは尿中へ尿酸の排泄を促し、尿酸結石の成因となる。
- (5) 尿路結石に対し最も多く行われている手術はESWLである。

a. 1 2 3    b. 2 3 4    c. 1 2 5    d. 1 4 5    e. 2 3 5

(解答) c

(解説) (1)○ 細菌の代謝によりリン酸マグネシウムアンモニウムの沈殿を生じる。(2)○ (3)× 常染色体劣性遺伝で、シスチン結石はXp 描出困難。(4)× アロプリノールは尿酸合成阻害薬であり、尿酸結石の治療薬。(5)○ ESWL (体外衝撃波結石破碎術)

14. 腎細胞癌につき正しいのはどれか。

- 1) 近位尿細管由来であり、画像上 hypervascular な像を呈することが多い。
- 2) 血行性転移よりもリンパ行性転移をきたしやすい。
- 3) 原因不明の発熱、貧血、高カルシウム血症などの徴候が見られることがある。
- 4) 根治的腎摘除術ではまず腎動静脈の結紮を行うが、副腎は副腎不全予防のため摘出してはならない。
- 5) 肺転移に対し、インターフェロンやインターロイキン2等の免疫療法が行われる。

a. 1 2 3    b. 2 3 4    c. 1 3 5    d. 1 4 5    e. 2 3 5

(解答) c

(解説)「腎腫瘍・陰嚢内腫瘍」プリント参照。(1)○ (2)× 血行性転移が多い。(3)○ (4)× 腎、腎周囲脂肪組織、副腎を包む gerota 筋膜ごと一塊として摘出。(5)○ 免疫療法が20%ほどに有効。

15. 正しい答えの組み合わせはどれか？

- (1) 経口勃起障害治療薬 Sildenafil (バイアグラ) は phosphodiesterase type III の阻害剤である。
- (2) 糖尿病患者の ED の原因はほとんどが心因性のものである。
- (3) ED の risk は年齢と共に増加するが、日本とアメリカでは日本の方が発生率が高い。
- (4) Sildenafil は性的興奮が起こってはじめて効果を発揮する。
- (5) 日本で最も用いられている ED の治療は Prostaglandin E<sub>1</sub> の海綿体自己注射である。
- (6) Sildenafil は硝酸剤やエリスロマイシン、シメチジンを投与されている患者には禁忌である。

a. 1 2    b. 1 3    c. 1 4    d. 1 6    e. 2 3    f. 2 4    g. 2 5    h. 3 4    i. 3 6    j. 4 6

(解答) h

(解説) (1)× PDE 5 の阻害剤である。(2)× 多くは器質性。ただし ED の多くは両者が絡み合っている。(3)○ (4)○ (5)× (6)× 硝酸剤は禁忌だが、残り 2 つは禁忌ではない。

16. 正しい文章の組み合わせを選べ。

- (1) 原発性腎盂尿管癌において自排尿の尿細胞診の陽性率は非常に高い。
- (2) 原発性膀胱癌の組織型としては大部分が移行上皮癌である。
- (3) 膀胱癌の発生と芳香族アミン化合物 (ベンチジン、2-ナフチラミンなど) の相関は、疫学的には認められない。
- (4) 上皮内癌 (carcinoma in situ) は BCG 膀胱内注入療法の適応である。
- (5) 尿路変向術には失禁型の尿管皮膚瘻や回腸導管、自然排尿型の Hautman や Studer 法等がある。

a. 1 2 4    b. 2 3 4    c. 1 2 5    d. 1 4 5    e. 2 4 5

(解答) e

(解説) (1)× 自排尿では陽性率が低い。分腎尿細胞診や擦過細胞診を利用する。(2)○ 95%以上。(3)× 職業性膀胱癌の原因となる。(4)○ (5)○

17. 精巣腫瘍について、正しい組み合わせはどれか。

- (1) 有痛性陰嚢腫大を主訴とすることが多く、精巣上体炎、精巣捻転との鑑別が重要であり、経皮的超音波ガイド下の針生検が有用である。
- (2) 精巣腫瘍の腫瘍マーカーとして AFP、HCG-β、LDH が有用である。
- (3) 転移巣があっても高位除睾術を行い、患側精巣を摘出し病理診断を行う。
- (4) 胚細胞性精巣腫瘍は組織学的にセミノーマと非セミノーマに大別され、前者は放射線療法 (+ 化学療法)、後者はシスプラチンを中心とした化学療法が有効である。
- (5) 非セミノーマには胎児性癌、絨毛癌、卵黄嚢腫瘍、奇形腫などがあり、このなかでは奇形腫の予後が極めて不良である。

a. 1 2 3    b. 2 3 4    c. 1 2 4    d. 2 3 5    e. 2 4 5

(解答) b

(解説) (1)× 無痛性の陰嚢腫大が特徴。針生検も禁忌。(2)○ AFP: 卵黄嚢腫瘍、hCG: 絨毛性腫瘍、LDH: 未分化胚細胞腫。(3)○ 病理診断が確定診断である (転移巣があっても行う)。(4)○ セミノーマは放射線に対する感受性が高い。(5)× 絨毛癌と胎児性癌の予後が悪い。

18. 40 歳の女性。2 年前から、徐々に体重増加と満月様顔貌とを認めるようになった。6 ヶ月前から無月経。同じころに高血圧を指摘され、降圧薬を投与された。血中コルチゾール 26.6 μg/dl (正常 5-15)、dehydroepiandrosterone sulfate 22 μg/dl (正常 130-160)。この患者でみられる所見はどれか。

- (1) 血中 ACTH は低下する。
- (2) 血中コルチゾールの日内変動は消失する。
- (3) デキサメサゾン 8 mg を 2 日間投与すると、尿中 17-OHCS/日は減少する。
- (4) メチラポン (メトピロン) 試験で尿中 17-OHCS/日は著増する。
- (5) <sup>131</sup>I アドステロール副腎シンチグラフィにより一側に強い放射能集積をみる。

a. 1 2 3    b. 2 3 5    c. 1 2 5    d. 1 4 5    e. 2 4 5

(解答) c

(解説) 中年女性、体重増加、満月様顔貌、無月経、高血圧、コルチゾール高値より Cushing 症候群とわかる。dehydroepiandrosterone(DHEA)の値であるが、これはテストステロンの前駆体であり、これが低値になるのは ACTH 分泌が抑制されている副腎腺種しかない。

(1)○ (2)○ Cushing 症候群ではコルチゾールの日内変動は消失する。(3)× デキサメタゾン抑制試験で多量(8 mg)で抑制は Cushing 病(下垂体腺腫性)。(4)× (3)同様、陽性は Cushing 病。(5)○

19. 以下の記述で正しいものの組み合わせを選べ。

- (1) 高齢者ほど前立腺癌の潜在癌の頻度は高い。
- (2) 前立腺内に限局する前立腺癌では経尿道的な前立腺切除術が根治的治療となる。
- (3) 前立腺癌の約 50%は内分泌療法が無効である。
- (4) 高分化の前立腺癌は、低分化のものに比べ内分泌療法に良く反応する。
- (5) 内分泌療法に抵抗性となった前立腺癌では cisplatin を中心とする抗癌化学療法が有効であることが多い。

a. 1 2    b. 1 3    c. 1 4    d. 1 5    e. 2 3    f. 2 4    g. 2 5    h. 3 4    i. 3 5    j. 4 5

(解答) d

(解説) 「前立腺腫瘍」プリント参照。

(1)○ (2)× 根治的な前立腺癌切除術はここ数年で腹腔鏡アプローチが増えたと授業で言っていました。(3)× 約 80%に制癌作用あり。ただし、3～5年後にはこの半数以上が治療抵抗性(year note E-87)。(4)× 選択肢から。(5)○

20. 腎移植について正しいものの組み合わせはどれか。

- (1) 我が国の腎移植成績は種々の免疫抑制剤の登場で年々向上しており、近年の生体腎移植における1年生着率は約 70%前後である。
- (2) 我が国の腎移植において、脳死体腎移植数は減少している。
- (3) 腎移植後のウイルス感染症として代表的なものはサイトメガロウイルス感染症で ganciclovir が治療に用いられる。
- (4) 腎移植手術においては、一般的には腎動脈は内腸骨動脈、腎静脈は外腸骨静脈に吻合する。
- (5) 近年、配偶者をドナーとする非血縁者間生体腎移植が増加している。

a. 1 2 3    b. 2 3 4    c. 2 3 5    d. 1 4 5    e. 3 4 5

(解答) e

(解説) (1)× 90%前後である。(2)× (3)○ CMV にはガンシクロビルが有効。(4)○ (5)○

#### <婦人科>

1. 女性生殖器の発生・解剖に関して正しいものをひとつ選べ。

- a. 骨盤漏斗帯は子宮を支える支持組織で子宮動静脈を含む。
- b. 卵管、卵巣、子宮、膣の一部はすべてミュラー管から発生する。
- c. 卵管は子宮側から間質部、峡部、膨大部、采部に分かれている。
- d. 子宮頸管上皮は扁平上皮に被覆されている。
- e. 卵胞の内層は卵胞膜、外層は顆粒膜からなる。

(解答) c

(解説) a. × 骨盤漏斗帯=卵巣堤索。子宮動脈を包むのは子宮広間膜。 b. × 卵巣は生殖腺由来。 c. ○ d. × 単層、円柱状の粘液分泌上皮。 e. × 逆。

2. 30歳の主婦。月経不順と3ヵ月間の無月経を訴えて婦人科を受診した。内診と超音波断層法にて子宮および付属器に異常はなく、基礎体温測定を指示された。その後1ヵ月間の基礎体温は低温一相性である。この症例について正しいものをひとつ選べ。

- a. 無排卵周期症の治療に排卵誘発剤を投与する。
- b. 早発閉経の予防にエストロゲン製剤を投与する。
- c. 機能性子宮出血の予防にプロゲステロン製剤を投与する。
- d. 破綻出血の予防にダナゾール製剤を投与する。
- e. 妊娠の可能性があるのでホルモン治療は行わない。

(解答) ?

(解説) bかcかで意見が分かれている問題です。基礎体温から少なくともプロゲステロンは低値であることがわかりますが、エストロゲンはどうなのかわかりません。論点としては、(1) エストロゲンも低値だとしたらエストロゲン製剤の投与で早期閉経は予防できる。が、このとき子宮に異常はないのか？(2) エストロゲンは正常だとしたら、機能性子宮出血はプロゲステロン製剤により消退出血に導ける。が、不正性器出血は予防すべきものなのか？ということです。僕はbを選びましたが・・・。

- a. 無排卵周期症は、月経 (+)、排卵 (-)。
- e. 妊娠4ヶ月までは高温相が持続する。

3. 正しいものをひとつ選べ。

- a. 初経はエストロゲンによる破綻出血である。
- b. プロゲステロンの分泌は初経の発来に必要なものである。
- c. インヒビンはLHの分泌を特異的に抑制する。
- d. エストロゲンのネガティブフィードバックで排卵する。
- e. GnRHの分泌は常に律動性に行われている。

(解答) e

(解説) a. × 消退出血です。 b. × 必ずしも必要ない。 c. × FSH を抑制。 d. × エストロゲン→LH へのポジティブフィードバック→LH サージ→排卵。 e. ○ 90分に2度パルス分泌。

4. 婦人科検査法について誤っているものをひとつ選べ。

- a. 子宮腔部の変換帯とは扁平上皮化生が生じている部位である。
- b. 閉経婦人のコルポスコピー所見には不適例(UC)が多い。
- c. パパニコロウ(Papanicolaou)分類のクラスIIIbは高度異形成に相当する。
- d. 子宮内膜細胞診(エンドサイト)で異常が出たら子宮内膜組織診を行う。
- e. 子宮内膜はMRIのT2強調画像で低信号に(黒く)描出される。

(解答) ?

(解説) a. ○? b. ○ らしい。 c. ○ d. ○?かな? e. ?

5. 正しいものをひとつ選べ。

- a. 妊娠の診断には、尿中hCGの定量が必要である。
- b. 血中プロラクチン(PRL)の高値は排卵障害の原因となる。
- c. 黄体形成ホルモン(LH)や卵胞刺激ホルモン(FSH)の測定は任意の時期に行える。
- d. 性交後試験(フナーテスト)の結果で体外受精の適応が決まる。
- e. 多嚢胞性卵巣症候群(PCO)ではLHよりFSHが高値である。

(解答)

(解説)「不妊症」プリント参照。

- a. × 定性のみでよい。 b. ? year note D-12から不妊の原因にはなるとわかりますが。 c. × 月経5日目に行う。 d. ? e. × LHのみ高値、FSHは正常(year note D-73)。

6. 正しいものをひとつ選べ。

- a. ミューラー管の一部が分化して形成される。
- b. 外性器の分化には、それぞれエストロゲン、テストステロンが必要である。
- c. 性腺の発達に重要な遺伝子のひとつはSRY遺伝子である。
- d. クライネフェルター症候群は真性半陰陽のひとつである。
- e. ターナー症候群では、ほとんどの症例に月経を認める。

(解答) c

(解説) a. ? 主語が「臈」なら×。 b. × 未分化外生殖器の女性化には性ホルモンは関与しない。 c. ○ Y染色体上のSRY遺伝子は、未分化精巣から精巣を分化させる。女性では、SRY遺伝子がないために未分化生殖腺は卵巣へと分化する。 d. × 真性半陰陽はXXを含む46染色体。クライネフェルター症候は47、XXY。 e. × II度無月経。

7. 子宮内膜症について正しいものをひとつ選べ。

- a. 子宮内膜炎や子宮内膜過形成を合併することが多い。
- b. 保存的治療としてGnRHアナログのパルス療法が行われる。
- c. GnRHアナログ療法では骨量減少に注意する必要がある。
- d. エストロゲン依存性であるためタモキシフェン療法が有効である。
- e. 過多月経のために貧血を合併することが多い。

(解答) c

(解説) a. × b. × 「パルス」が×。 c. ○ d. × タモキシフェンは、乳腺に対して使う。子宮に対してエストロゲン作用がある為、子宮内膜が増殖してしまうので有効ではない。 e. × 不妊・月経痛の主訴が多い。

8. Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群に関する次の記述のうち、正しい組み合わせをひとつ選べ。

- (1)原発性無月経を主訴とすることが多い (2)腎尿路奇形を合併することが多い  
(3)臈留血腫を合併することが多い (4)染色体は46, XYであることが多い  
(5)治療としての適応となる

- a. 1 2 3    b. 1 2 5    c. 1 4 5    d. 2 3 4    e. 3 4 5

(解答) b

(解説)「女性生殖器形態・位置異常」プリント参照。

(2)○ 47%。骨格奇形は12%。(3)× 臈は先天的欠損。(4)× 染色体は正常。(5)○? 選択肢から。

9. 30歳の女性が結婚後3年経っても妊娠しないため受診した。結婚前も妊娠分娩歴はない。月経は比較的順調であるが、基礎体温は測定していない。一方、夫は結婚歴があり、前妻との間に一児がいる。

[1] 正しいものをひとつ選べ。

- a. 診断は続発性不妊症である。
- b. 月経周期第5日頃に性交後試験を行う。
- c. 月経周期第5日頃にプロラクチンを測定する。
- d. 月経周期第5日頃に子宮卵管造影を行う。
- e. 胸写と月経血の結核菌培養を行う。

[2] この患者の子宮卵管造影図1をみて正しいものをひとつ選べ。

- a. 不妊症の原因として子宮因子の存在が疑われる。
- b. 不妊症の原因として頸管因子の存在が疑われる。
- c. 不妊症の原因として卵管因子の存在が疑われる。
- d. 不妊症の原因として染色体異常の存在が疑われる。
- e. 不妊症の原因として子宮および卵管に異常は認められない。



[3] この患者への説明として適切なものをひとつ選べ。

- a. 頸管無力症が疑われるので、頸管縫縮術が必要である。
- b. 治療法として卵管鏡下卵管形成術が考えられる。
- c. まず人工授精を行い、妊娠しない場合体外受精・胚移植を行う。
- d. 子宮筋腫を認めるので子宮筋腫核出術を勧める。
- e. 現時点では不妊の原因は不明であるので経過観察を行う。

[1] (解答) c

(解説) 「不妊症」プリント参照。

a. × 過去に一度も妊娠をしていない婦人の不妊症を原発性不妊症、一度でも妊娠がある婦人なら続発性不妊症と言う。 b. × 性交後試験は排卵期に行う。 c. ○ d. × 排卵直前あたり。 e. ×? クラミジア検査と引っ掛けているのでしょうか?

[2] (解答) c

(解説) 子宮因子：着床障害が生じるような病態（子宮奇形、内膜炎など）が子宮に存在する場合。卵管因子：卵管に通過障害がある場合。とプリントにあります。

[3] (解答) b

(解説) 卵管の通過障害を疎通させる。

10. 婦人科良性腫瘍について誤っているものをひとつ選べ。

- a. 卵巣の粘液性嚢胞腺腫は単房性であることが多い。
- b. 卵巣の内膜症性嚢胞は茎捻転を起こしにくい。
- c. 子宮内膜症で占拠された骨盤を凍結骨盤と呼ぶ。
- d. 子宮筋症では CA125 が上昇することが多い。
- e. 筋腫分娩は粘膜下子宮筋腫が外子宮口から腔内に脱出したものである。

(解答) a

(解説) a. × 多房性であることが多い。

11. 症例は40歳、接触出血を訴えて受診した。図2は子宮腔部より採取した擦過細胞診像である。

[1] 次のうち、正しい組み合わせをひとつ選べ。

(1) 背景に炎症細胞と壊死像を認める

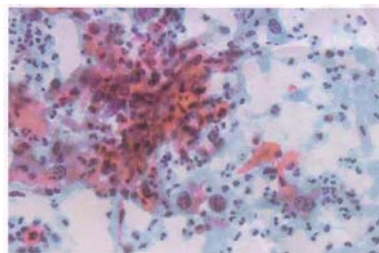
(2) 核の大小不同を認める

(3) 紡錘型異型細胞を認める

(4) コイロサイトーシスを認める

(5) 腺腔形成を認める

- a. 1 2 3   b. 1 2 5   c. 1 4 5   d. 2 3 4   e. 3 4 5



[2] 推定する病理診断はどれか

- a. トリコモナス膣炎   b. カンジダ膣炎   c. 異形成   d. 腺癌   e. 扁平上皮癌

[1] (解答) a?

(解説) (1)○ たぶん。(2)○ (3)○ (4)×? コイロサイトーシス=細胞質が明るく、核が多角形。HPV感染の指標らしいです。(5)× たぶん。

[2] (解答) c?

(解説) 細胞異型、核異型から…。

12. 外陰・膣の疾患について誤っているものをひとつ選べ。

- a. 小陰唇に毛包を認める。   b. 外陰癌には扁平上皮癌が多い。
- c. バルトリン腺炎の起炎菌には連鎖球菌、ブドウ球菌、大腸菌が多い。
- d. 外陰ヘルペスでは細胞診で核内封入体と多核巨細胞を認める。
- e. 尖圭コンジローマの病変からはヒトパピローマウイルスの感染が同定される。

(解答) a

(解説) 「外陰・膣疾患」プリント参照。

a. × 小陰唇には毛包は無い。



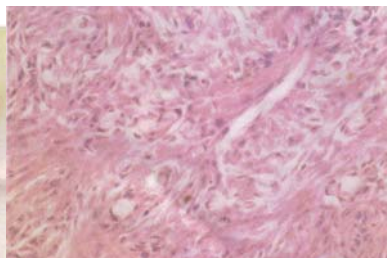
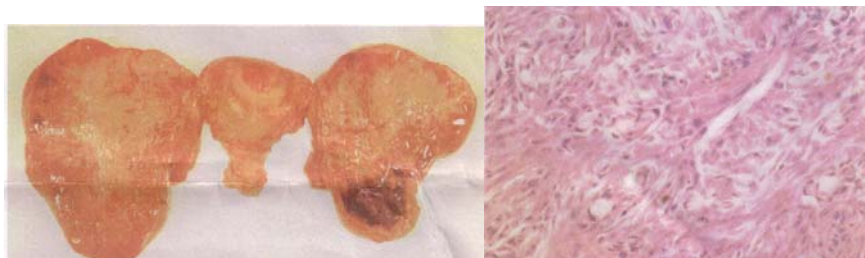
13. 次の症例を読んで〔1〕～〔2〕の設問に答えよ

〔症例〕40才の既婚婦人。腹痛、腹部膨満をともなう体重減少を主訴として来院した。

子宮は前傾前屈で鶏卵大。両側の付属器に手拳大の腫瘤を触知する。CA125：50単位（正常35以下）、CEA：10.5ng/ml（正常2.5以下）、AFP：10ng/ml（正常20以下）、SCC：0.5ng/ml（正常1.5以下）。開腹術後の摘出標本（写真3）で、卵巣腫瘍の断面は両側共に硬い白色の充実性腫瘍であり、左卵巣の断面には出血巣を認めた。卵巣腫瘍組織のH-E染色標本（写真4）では、細胞質に粘液を有し、核が偏在した癌細胞の集団が、細胞密度の高い卵巣間質の中に散在していた。

写真3

写真4



〔1〕開腹術の前に行うべき検査として最も重要なものをひとつ選べ。

a. 子宮頸部細胞診 b. 膀胱鏡 c. 消化管造影 d. 骨盤血管造影 e. 腹腔鏡

〔2〕摘出卵巣腫瘍のH-E染色標本より考えられるのはどれか。

a. 漿液性嚢胞腺癌 b. 明細胞癌 c. 顆粒膜細胞腫 d. 印環細胞癌 e. ブレンナー腫瘍

[1] (解答)

[2] (解答)

14. 絨毛性疾患に関する次の記述のうち、正しい組み合わせをひとつ選べ。

(1) 全胎状奇胎の多くでは、染色体はすべて精子由来である。

(2) 絨毛癌は高率にリンパ節転移を来す。

(3) 胎状奇胎の娩出後の管理に際しては、血中  $\alpha$ -fetoprotein 測定が必要である。

(4) 胎状奇胎の組織学的診断には絨毛間質の水腫性嚢胞化が重要である。

(5) 部分胎状奇胎の多くでは、病理学的に胎児由来の成分を認める。

a. 123 b. 125 c. 145 d. 234 e. 345

(解答) b?

(解説) (1)○ (2)○? (3)×? hCG の測定が必要。 (4)×? (5)○ 子宮内に胎芽・胎児・靱帯があり一部に胎状危胎を認めるものを部分胎状危胎というらしいです。

15. 症例は56歳、閉経50歳の既婚婦人で、数日前から少量の性器出血があり来院された。経膈超音波検査で子宮内膜の厚さは12mmであり、内膜細胞診は陽性で、内膜組織診で悪性細胞が認められた。この疾患のリスクファクターをひとつ選べ。

a. 妊娠・分娩回数が多い。 b. ピルの服用。 c. HPV感染 d. 子宮筋腫 e. 糖尿病

(解答) e

(解説) リスクファクターとして以下のものがあります。

・妊娠・分娩の経験が無い。 ・授乳経験が無い。 ・高血圧、糖尿病、肥満 など。

16. 婦人科炎症性疾患について誤っているものをひとつ選べ。

a. デーデルライン桿菌が膈内を酸性に保つ。 b. 小児期の膈炎は大腸菌により生じることが多い。

c. 骨盤内炎症性疾患 (PID) はヒトパピローマウイルス (HPV) により生じることが多い。

d. カンジダの治療に抗真菌剤を用いる。

e. 単純ヘルペスウイルスの初感染では有痛性の外陰潰瘍を形成する。

(解答)

(解説) 「婦人科炎症性疾患」プリント参照。 c. × クラミジア感染症に多い。

## &lt;病理学&gt;

1. 腎細胞癌についての以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 淡明細胞型の癌細胞の細胞質はPAS陽性で、それは豊富な粘液を蓄えているためである。  
 2) 腎尿管上皮由来である。      3) 癌胞巣間は毛細血管からなり、間質の線維成分に乏しい。  
 4) 腎異形成は、前癌病変である。

a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) c)

(解説) 1) × 粘液→グリコーゲン。 4) × 腎異形成は後腎組織の分化異常に伴う腎奇形のことを言う。

2. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 腎芽腫は小児の多く発生し、約90%は7歳未満である。  
 2) 腎横紋筋肉腫様肉腫は高齢の女性に好発する。  
 3) 腎血管筋脂肪腫は血管、筋肉、脂肪成分からなる。  
 4) 腎血管筋脂肪腫は悪性化することはまれである。

a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) a)

(解説) 2) ×? 横紋筋肉腫は小児に発生。 3) ○ 4) ○

3. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 膀胱腫瘍では移行上皮性のものが最も多い。  
 2) 尿管腫瘍では移行上皮性のものが最も多い。  
 3) 移行上皮腫瘍で乳頭状増殖をするものが80%である。  
 4) 尖形コンジローマはHPVによる。

a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) e)

(解説) すべてその通りです。

4. 前立腺に関する以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 前立腺肥大症は腺組織と間質のそれぞれの過形成である。  
 2) 尿道は前立腺を貫通する。  
 3) 前立腺癌の診断には、尿細胞診が有用である。  
 4) 前立腺に配列する上皮は移行上皮細胞と基底細胞からなる。

a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) b)

(解説) 3) × 直腸診、PSA、経直腸エコーで癌が疑われたら、経会陰の針生検・病理診断で確定。

4) × 腺上皮と基底細胞の2層構造。

5. 胚細胞腫瘍に関する以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 定型的セミノーマは、グリコーゲンを含む淡明な胞体を持つ。  
 2) 胎児性癌は、20～30歳代に多い。  
 3) 卵黄嚢腫瘍は、AFPを産生する。  
 4) 絨毛癌の組織像は、細胞性栄養細胞の外側に、合胞体性栄養細胞が胞巣を形成する。

a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) e)

(解説) 2) ○ 一般に幼少期を含めた20歳前後の若年層に好発する。



6. 精索・間質腫瘍を選べ。

- 1) ライディク細胞腫      2) 奇形腫      3) セルトリ細胞腫      4) 顆粒膜細胞腫  
a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) a)

(解説) 2) 奇形腫は胚細胞腫瘍です。

7. 以下の部位の内腔とその上皮の、正しい組み合わせを選べ。

- 1) 子宮体部 — 高円柱粘液上皮  
2) 子宮腔部 — 吸収上皮  
3) 子宮頸管 — 移行上皮  
4) 膣 — 重層扁平上皮  
a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答)

(解説) 4) ○

8. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 子宮頸癌は、子宮頸部扁平上皮から発生する扁平上皮癌が多いが、頸部腺から発生する腺癌も見られる。  
2) 子宮頸管ポリープは錯走配列を示す平滑筋細胞で構成される。  
3) 子宮頸部異形成は自然治癒することがある。  
4) 子宮頸部の上皮内癌では、間質内への癌の浸潤は認められない。  
a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) a)

(解説) 2) ×

9. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) 絨毛癌は、病理組織学的に絨毛構造を呈することが、侵入（破壊）胞状奇胎との鑑別点である。  
2) 子宮の平滑筋肉腫は平滑筋腫に比べて境界が不明瞭で、出血・壊死傾向が強い。  
3) 子宮内膜増殖症は、卵巣顆粒膜細胞腫が原因となることがある。  
4) 子宮体癌の好発年齢は40歳代である。  
a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) c)

(解説) 1) × 絨毛癌は通常の妊娠、胞状奇胎に認められる絨毛構造を認めない。 4) × 50～60位。

10. 以下の記述の中で、正しいものの組み合わせを選べ。

- 1) クルーケンベルグ腫瘍は、その多くは腹腔内原発腫瘍からの転移で、特殊染色において粘液反応高度陽性である。  
2) 卵巣子宮内膜症は、チョコレート嚢胞を形成する。  
3) 卵巣顆粒膜細胞腫はアンドロゲン産生腫瘍である。  
4) 卵巣成熟奇形種は中胚葉由来の組織で構成される。  
a) 1, 3, 4のみ      b) 1, 2のみ      c) 2, 3のみ      d) 4のみ      e) 1～4すべて

(解答) b)

(解説) 3) × エストロゲン産生腫瘍。 4) × 組織発生学的に外・中・内の三胚葉由来の組織が種々混在。